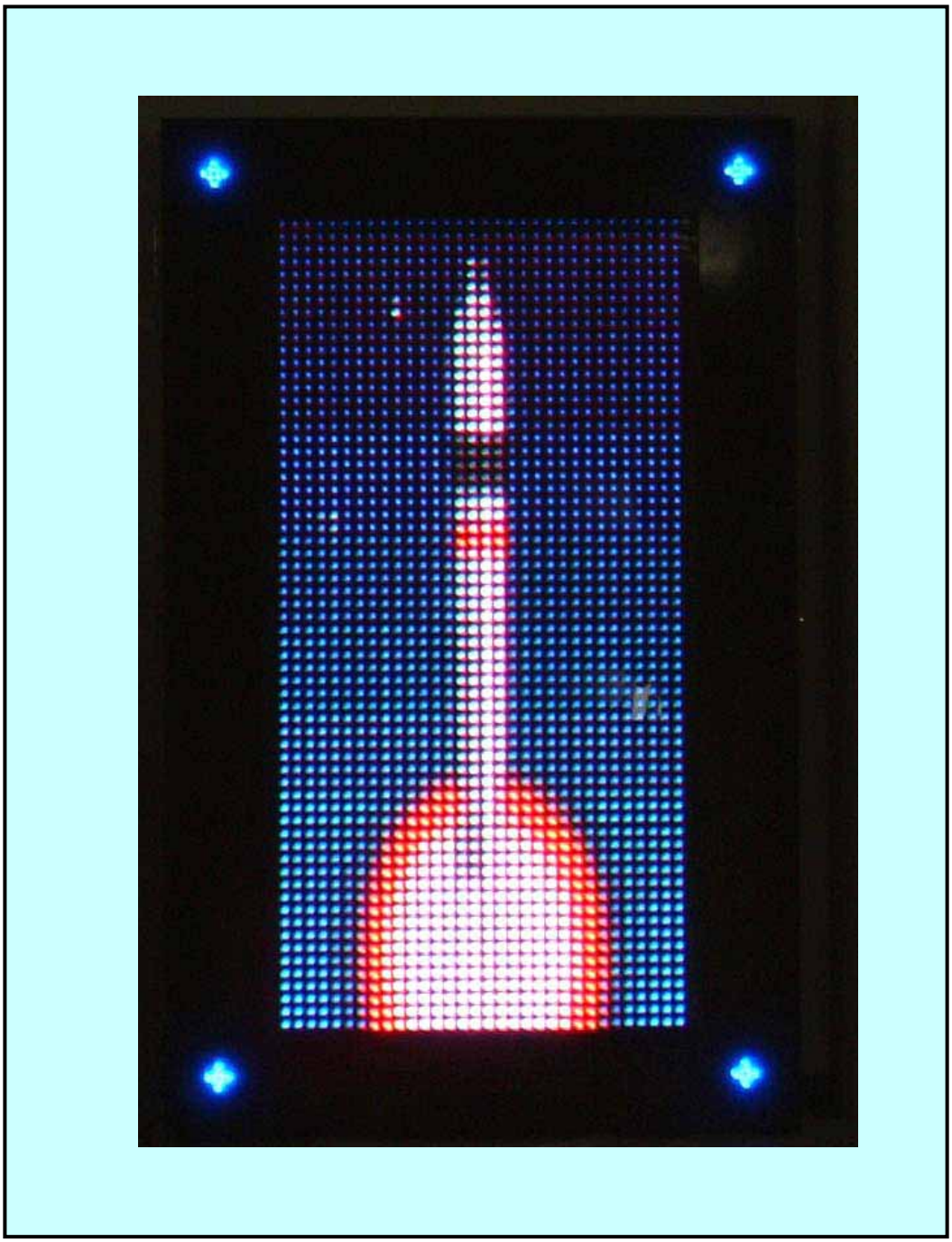
文章編集プログラム

ＬＥＤ－ＺＦ

ユーザーマニュアル



アルファーテック株式会社

ATC4350410-01

はじめに

このたびは、ＬＥＤ表示器【ＡＳ４３５】をお買上げいただきましてありがとうございます。
このユーザーマニュアルは、ＷｉｎｄｏｗｓＸＰを基本ソフトにして、本プログラムの取り扱い上の注意／機能／操作方法を説明しています。
ご使用の前にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
ＬＥＤ表示器本体のご使用方法につきましては、本体の操作マニュアル、Windowsの取り扱い／操作方法などについては、それぞれのマニュアルをご覧下さい。

ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、将来、予告なしに変更することがあります。また、実際の表示内容が本書に記載の内容と多少異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことが在りましたら、お手数ですが、本書に記載の当社までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

商標

- Microsoft、Windows 及び WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe と Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
- 本文中の各社の登録商標及び商標には、ＴＭ、(R) マークは表示していません。
- その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の登録商標及び商標です。

履歴

- ２００４年１０月　初版発行

ソフトウェア使用許諾契約書

ご使用前に必ずお読みください。

アルファーテック株式会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読み下さい。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROM に記録されたソフトウェアを使用できます。
お客様が、CD-ROM のパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様が本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）に合意することを条件として
アルファーテック株式会社（以下「当社」とします）はお客様に対し、下記の内容でソフトウェア製品
「ＬＥＤ－ＺＦ」の使用権を許諾します。

著作権
本ソフトウェアおよび関連資料は当社が開発した著作物であり、当社は所有、使用、改編、複製、配布、販売などに関するすべての権利を所有します。

使用許諾の範囲
お客様は本ソフトを､お客様が保有する１台のコンピュータ上でお客様ご自身が使用する場合のみ使用することが出来ます。お客様の有する権利は非独占的なものであり、譲渡することは出来ません。
また、本ソフトは、日本国内のみ使用を許諾するものとします。

複製・改編の制限
お客様は、ご自身の為のバックアップ目的でのみ本ソフトの複製を行なう事が出来ます。複製された製品を第三者に使用させる事は出来ません。お客様は、本ソフトの改編をすることは出来ません。
お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

アフターサービス
万一、本ソフトが媒体不良のため開封時において正常に動作しない場合及び梱包内容に不足があった場合、欠陥のあった媒体と引き換えに無償で交換いたします。ただし媒体の欠陥が事故や乱用、誤用など当社の責に帰さない場合の交換は出来ません。

免責
お客様が本ソフトウェアを使用された結果の影響について、当社は一切の責任および業務から免れるものとします。

解除
お客様が本契約に違反した場合は、当社は何らの通知・催促をすることなく直ちに本契約を解除することが出来ます。

使用許諾期間
本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発行し、「解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトを終了するときまで有効とします。

以上

目次

第１章　製品概要 …… １－１
インストール …… １－２
プログラムの初期設定 …… １－５
初期化メニューの使い方 …… １－８
アンインストール・修復インストール …… １－１０
第２章　編集プログラム[LED-ZF]の起動 …… ２－１
メニューの説明 …… ２－２
初期設定 …… ２－３
文章データーの説明 …… ２－５
文章データー作成・編集メニュー …… ２－６
第３章　スクロール文章の編集 …… ３－１
スクロール文章編集の使い方 …… ３－１
特殊文字の入力 …… ３－６
第４章　固定文章の編集 …… ４－１
固定文章編集の使い方 …… ４－１
全角フォントでの編集 …… ４－３
ビット表示画面での編集 …… ４－１１
第５章　分割文章の編集 …… ５－１
分割文章編集の使い方 …… ５－１
全角フォントでの編集 …… ５－３
ビット表示画面での編集 …… ５－１０
第６章　動画データーの編集 …… ６－１
動画編集の使い方 …… ６－１
画像ファイルの取り込み編集 …… ６－８
動画設定 …… ６－１２
第７章　スーパー動画データーの編集 …… ７－１
スーパー動画の使い方 …… ７－１
スーパー動画編集の使い方 …… ７－３
（ＬＥＤＭａｋｅｒＭｕｌｕｔｉの説明）　（７－５）
画像ファイルの取り込み編集 …… ７－１３
第８章　ユーザーフォント作成 …… ８－１
ユーザーフォントについて …… ８－１
ユーザーフォント編集の使い方 …… ８－１
ファイル変換機能 …… ８－５
第９章　編集データーの書込み …… ９－１
シリアル通信機能 …… ９－４
輝度調整 …… ９－９

製品概要

このプログラムは、**〔フルカラーＬＥＤ表示器　ＡＳ４３５シリーズ〕**アルファーテック社製のＬＥＤ画面に文字や画像を表示する文章画像データーを作成・編集するプログラムです。
ＬＥＤ画面に文字、画像を表示するには、この編集プログラムにてデーターの作成を行ないＣＦメモリーカード及び、専用ＲＳ２３２Ｃケーブルにてコントローラーに表示データーを転送して表示を行ないます。

●この文章動画編集プログラムで出来る事

・固定表示文章の作成
固定文章で作成したデーターは、表示器での操作により〔固定表示・点滅表示・反転点滅表示〕に使用出来ます。
・スクロール文章の作成
スクロール文章で作成したデーターは、表示器での操作により〔通常表示・倍角表示・横表示では、逆スクロール〕に使用出来ます。
・動画データーの編集
動画・スーパー動画の編集により最大３０画面の動画表示が出来ます。
・通信機能表示器
ＲＳ２３２Ｃ通信機能によりＬＥＤ表示器と接続して、表示器内の文章データーを読み書き出来ます。
・メモリーカードの書込み
編集した文章データーをＣＦメモリーカードに書込みを行ないます。
・表示器の表示検査
通信機能を使いＬＥＤ表示器の点灯検査を行なう機能です。

●必要なシステム構成

対応機種	PC/AT 互換機(DOS/V)
ＯＳ(基本ソフトウェア)	Microsoft Windows ＸＰ　日本語版
コンピュータ本体	Microsoft Windows ＸＰが稼動するﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ Pentium ﾌﾟﾛｾｯｻｰ　1500MHz 以上を推奨 シリアルポートが１つ以上ある事 CD-ROM ﾄﾞﾗｲﾌﾞ USB ﾎﾟｰﾄ接続のｼﾘｱﾙｱﾀﾞﾌﾟﾀｰで可能 （ｼﾘｱﾙ通信を行なわない場合は不要)
メモリー	１２８ＭＢ以上（２５６ＭＢ以上を推奨）
ハードディスク	２０ＭＢ以上の空き容量が必要
ディスプレー	解像度：１０２４Ｘ７６８以上 画面の色：中（１６ビット）以上が表示可能 ＊解像度：８００Ｘ６００では、動画編集は不可
その他周辺器	キーボード、マウス ＣＦメモリーカードの読み書き可能なシステム ・ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ・ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝでは、USB ﾎﾟｰﾄ接続のｶｰﾄﾞｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ など（USB Card Reader/Writer） ・ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝは、PCMCIA ｶｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ CF ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ

インストール

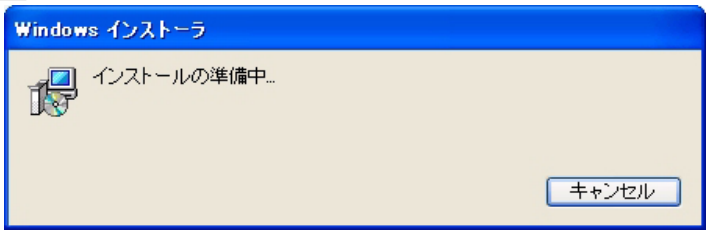
文章画像データー作成編集プログラムのインストールは、本体プログラムを起動すると、
自動的にプログラムが展開されますので指示に従っての操作でインストールが出来ます。
・あらかじめコンピュータのシステムを起動しておきます。
・インストールプログラムを、ＣＤ－ＲＯＭ、Ｃドライブに準備して下さい
・インストールの前には、他のアプリケーションを全て終了させて下さい。

●インストールプログラム名

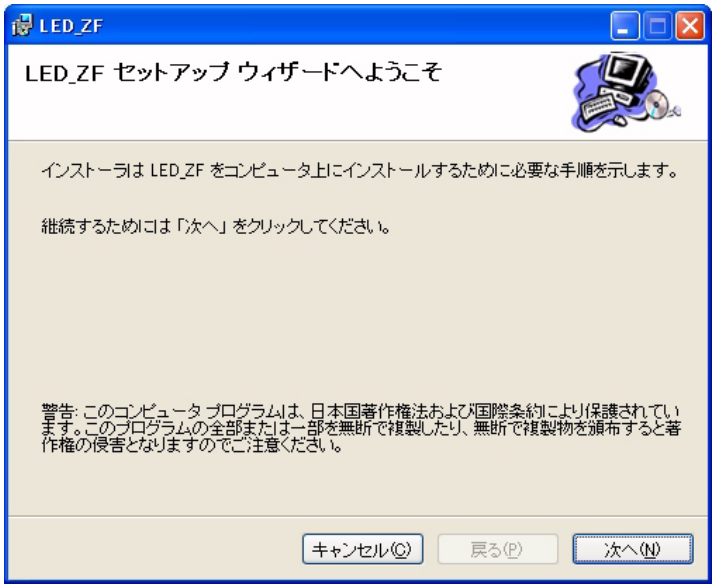
インストールプログラム名：ＬＥＤ_ＺＦ．ＭＩＳ
プログラム内にインストールプログラムとデーターが圧縮され全プログラムが入っています。

●インストール作業開始

1 「LED_ＺＦ．ＭＩＳ」をクリックして下さい。



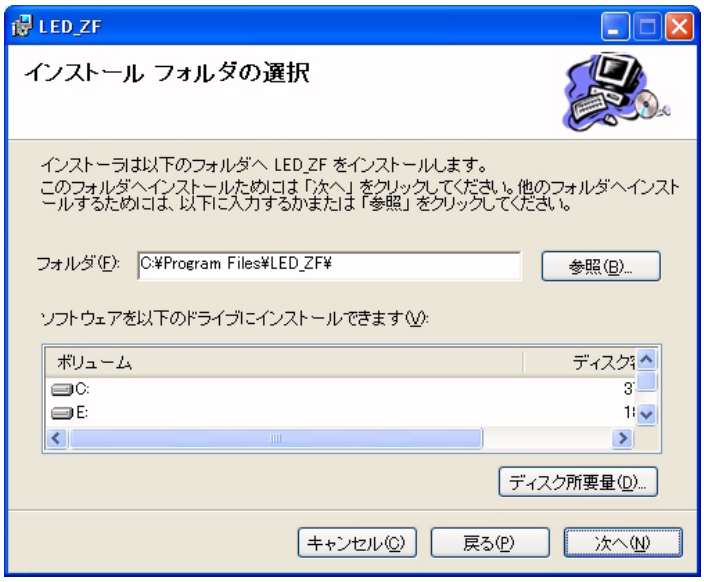
〔Windows インストーラー〕のウィンドウが開き、プログラムのインストールが始まります。



〔ＬＥＤ_ＺＦセットアップウィザード〕画面が表示されます。

2 インストール フォルダの選択
「次へ」をクリックして下さい。

プログラムのインストールするフォルダを選択して下さい。
通常、インストールされるフォルダは、〔Ｃ：￥Ｐｒｏｇｒａｍ￥ＬＥＤ＿ＺＦ￥〕
に作成されます。



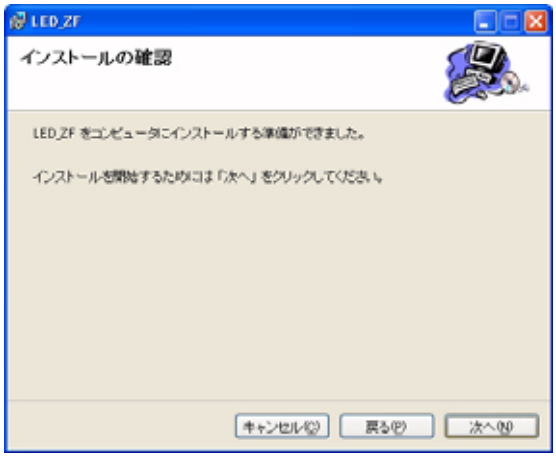
〔インストール フォルダの選択〕画面が表示されます。

3　「次へ」をクリックして下さい。

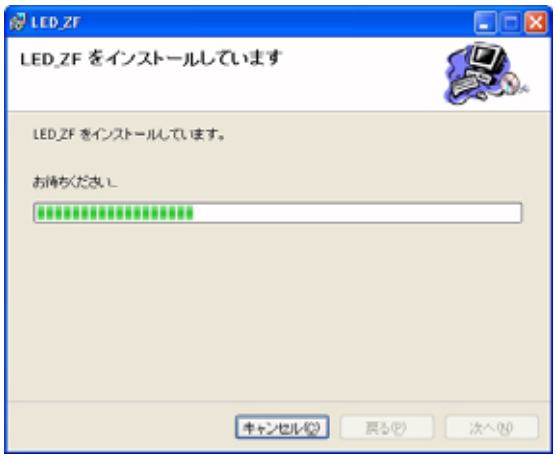
・インストールフォルダの変更を行ないたい場合、「参照(B)」をクリックし〔フォルダ〕の変更をしてから「次へ」をクリックして下さい。

・インストールフォルダ ディレクトリの表示で問題がなければそのまま「次へ」をクリックして下さい。

4　「次へ」をクリックして下さい。

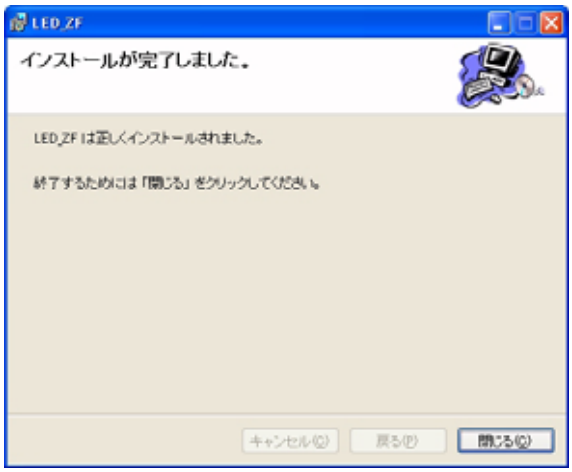


〔インストール の確認〕画面の表示　最終確認になります。



インストールが開始され、インストールバーが左から右に状況を表示します。
インストール時間は約１分で終了となります。

プログラムのインストールが終了すると、下記表示になります。



〔インストールが完了〕画面の表示　完了表示になります。

5　インストールの完了

「閉じる（C）」をクリックして下さい。

インストール作業が完了しました。

●プログラムの初期設定

初期設定は、次の項目の設定を行ないます。
①　データーフォルダの初期化
＊初期起動時データーフォルダは、縦表示用[ＤＡＴ８ＣＶ]　フォルダが作成されます。
　横表示方向のデーターフォルダ作成は初期登録が終了した後、プログラムの再起動で行ないます。
②パソコンの通信シリアルポートの設定
③編集プログラムの起動確認

プログラムを起動するには、２通りありますので操作し易い方法を選択下さい。
Ａ.「スタート」→「すべてのプログラム」→「Ａｌｐｈａｔｅｃ」→「ＬＥＤ＿ＺＦ」
　「ＬＥＤ_ＺＦ」アイコンをクリックしてプログラムを起動させます。
Ｂ．デスクトップに実行ファイルのショートカットアイコンを作成します。
　このショートカットアイコンをクリックすれば起動します。
プログラムを終了するには
　〔ＬＥＤ＿ＺＦ　メインメニュー〕画面の「終了」をクリックします。

●プログラムの起動　初期設定

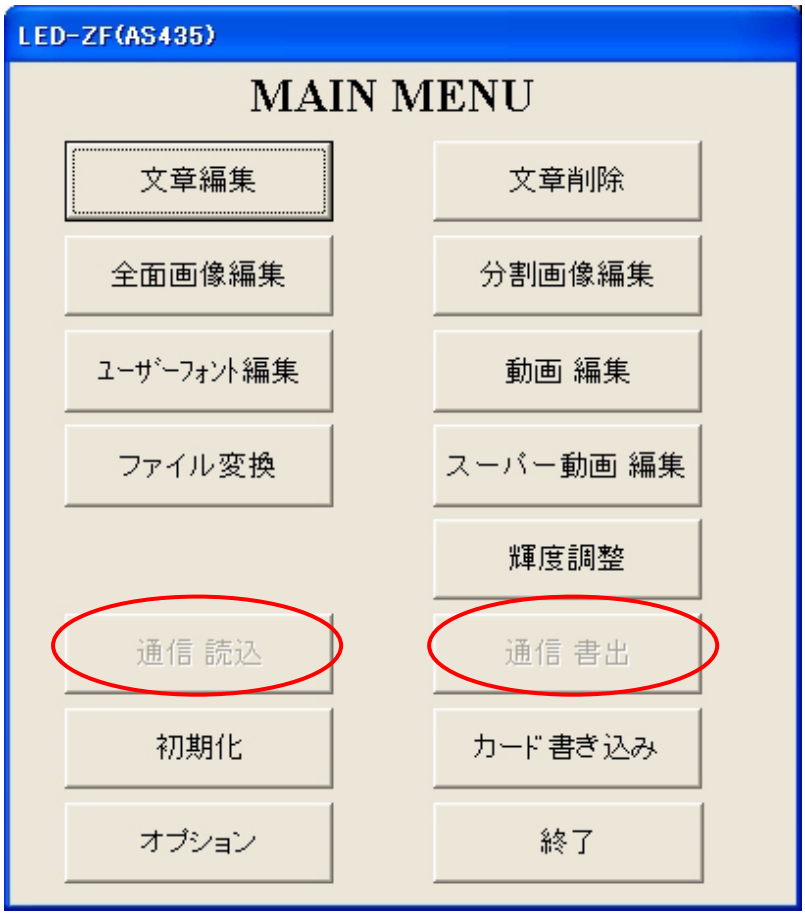
1　始めて「ＬＥＤ＿ＺＦ」を起動すると、自動的に初期設定が行なわれ縦表示用のデーターフォルダが作成されます。

ここで作成されるデーターフォルダは、縦表示用「ＤＡＴ８ＣＶ」が作成されます。

〔初期化　終了〕の画面　「ＯＫ」をクリックして下さい。

2 スタートメニューより「ＬＥＤ＿ＺＦ」をクリックして下さい。

〔プログラム起動〕画面が表示され、その約３秒表示後メインメニュー画面が表示します。



〔ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ〕画面の表示

＊〔通信読込〕、〔通信書出〕ボタンがノンアクティブ画面となっています、
　通信機能により表示器と通信状態時には、アクティブ表示に変わります。

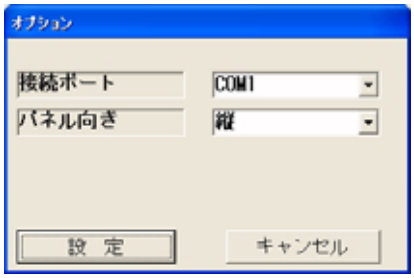
2　オプション設定

この設定では、通信ポートの選択と縦表示文書のデーターフォルダ作成を行ないます。

・通信ポートの設定

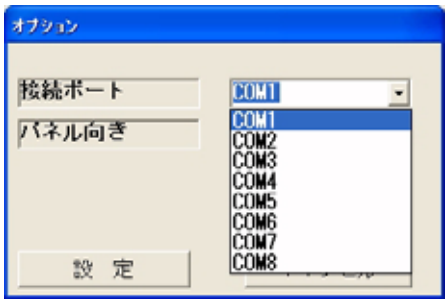
ＬＥＤ表示器とデーター通信を行なう為、パソコンのシリアルポートの設定を行ないます。
通信ポートの初期設定ＣＯＭポートは「ＣＯＭ１」になっています。
＊通信を行なわない場合は、この操作は不要です。

メインメニュー画面より「オプション」をクリックします。



〔オプション　設定〕画面が表示されます。

3　〔ＣＯＭ１〕ウィンドウの　「▼」をクリックします。



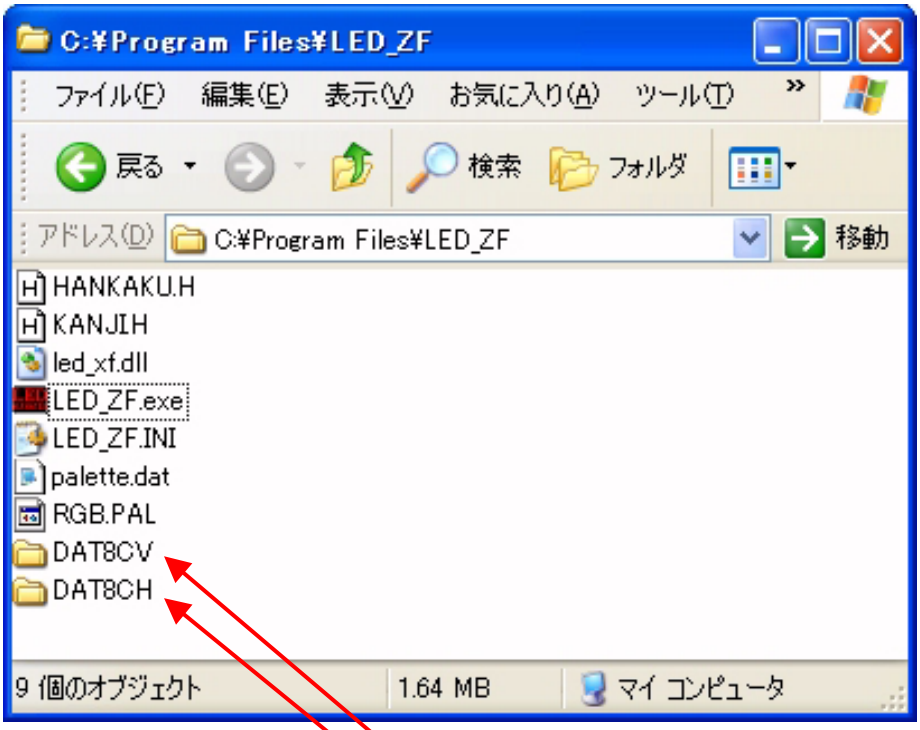
通信ポートを変更するには、青色に反転表示された〔ＣＯＭ１〕横にある「▼」（下向き矢印）をクリックします。　プルダウンメニューで〔ＣＯＭ１～ＣＯＭ８〕まで表示されますので使用するパソコンの通信ポートをクリックして、設定を行ないます。

＊ パソコンの使用する通信ポートが不明の場合の確認は、コントロールパネルの〔システムのプロパティ〕よりポートを確認して下さい。

4　〔パネル向き〕ウィンドウの　「▼」をクリックし、「横」を選択します。

5　「設定」をクリックすれば設定が完了します。

パネル向きで縦を選択した場合、縦用データーフォルダ「ＤＡＴ８ＣＨ」がプログラムフォルダ内に作成されます。

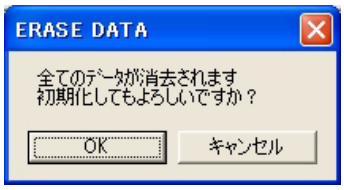


●初期化メニューの使い方

〔メインメニュー〕の、〔初期化〕ボタンは、文章編集データーフォルダの初期化を行ないます。
文章編集の途中でデーターの初期化が必要な場合のみ行って下さい。
前もって初期化する文章データーの表示方向を「オプション」にて設定を行なって下さい。

注意　作成中のデーターが全て無くなります。

1　メインメニュー画面より「初期化」をクリックします。



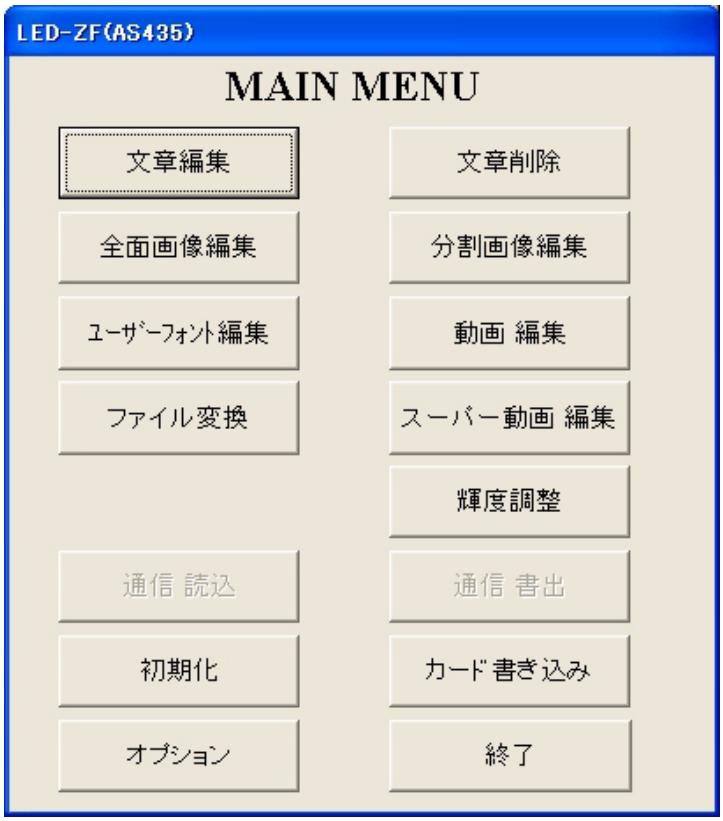
初期化〔ＥＴＡＳＥ　ＤＡＴＡ〕画面が表示されます。

＊ 初期化する場合のみ操作

2　「ＯＫ」をクリックします。
初期化が完了して、メインメニューが表示されます。

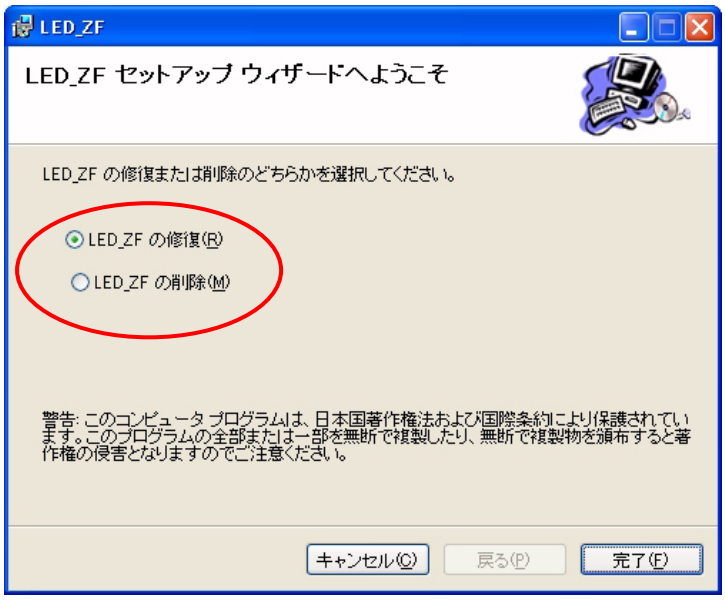
メインメニューの表示

この画面の表示でインストール作業完了します。
「終了」をクリックし、プログラムを終了します。

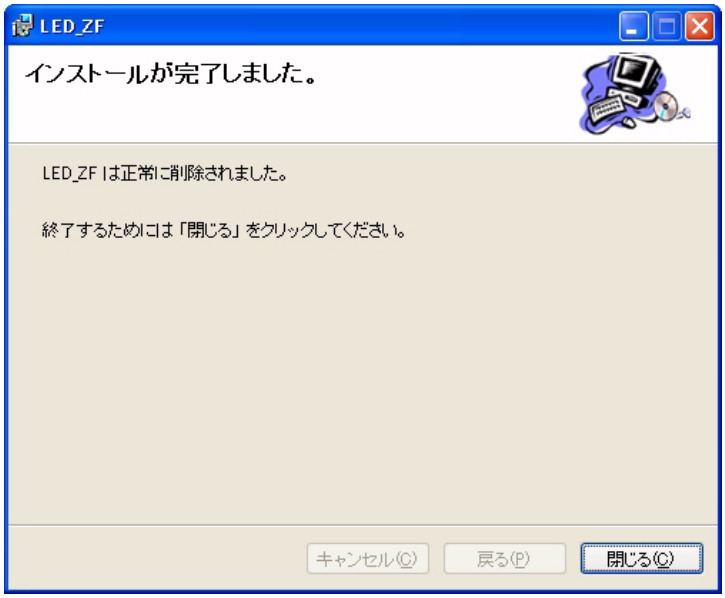


●アンインストール・修復インストール

プログラムの削除、修復を行なうには、〔ＬＥＤ_ＺＦ．ＭＳＩ〕を起動し
セットアップ画面にて選択を行ないます。
パソコン上に既にインストールされた状態で、インストールプログラムを起動すると
下記の画面が表示されますので、「修復」又は「削除」を選択して行ないます。
もし、この作業が不要であれば、「キャンセル(C)」をクリックし終了させます。



「修復」又は「削除」を選択して作業が修了すると下記表示により終了します。



上記完了画面が表示されたら「閉じる(C)」をクリックして、「修復」又は「削除」作業を
完了させます。

編集プログラム「ＬＥＤ－ＺＦ」の起動

このＬＥＤ表示器用文章データー作成編集プログラム（以下は、「編集ソフト」と表示）は、専用のＬＥＤ表示器のパネルに文字や画像を表示するデーターを編集します。
起動には、ウィンドウズのデスクトップ画面「スタート」から「プログラム（Ｐ)」を選択して「Alphatec」より「ＬＥＤ＿ＺＦ」をクリックして起動します。

〔起動開始時の表示〕

●起動チェック

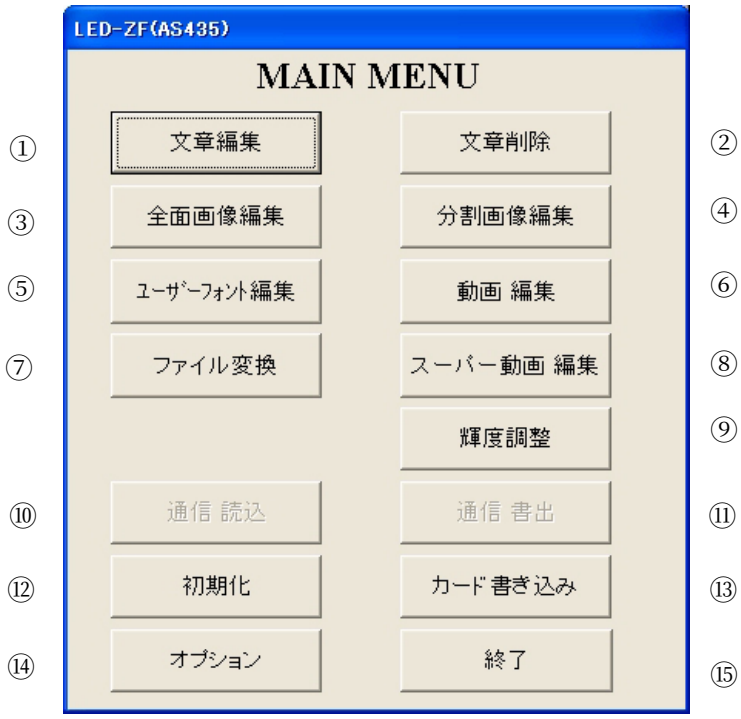
プログラムの起動時に、ＬＥＤ表示器との接続確認が行なわれます。
編集を行なっているパソコンとＬＥＤ表示器が専用のＲＳ２３２Ｃケーブルで接続されていればＬＥＤ表示器を「**リモートモード**」にしてメニュー表示をします。

＊ケーブルの仕様及び、接続の仕方は、第８章を参照して下さい。
「**リモートモード**」とは、通信ケーブルにより表示器内のデーターを編集ソフトに取り込んだり、編集データーを直接転送し直接の編集が出来ます。」

通信ケーブルが未接続で、プログラムの起動すると「**メモリーカードモード**」での起動になります。
編集に問題はありませんが、リモートモードの通信による機能は使用出来ません。
もし、通信ケーブルが接続されていても〔通信読込〕、〔通信書出〕ボタンが、ノンアクティブモードで起動する場合は、パソコンの通信ポートが異なる場合があります。
この場合、メニュー画面を表示させた後、「オプション」の通信ポート設定よりＣＯＭポートの設定を変更して下さい。
設定後、プログラムを再度起動させて下さい。

メニューの説明

編集ソフトが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。
＊通信ケーブルが接続されていない場合は、「通信読込」、「通信書出」ボタンはアクティブ表示になっていませんので通信機能は使用出来ません。
（アクティブ表示：ボタンの文字表示が濃く表示／ノンアクティブ表示：ボタンの文字表示が薄くなっている。）



メインメニューには次の項目があります。

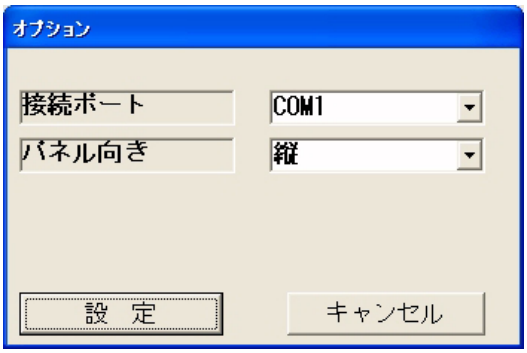
- ①「文章編集」　：文章データー（スクロール文章）の作成、修正を行ないます。
- ②「文章削除」　：文章データー（スクロール文章）の削除を行ないます。
- ③「全面画像編集」　：文章データー（固定文章）の作成、修正を行ないます。
- ④「分割画像編集」　：文章データー（分割固定表示文章）の作成、修正を行ないます。
- ⑤「ﾕｰｻﾞｰﾌｫﾝﾄ編集」　：スクロール文章にカスタムで作成したフォントが使えます。
- ⑥「動画編集」　：動画データーの編集を行ないます。
- ⑦「ﾌｧｲﾙﾕ変換」　：LED-XF 表示器のデーターをＺＦ用に変換します。
- ⑧「スーパー動画編集」　：スーパー動画(詳細動画)データーの編集を行ないます。
- ⑨「輝度調整」　：ＡＳ４３５表示器の表示検査に使用します。
- ⑩「通信読込」　：ＬＥＤコントローラーからデーターを読込ます。
  通信ケーブルが未接続の場合*アクティブ画面ではありません。*
- ⑪「通信書出」　：ＬＥＤコントローラーにデーターを書き込みます。
  通信ケーブルが未接続の場合*アクティブ画面ではありません。*
- ⑫「初期化」　：選択編集中の全文章データーを初期化します。
  編集途中のデーターが全て初期化されますので注意して下さい。
- ⑬「カード書き込み」　：ＣＦメモリーカードに編集データーを書き込みます。
- ⑭「オプション」　：機能設定を行ないます。
  ・表示方向　　シリアルポートの設定
- ⑮「終了」　：編集プログラムを終了します。

初期設定

編集ソフトを使うには、「オプション」により初期設定を行なう必要があります。
ＬＥＤ表示器の画面を確認して作成するデーターを決定して下さい。

・設定項目

ＬＥＤ表示器の表示面数、表示方向を「オプション」内のプルダウンメニューより選択します。
初期設定値：表示方向＝横方向、通信ポート＝ＣＯＭ１（インストール時の設定値）



・表示方向の設定

ＬＥＤ表示器で表示させる画面の方向を「縦表示」、「横表示」を選択します。
＊　注意　：編集開始後に変更は出来ませんので必ず最初に設定して下さい！

・通信ポートの設定

この項目は、プログラムのインストール時に行なっていますので変更する必要はありません。
通信ポートを変更した場合にポートを修正して下さい。

各設定の完了後「設定」をクリックすると、設定時に選択した表示パネル、表示方向の文章フォルダが「データー初期化」表示と共に作成されます。

〔データーフォルダ作成時の画面〕

終了時の画面　「ＯＫ」をクリックします。

文章データーの説明

ＬＥＤ表示器【ＡＳ４３５】で表示する文章データーについて説明を行ないます。

● 文章データーについて

・ＬＥＤ表示器のタイプにより縦／横の文章があります。
・ＬＥＤ画面のドット数は、３２×６４ドット（横表示時）／６４×３２ドット（横表示時）になります。
・表示する文章タイプは、下記の５タイプの表示文章より選択します。
・ＬＥＤ表示画面ではフルカラー表示出来ます。
（スーパー動画では、表示色は最大４０９６色から選択して表示出来ます。）

● 文章データーの種類

①スクロール表示文章
・文字サイズは、通常サイズと倍角サイズで最大２５文字の文章を流れ表示します。
・表示方向は、横表示時は〔順方向・逆方向・倍角順方向・倍角逆方向〕
縦表示時は〔順方向・倍角順方向〕で表示します。
・表示色は、８色より選択します。

②固定表示文章（固定、点滅、反転点滅）
・標準フォントで最大８文字（８面パネル時）の表示します。
・ビットマップ画面で、３２×６４ドット（８面パネル時）の画像を表示します。

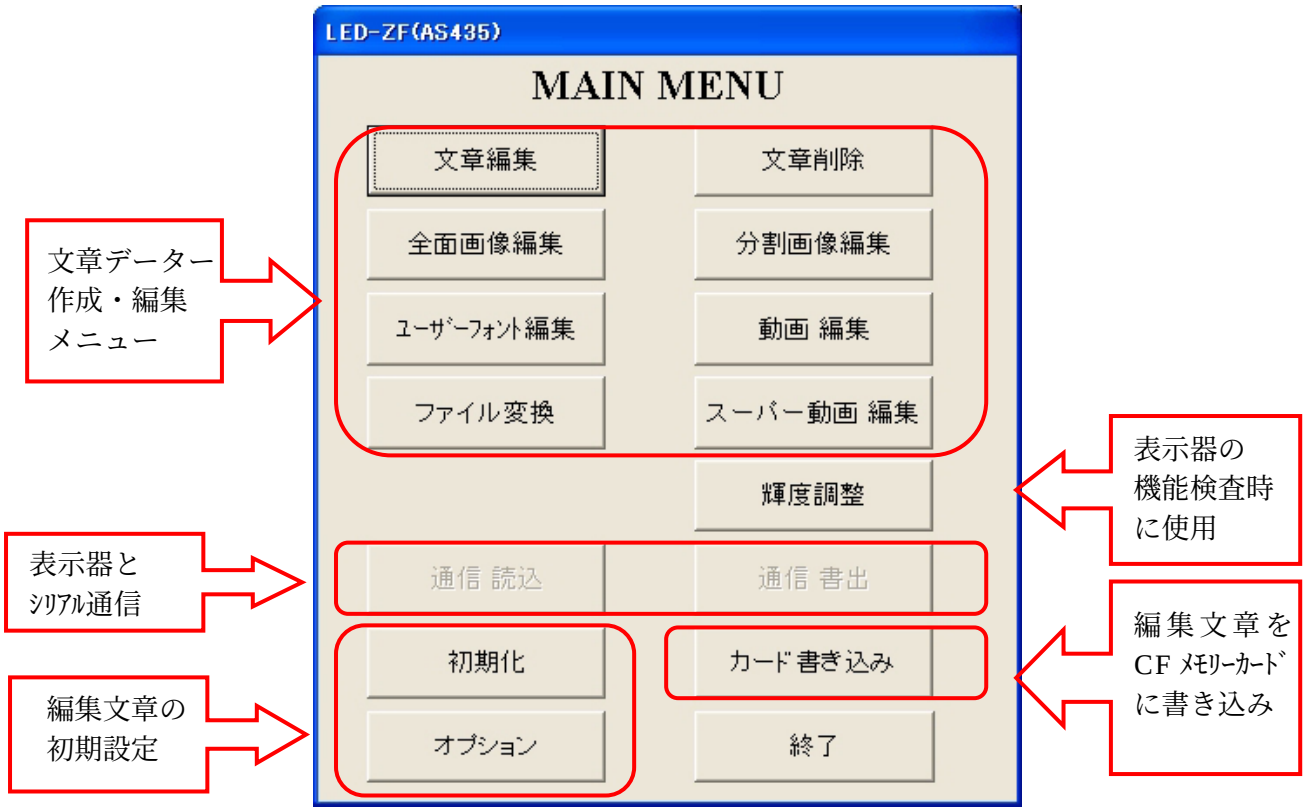
③分割表示文章（固定、点滅、反転点滅）
・横表示時は〔上段・下段〕　縦表示時は〔左段・右段〕の片側に４面の文章を固定文章として表示し、反対側は、スクロール文章より選択し表示します。
・ビットマップ画面では、固定文章選択側に１６×６４ドット（４面パネル分）の画像を表示します。

・動画には、【動画】と【スーパー動画】の２つのタイプがあります。
④動画表示文章
表示色６４色の選択が可能、１動画７画面で構成、動画数５０動画の編集可能
・画面の切替え時間は各画面毎に　０．１秒～３．０秒で切替え設定を行ない
動画表示出来ます。

⑤スーパー動画表示文章
表示色４０９６色の選択が可能、１動画３０画面で構成
動画数２０動画の編集可能
・画面の切替え時間は各画面毎に　０．１秒～３．０秒で切替え設定を行ない
動画表示出来ます。

文章データー作成・編集メニュー

編集を開始するには、初期設定にて文章データーのタイプを選択した後、〔メインメニュー〕より〔文章データー作成・編集メニュー〕を選択して下さい。
詳細な編集説明は、　第３～７章で行ないます。



●編集文章の初期設定
文章編集を行なう前に、**必ずＬＥＤ表示器の面数と、表示方向の確認**を行なって下さい。
初期設定は、一度行なえばＬＥＤ表示器を変更しない限り変更する必要はありません。

【　注記　】

インストール後、始めての起動時と初期化した場合は、データーは空の状態より編集作業を行なう事になります。
・ＬＥＤ表示器の表示方向が異なるタイプでの編集は、画面表示が正しく表示されません。
表示方向を変更した場合は、再度新規の編集作業になります。

スクロール文章の編集

●スクロール文章とは

・ＬＥＤ表示器で文章を**流れ表示する文章**です。
縦表示時、文章を表示器画面の下から上に流れ表示をします。
横表示時、文章を表示器画面の右から左（通常表示)、左から右（矢印等の使用）に流れ表示をします。

・ＬＥＤ表示器の表示スピード（流れスピード）は、ＬＥＤ表示器の設定で行ないます。
スピード設定は１～１０段階の設定が出来ます。

・スクロール文章として最大４００文章の登録が出来ます。

・１つのスクロール文章として、最大２５文字の編集が出来ます。

・文章中に特殊文字が使用出来ます。
日時の表示、後入力数字など出来ます。

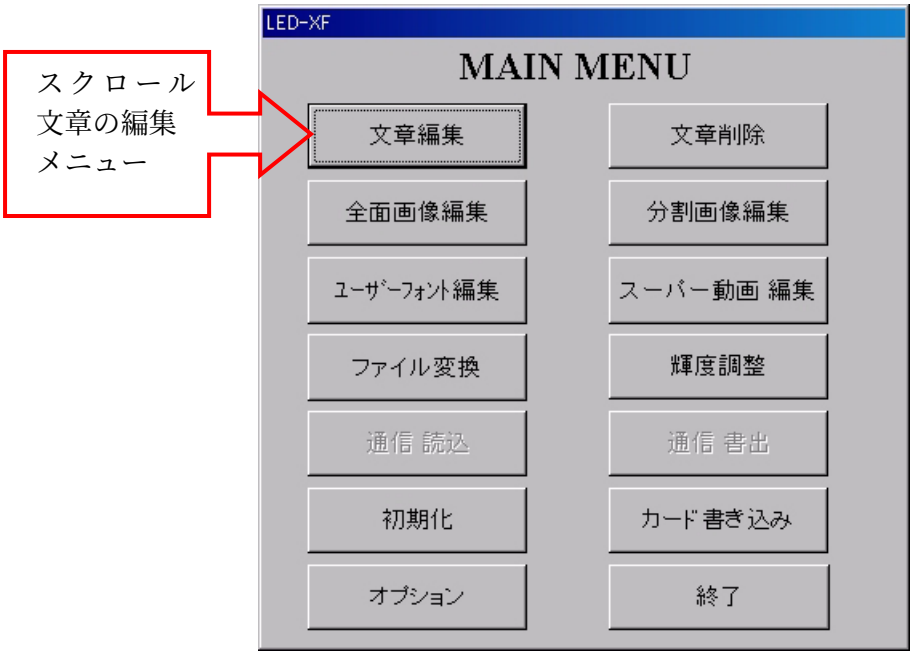
・スクロール文章の編集時に使用出来る表示色について

■文字色とベース色が個別に設定可能　（個別編集画面に色選択窓がりあります。）
左側[Fore]＝文字色、右側[Back]＝ベース色になります

■選択可能な色は、ＬＥＤ表示器【ＡＳ４３５】の場合下記色が使用出来ます。
〔ＡＳ４３４Ｃ（フルカラー)〕の場合、下記８色より選択可能です。

スクロール文章編集の使い方

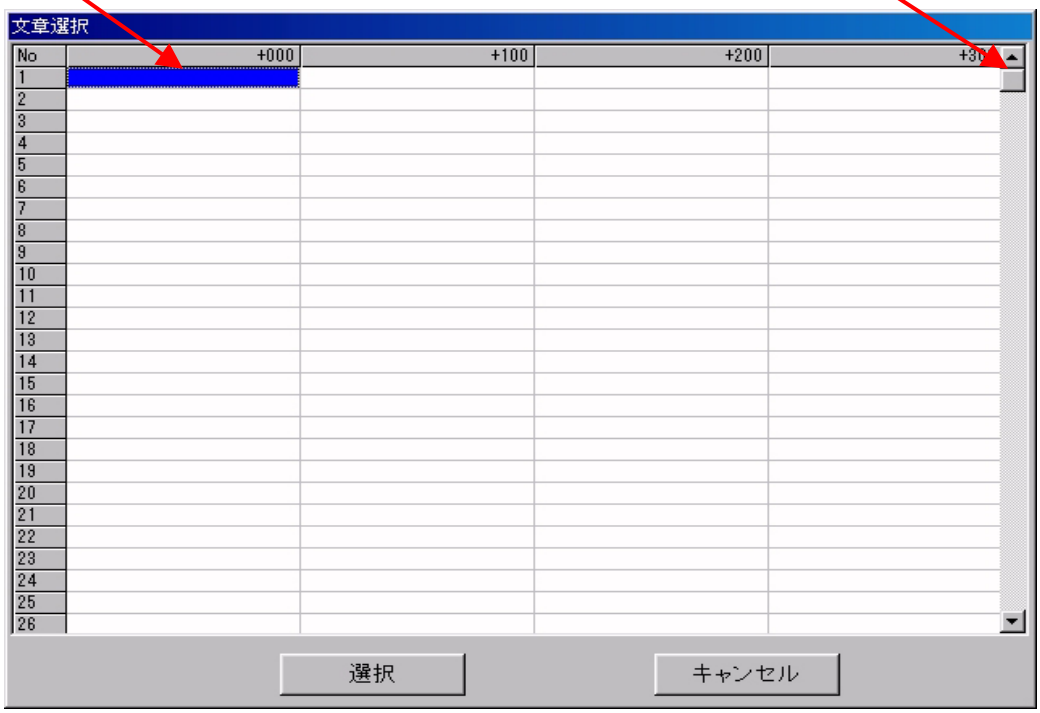
1　「文章編集」をクリックして下さい。
スクロール文章の作成・編集を行なうには　[メインメニュー]より「文章編集」を選択します。



〔文章選択〕画面が表示されます。

この位置が、スクロール文章「００１」になります。
縦列表示「１～100」、横表示「100～300」の表示

スクロールバー



・初期画面には、文章データーは全く入っていませんので空欄の表が表示されます。
　文章が登録されると、登録したNo.の欄に頭側から約１２文字表示されます。
・スクロール文章は、１～４００まで　**４００文章**の登録が出来ます。
・１文章は、全角文字で２５文字表示されます。
　半角文字は、使用出来ません！

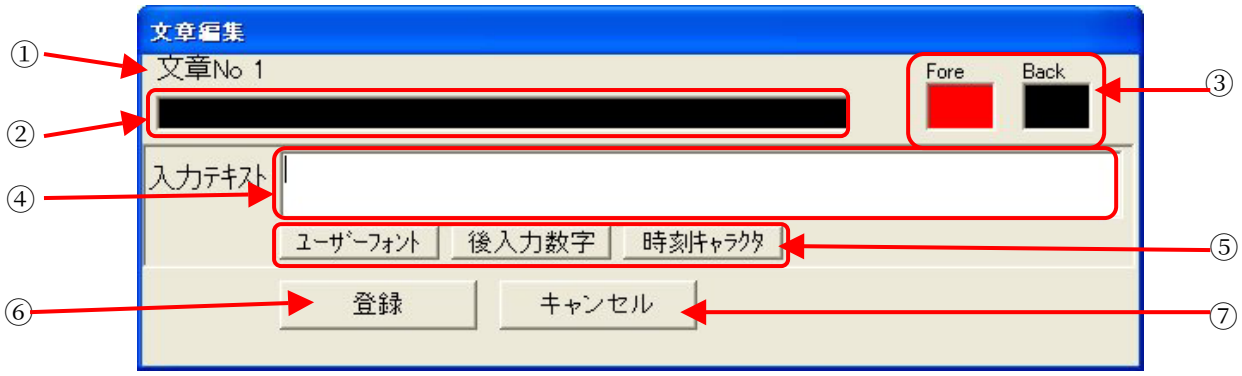
〔文章選択〕画面の縦軸　ＮＯ．欄より下側に１～１００番まで配置、
横軸に０番台、１００番台、２００番台、３００番台の登録欄がされます。
２６番以降の番号を選択するには、画面右サイドのスクロールバーをマウスで
下方向に画面を移動して表示選択して下さい。

2　文章番号１番の編集を行ないます。
「文章選択」画面の１番の欄（＋０００列）にマウスのカーソルを合わせ、
欄が青色に反転した状態にして下側の右にある「選択」をクリックして下さい。
・文章Ｎｏ．１の編集画面が表示されます。

● **縦文章、横文章の編集画面についての説明**

注意　表示画面の選択により、編集画面が異なります。
初期設定時のＬＥＤ表示器の方向選択により編集画面が、「縦表示選択＝縦方向表示」
「横表示選択＝横方向表示」となります。

〔横表示　文章編集画面〕



〔縦表示　文章編集画面〕

①編集文章番号　１～４００
②スクロール文章－表示イメージ欄
③カラーパレット欄
④入力テキスト欄　全角文字を入力
⑤「@」文字選択欄
⑥登録（保存）ボタン
⑦キャンセル（編集終了）ボタン

3　テキストの入力を行ないます。

「入力テキスト」欄に、カーソルがブリンクしています。

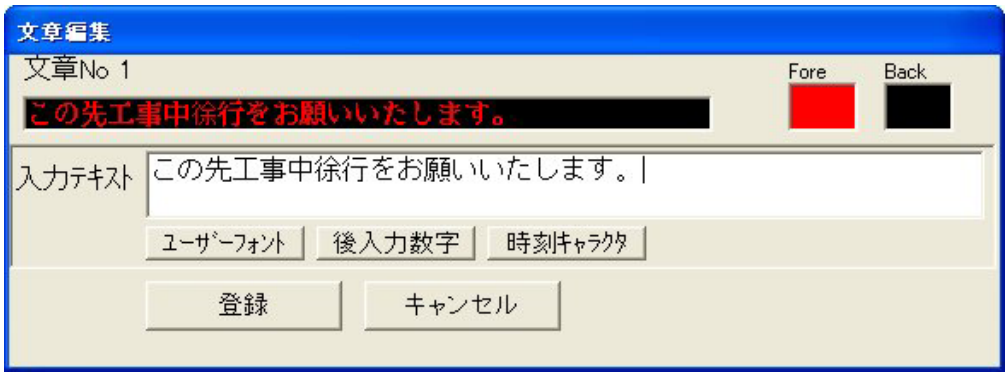
【全角文字】で文章入力し漢字変換等を行ない、文章を確定いたします。

注意　**半角文字は入力出来ません。**

１文章の入力文字数は、**全角文字で２５文字まで入力**出来ます。

例として「この先工事中徐行をお願いいたします。」と入力し、「ＥＮＴＥＲ」キーを押すと、文章編集画面の上の欄に赤色で表示されます。

文章の修正・訂正は、「Delete」キー、「BackSpace」キーで行ないます。



4　表示色を選択します。

編集画面の右側にある〔カラーパレット〕を使い　文字色と背景色を選択します。

パレット欄をマウスの左右ボタンをクリックすると窓の色とイメージ欄が変わります。

■文字色と背景色を個別に設定することが出来ます。

カラーパレット欄の　左側[Fore]＝文字色、右側[Back]＝ベース色になります

■選択可能な色は、ＬＥＤ表示器【ＡＳ４３５】の場合下記の８色が選択出来ます。

〔表示例〕　文字色の変更例

背景色：黒　文字色：赤

背景色：黒　文字色：緑

背景色：黒　文字色：黄

背景色：黒　文字色：青

背景色：黒　文字色：紫

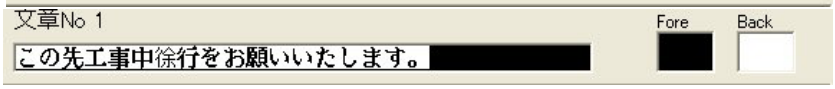
背景色：黒　文字色：水色

背景色：黒　文字色：白

■背景色に色表示を選択し、文字を黒色など、各種選択表示が可能です。

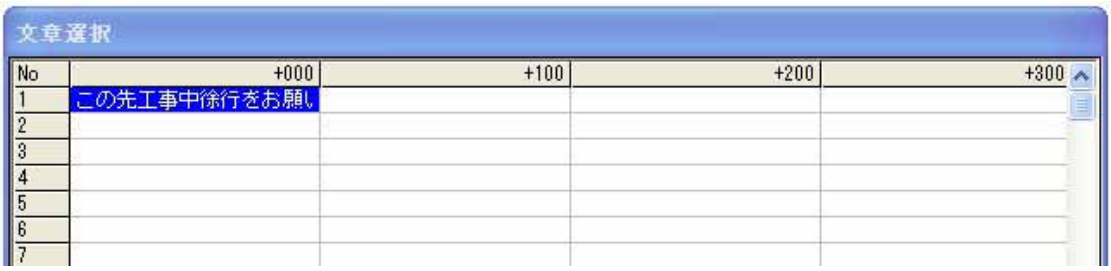
背景色：赤　文字色：黒

背景色：白　文字色：黒



5　文章の「登録」を行ないます。
文章の入力と表示色の設定が完了の場合、文章を登録する必要があります。

注意　登録せずに編集を行ないますと、前の編集文章に上書されます。
「登録」ボタンをクリックして下さい。



登録完了後に〔文章選択〕画面が表示され、ＮＯ．１の欄に登録された文章の頭から１２文字表示されます。

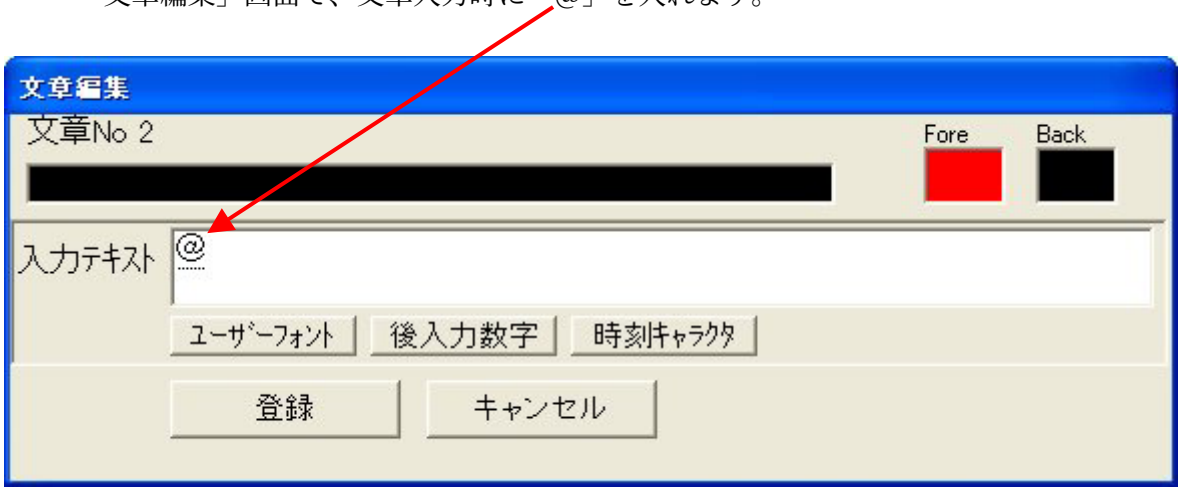
6　文章の「登録」せずに終了する場合
「キャンセル」ボタンをクリックすると、「文章編集」画面に戻ります。

7　引き続き編集を行なう場合、「文章編集」画面より編集番号を選択して作業を繰り返し行なって下さい。

■スクロール文章の編集を終了する場合は、〔文章選択〕画面の「キャンセル」ボタンをクリックして下さい、「メインメニュー」画面に戻ります。

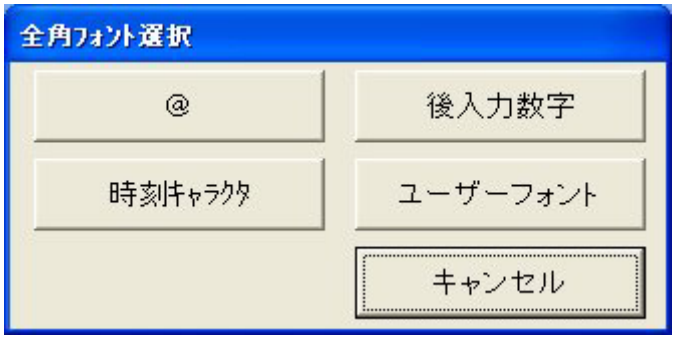
● 特殊文字の入力

スクロール文章編集には、特殊文字、フォントを文章中に表示する機能があります。
「文章編集」画面で、文章入力時に「@」を入れます。



「@」を入力し「enter」を押すと下記の「全角フォント選択」画面が表示されます。
@マークには４通りの表示内容がありますので、表示内容を選択する必要があります。

・選択ボタンの説明



①「　　@　　」：スクロール文章中にキャラクタとしての「@」フォントを表示
する時に選択

②「 後入力数字 」：スクロール文章中に数字を入力する時に選択
文章データーを表示器に転送後、リモコンで数字を入力

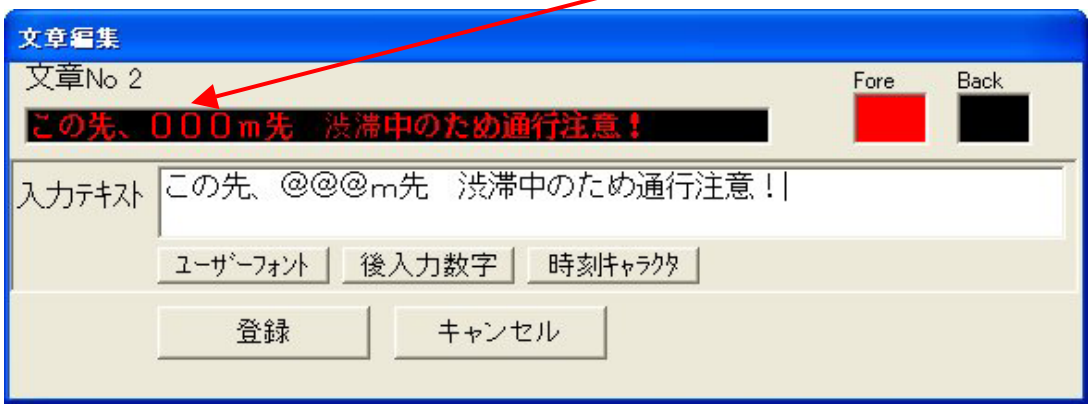
③「 時刻キャラクタ 」：スクロール文章中に、表示器内の日時データーを表示
現在時間の表示等に利用

④「ユーザーフォント」：ユーザーが作成した特殊フォントを選択する
（標準フォントリストに入っていない漢字やキャラクタを
文章中に入れて表示）

・ＬＥＤ表示器での使用方法について

①.「@」は、文章の中に@文字として表示するもので特別な意味はありません。

②. **後入力数字**は、ＬＥＤ表示器を使う現場にて数字を入れる時に有効です。
「この先、０００m先　渋滞中のため通行注意！」　の文章に０００mの箇所に数字が入力できます。



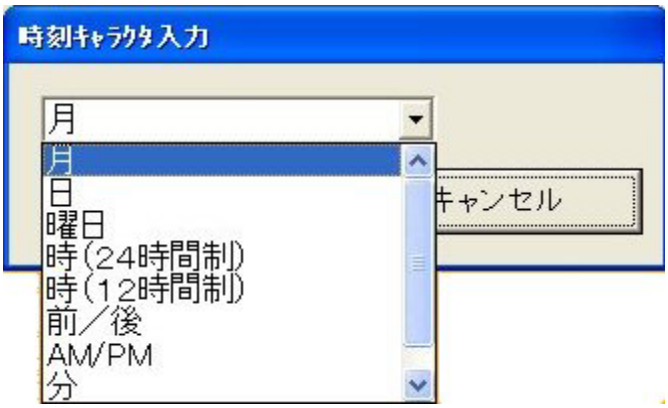
③. **時刻キャラクタ**は、ＬＥＤ表示器の時計機能を使い、日付や時間の表示が出来ます。
「只今の時刻は、@時@分です。」自動で表示器の時計機能からデーターを読み出して表示が出来ます。　@の場所に時刻が表示されます。

登録方法は前項と同じく文章を作成し、時間を入れる場所に@を入れると、
全角フォント選択画面が表示されますので「時刻キャラクタ」を選択します。

次に、時刻キャラクタ入力の　「月」が表示されている欄は、プルダウンメニューになっていますので登録する項目を選択して下さい。

・プルダウンメニューの説明

時刻キャラクタの選択は、〔日時〕の選択項目になります。



時刻キャラクタの選択項目の説明

月	：月を表示　１月～１２月の数字
日	：日を表示　１日～３１日の数字
曜日	：曜日を漢字表示　月火水木金土日
時(24 時間制)	：時刻を２４時間表示　１～２４
時(12 時間制)	：時刻を１２時間表示　１～１２
前／後	：１２時間表示時の午前、午後を漢字表示
ＡＭ／ＰＭ	：１２時間表示時の午前、午後をＡＭ／ＰＭ
分	：時刻の分表示を　００～５９の数字表示
秒	：時刻の秒表示を　００～５９の数字表示

時刻表示を１２時間で表示する場合には、「午前／午後」もしくは、「ＡＭ／ＰＭ」を時刻表示の前に付けて下さい。

④．**ユーザーフォント**は、標準フォントに無い、ユーザーの「ロゴマーク」や「絵文字」などを表示する場合に使い、ユーザーフォントを使う為には、前もって「ユーザーフォント編集」にてフォントの作成が必要です。

＊ユーザーフォントの編集は、８章にて説明していますので参照して下さい。

スクロール文章中にユーザーフォントを組み込むには、「@」マーク入力後表示される「全角フォント選択」画面より希望のフォントの番号（５０００番より）を黄色に反転させ「選択」をクリックします。

「文章編集」画面の表示イメージ欄に選択したフォントが表示されます。

固定文章の編集

●　固定文章とは

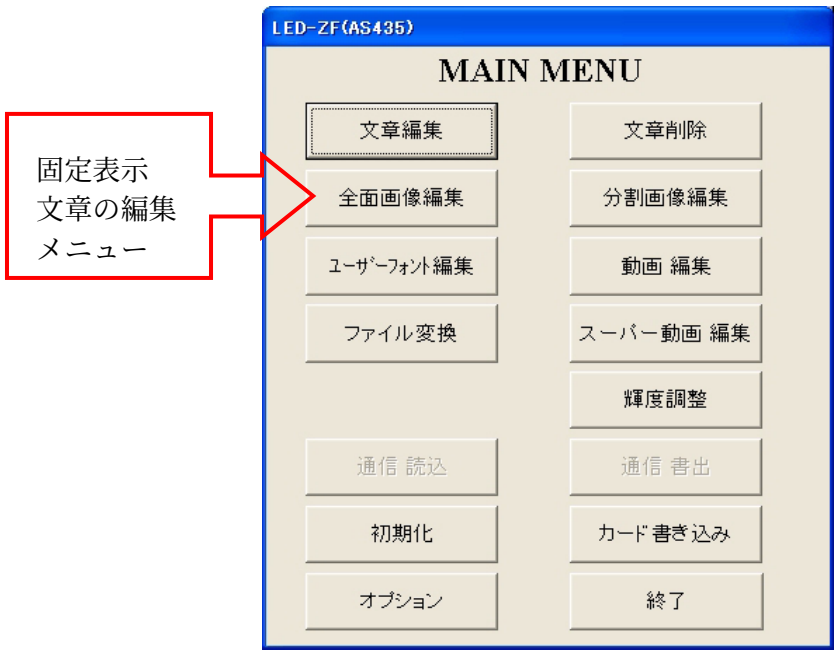
固定文章は、固定表示文章で編集した文章（１画面）をＬＥＤ表示器で「固定表示画面」、「点滅表示画面」、「反転表示画面」で使用します。
固定文章を編集には、２つの方法があります。

①編集プログラムに登録された文字フォント〔全角フォント〕を選択して画面を作成します。　ＬＥＤ表示器【ＡＳ４３５】は、全角フォントで８文字の表示が可能です。（４文字×２段（２列）表示可能）
〔使用可能文字フォント〕
②表示画面にビット表示で文章、絵を作成して登録できます。
全角フォントを編集画面に表示させた後にビット表示画面で編集は可能です。

条件　①文字フォント：ＪＩＳ　第１水準漢字　のみ
②編集出来る文章数：２５０文章
③表示モード：固定表示、点滅固定表示、反転点滅表示
④表示色：ＲＧＢ４階調で６４色より選択
⑤表示フォント：拡大表示　〔縦倍角〕、〔横倍角〕が可能

固定文章編集の使い方

固定表示文章の作成・編集を行うには[メインメニュー]より「全面画像編集」を選択します。



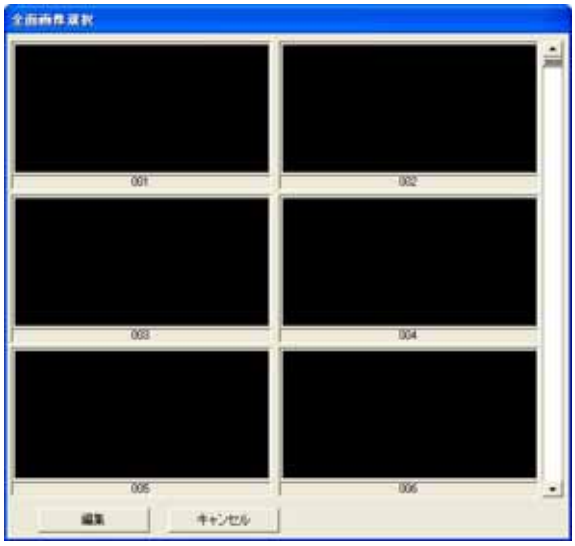
● **縦文章、横文章の「全面画像選択」画面と「文章編集」画面についての説明**

注　意

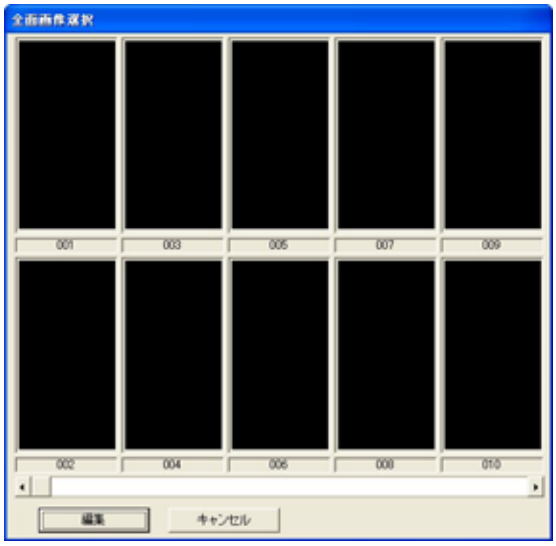
表示器の設定により「縦表示」と「横表示」があり、編集画面が異なりますが、
本章説明では、横を基本として説明します、操作上縦表示で異なる場合、
縦表示として説明します。

初期設定時のＬＥＤ表示器の方向選択により編集画面が、「縦表示選択＝縦方向表示」
「横表示選択＝横方向表示」となります。

〔横表示　全面画像選択画面〕

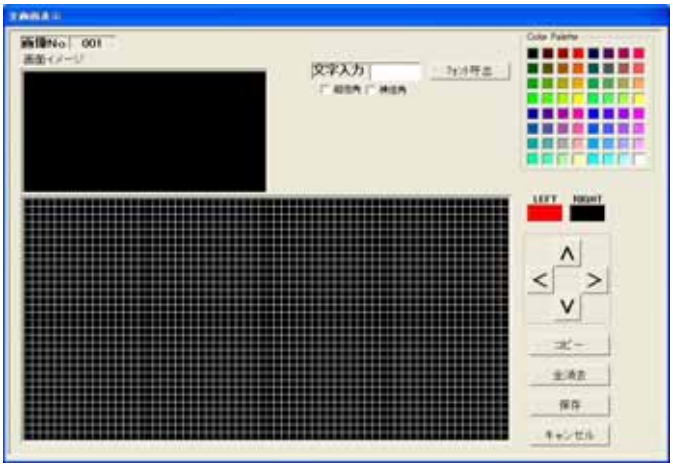


〔縦表示　全面画像選択画面〕

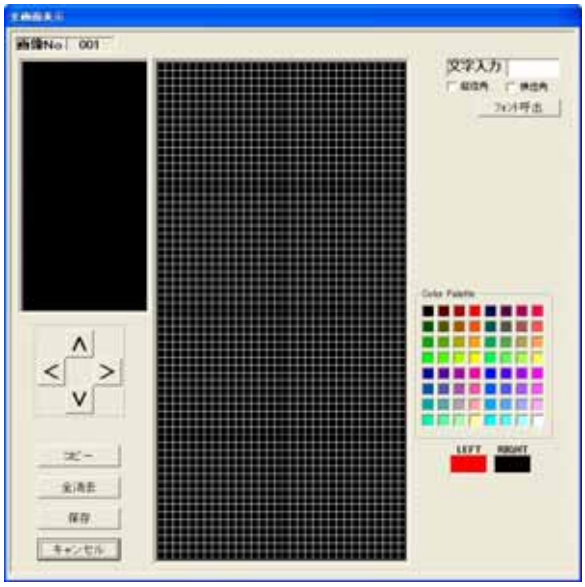


データーの未登録時は、各データーフォルダが黒画面となっていますが登録すると
画面イメージが表示されます。

〔横表示　全面画像表示画面〕



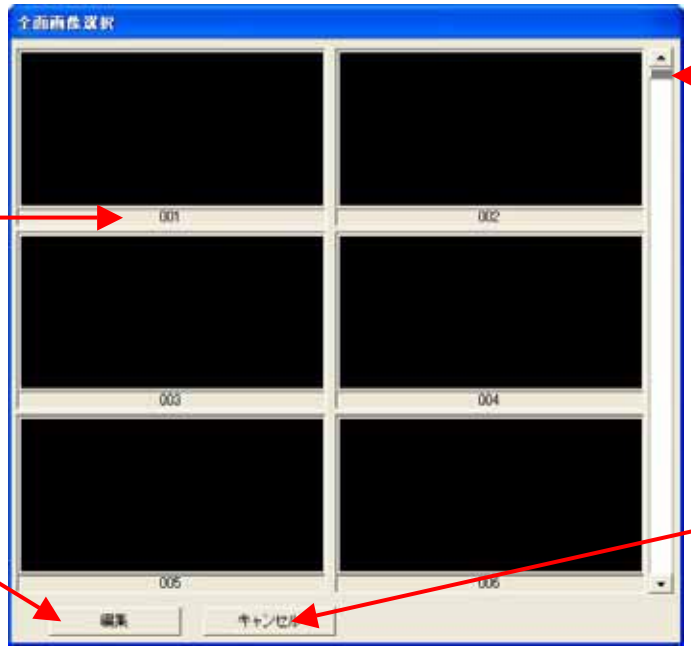
〔縦表示　全面画像表示画面〕



この画面は編集時の画面で、全面画像編集の初期画面になります。
横表示では、全角フォントで４文字×２列の表示サイズで、
縦表示では、同じく縦４文字×２行の編集が出来ます。

全角フォントでの編集

1　〔メインメニュー〕画面の「全面画像編集」をクリックして下さい。
〔全面画像選択〕画面が表示されます。



スクロールバーを下に下げると、５００番までの画像が表示されます。

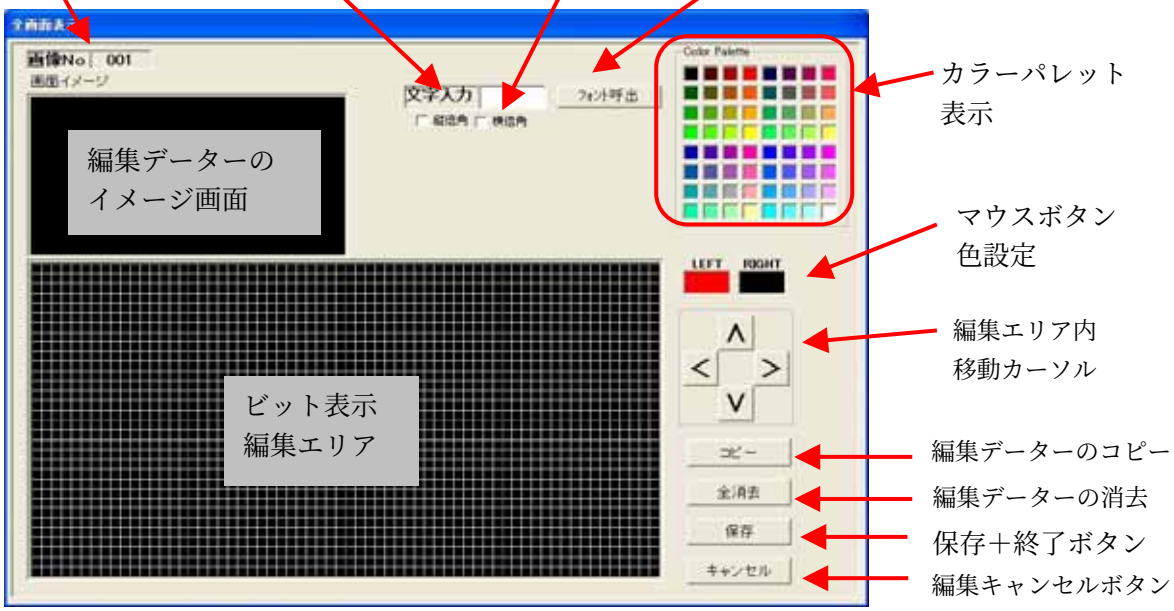
番号の選択マウスでこの番号をクリックして選択します。

番号を選択後クリックして編集を始めます。

編集終了時にクリックします

全面画像文章は、１～２５０まで　**２５０文章**の登録が出来ます。
選択画面には、横編集：６画面分、縦編集：１０面分しか表示されませんが、
右側スクロールバーを下げる事で２５０番まで選択出来ます。

2　〔全面画像選択〕画面で、編集を行なうデーター番号（００１など）をクリックして番号欄を選択色の黄色に変えて、「編集」をクリックして下さい。
〔全面画表示〕画面が表示されます。



この画面にて編集を行ないます。

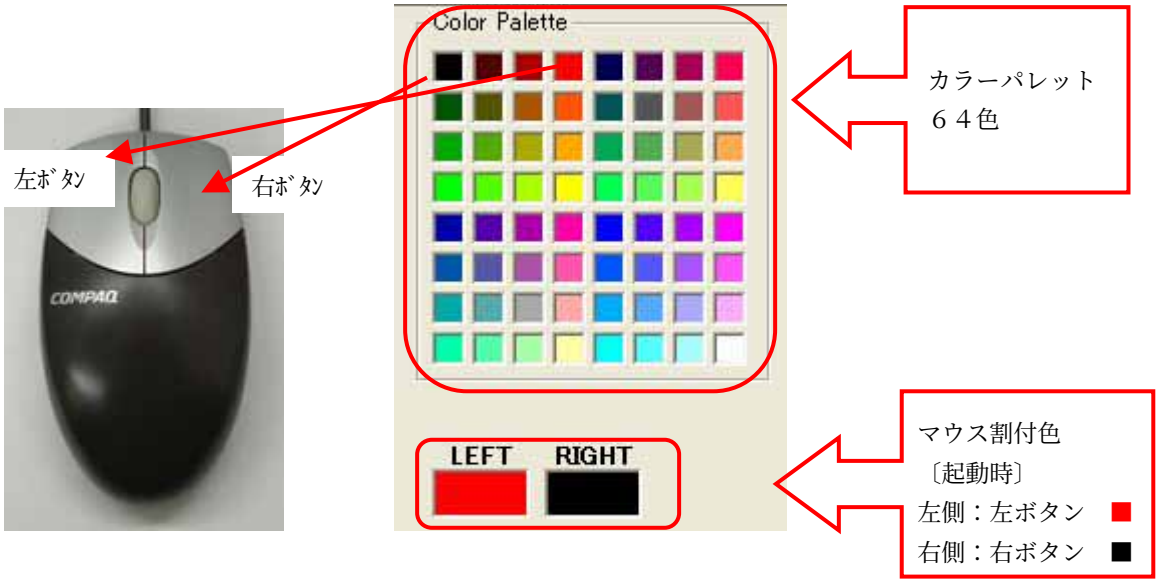
3　選択フォントの表示色　及び、ビットマップ表示エリアでの編集色を選択

データー作成では、まず先に、マウスの左右ボタンに割り付ける色を決定します。

＊「左」ボタンで選択された色は、漢字フォントの選択時の文字色になります。

起動時は、左ボタン＝赤、右ボタン＝黒の設定と成っています。
①マウスのカーソルを〔カラーパレット〕の選択する色の上に合わせます。

②マウスの左ボタンの色を設定する場合は、カラーパレットに合わせたまま
「左」ボタンをクリックします。〔マウス割付〕左ボタンの窓が選択色に変わります。
「右」ボタンも同じく〔マウス割付〕窓の色が編集時に使われる色になります。
　一度に選択できる色は、左右ボタンで２色となります。
　他の色を選択する場合は、再度選択を行ないます。

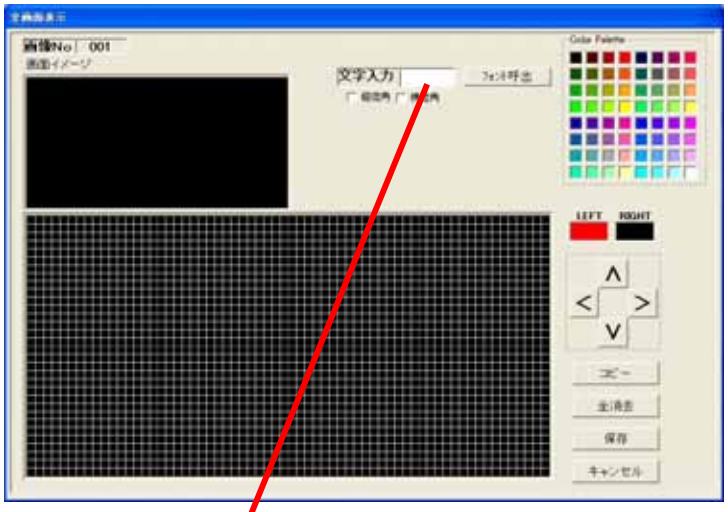


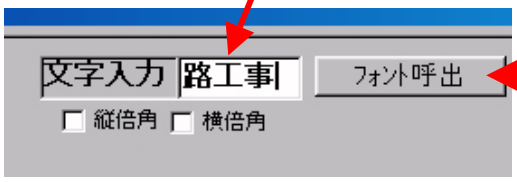
●ビット表示画面でのマウスの使い方

ビット表示編集画面エリア内にマウスの「**矢印カーソル**」を合わせると「**十字カーソル**」に変ります。
この「十字カーソル」の位置でマウス「**左ボタン**」をクリックすると赤く反転します。
同じ位置で「**右ボタン**」をクリックすると**黒色**に戻ります。
マウスのボタンをドラッグすると「十字カーソル」の移動した跡が軌跡として反転します。
赤く反転したドットが、ＬＥＤ表示器の赤色ＬＥＤが発光する場所になります。
マウスのボタンに選択した色を変えて、ビットマップ画面でクリックすれば選択色が表示されます。

- **全角フォントの登録**　横表示編集：上下２段に文章を登録　（１段のみも可能）
  縦表示編集：左右２列に文章を登録　（１列のみも可能）

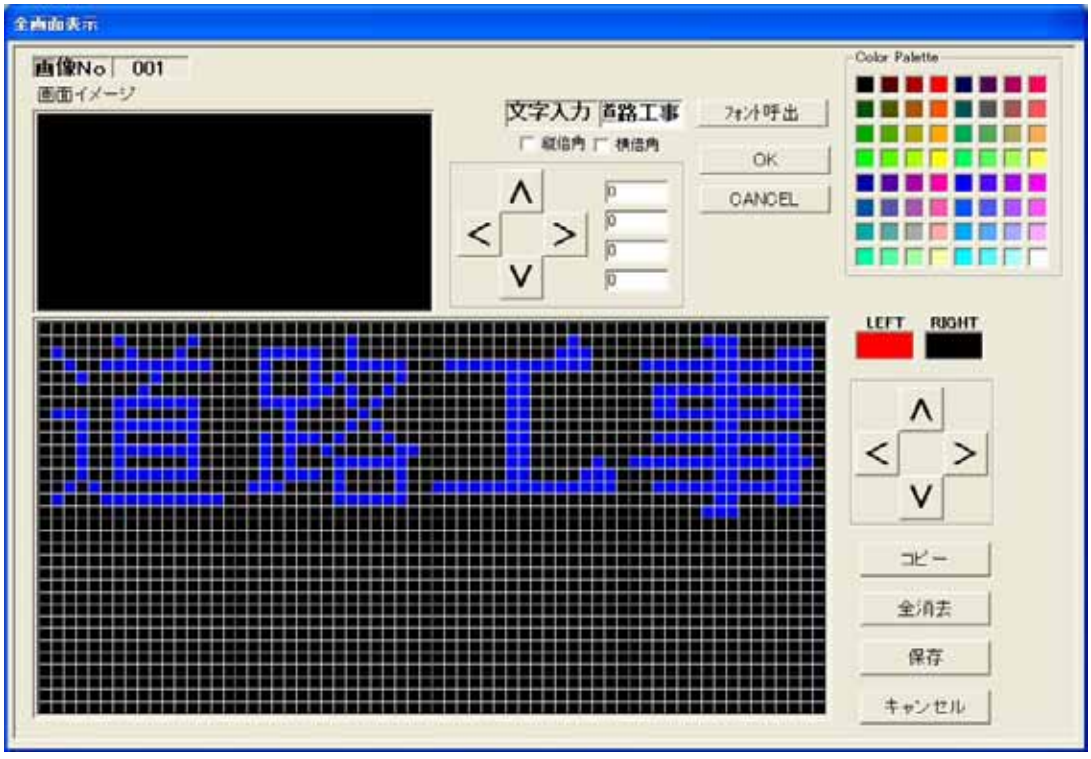
4　編集画面右上の「文字入力」欄にマウスでカーソルを移しクリックします。
入力テキスト欄にカーソルがブリンクしていますので、【全角文字】で文字を入力します。
例：「道路工事」と入力し「Enter」で確定して「フォント呼出」をクリックします。
ビット表示編集エリアに　青色で「道路工事」と表示されます。





文字入力欄に入力後
「フォント呼出」をクリックする

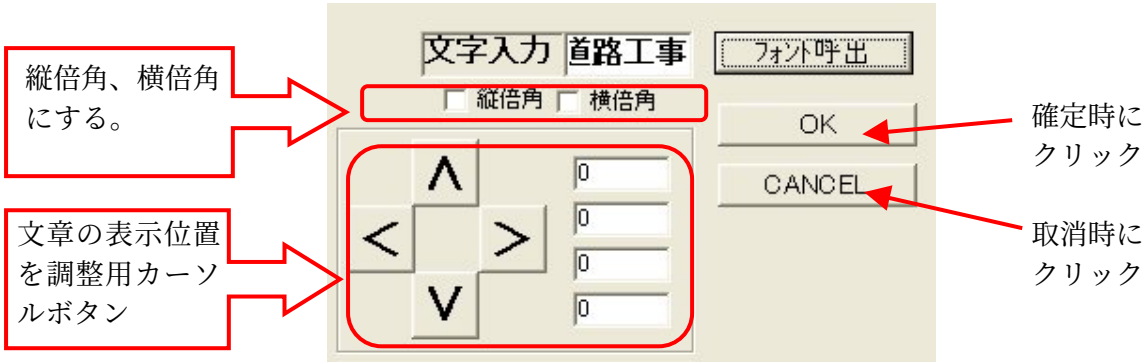
[ビット編集エリア]に全角文字フォントが青色で表示されます。



●[ビット編集エリア]表示画面の表示色について
青色：フォントが呼び出された状態で表示文章としてまだ確定していません。
文字フォントが上書きになった場合、先に登録された文字色との合成色になります。
赤色：マウス左ボタンが赤選択時に確定したフォント色です。

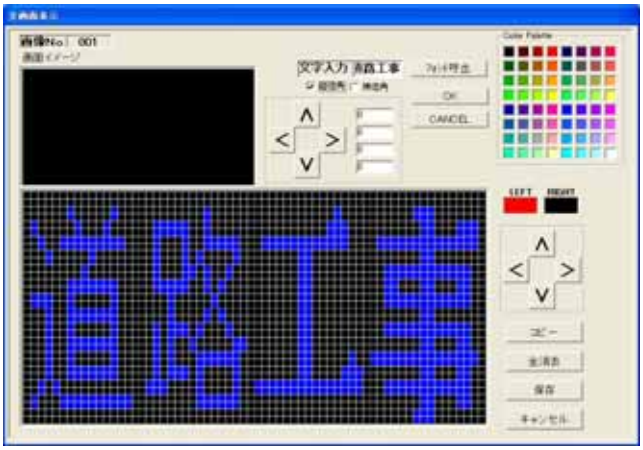
5　全角フォント位置の微調整

操作３にて呼び出したフォントのサイズ、位置を決定して表示文章を確定します。
文字サイズ、表示位置を決めるには、編集画面右上部にあるツールボタンを使います。
【ツールボタンの説明】表示データーが未確定（青色表示）時に有効表示されます。

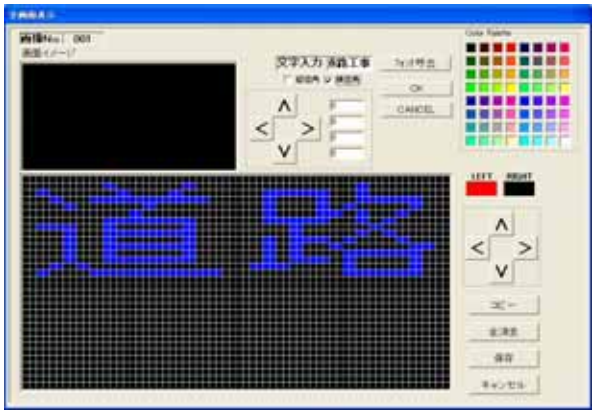


【縦／横倍角表示の画面】　□縦倍角、□横倍角　の□に「レ」 チェックを入れると下記の表示になります。

【縦倍角表示】

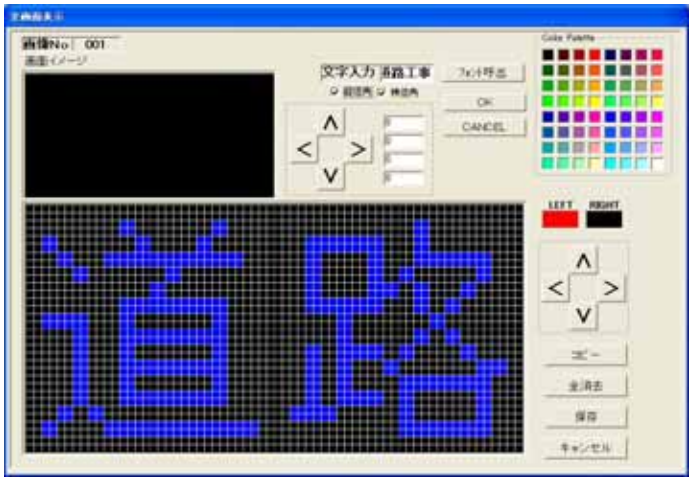


【横倍角表示】



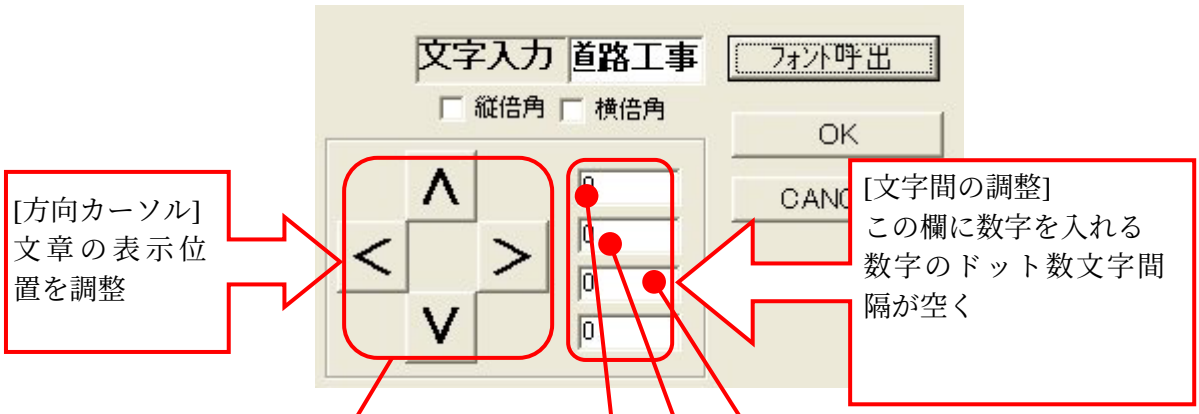
【横倍角表示】
＋
【縦倍角表示】

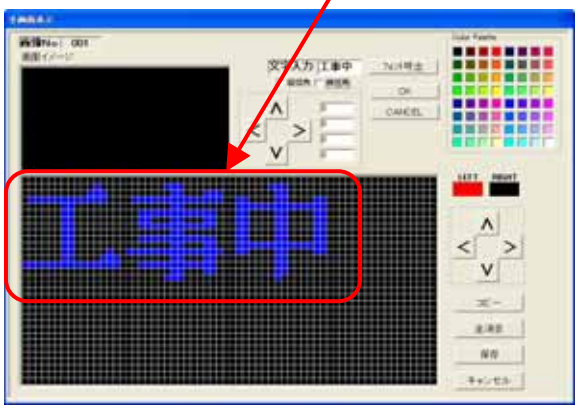
倍角表示にすると、
編集画面より
はみ出した部分
は表示されません。



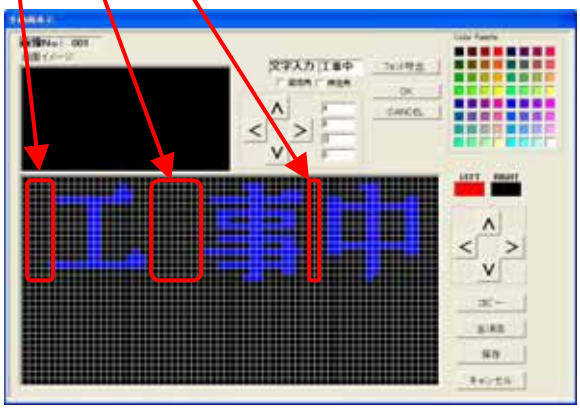
表示位置の調整

【位置調整ツールボタン】　データーが未確定時に有効になり、「ＯＫ」をクリックして確定すると方向カーソル、文字間調整欄は消えます。





方向カーソルを１回クリックする度に
文字データー（青色の文章）全体が
１ドット毎に移動します。



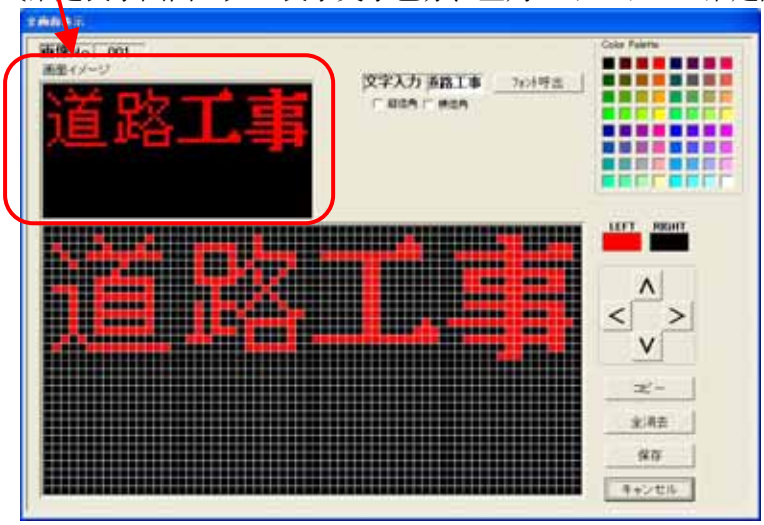
上側より①開始位置－１文字間、②１－２文字間
③２－３文字間、④３－４文字間になります。
入力可能数値は、「－」も可能ですが編集エリア
より外れた場合は、表示されません。

6　文章の確定をします。

上側の文章が確定した場合、「ＯＫ」ボタン（フォント呼出ボタンの下）にて確定します。「ＯＫ」ボタンをクリックすると、データーが赤色に変り「画面イメージ」エリアにＬＥＤ表示時の画面が表示されます。

「ＯＫ」ボタン

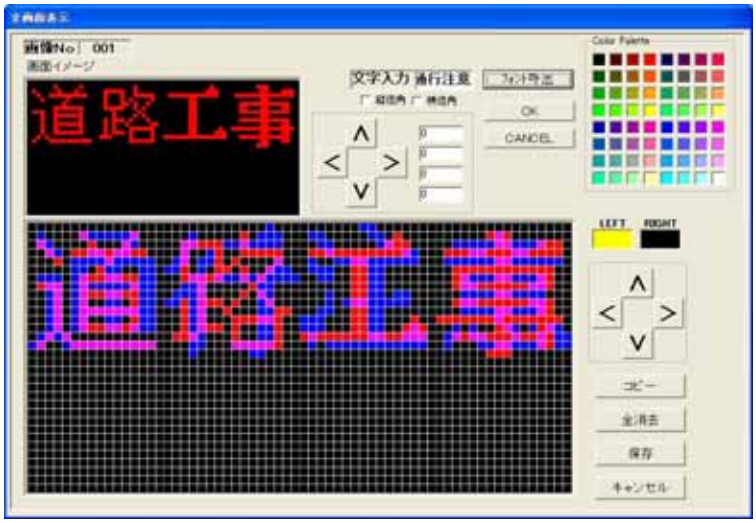
〔確定表示画面　〕　表示文字色赤、全角フォントでの確定画面



（「CANCEL」ボタンをクリックすると、ビットマップ画面の表示が消去されます。）

7　下段の文字登録

上段と同じく〔文字入力欄〕に文字例〔通行注意〕を入力し、「フォント呼出」をクリックします。

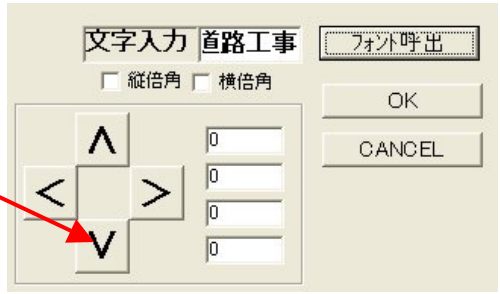


〔通行注意〕と入力した文章が、先に登録された〔道路工事〕に重なって表示されています。マウスの右ボタンの色指定を〔黄色〕にします。

確定の「ＯＫ」ボタンをクリックするで変更可能です。

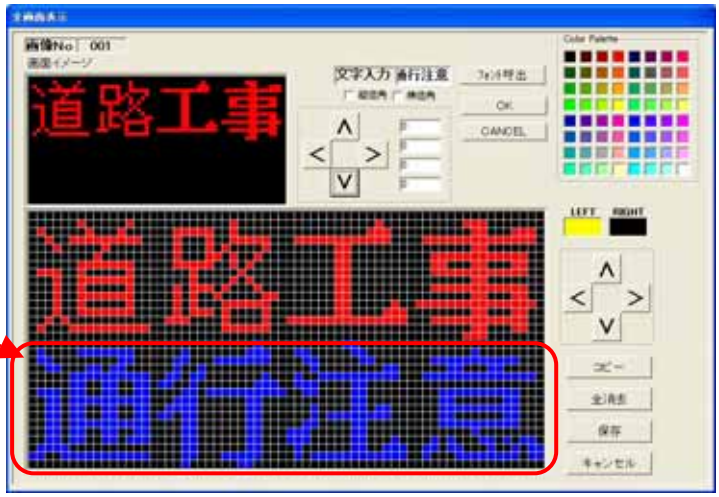
8　下段の文章位置の確定をします。
「方向カーソル」の下方向移動　矢印ボタンを、１６回クリックします。
＊１クリックで１ドット分下がりますので下段への移動には１６回必要です。

[方向カーソル]
下移動カーソル



〔未確定フォントの移動表示画面〕

移動した
未確定文章
(16ﾄﾞｯﾄ下に移動)



表示位置が確定した場合、「ＯＫ」ボタンをクリックして確定します。
〔上下段文章が確定した画面〕

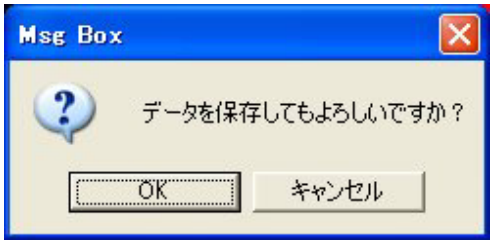
確定した文章の編集は、マウスの左右ボタンに色を選択して〔ビット表示編集エリア〕で編集が出来ます。詳しくは、次項の〔ビットマップ編集〕を確認して下さい。

9 文章の保存

確定した文章を保存して終了します。

〔編集画面〕の右下側にある「保存」ボタンをクリックします。

保存問い合わせウィンドウが表示され、次に「ＯＫ」ボタンをクリックします。

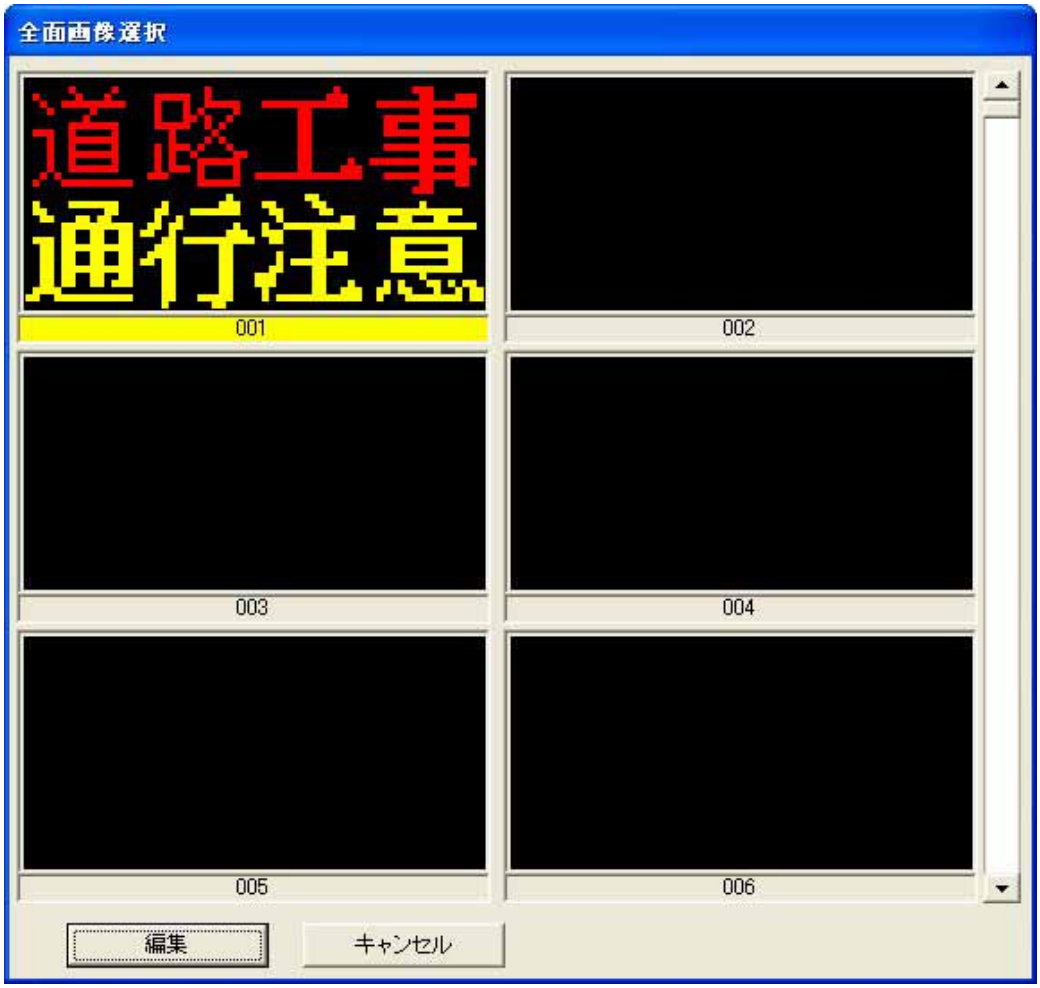


これで編集番号〔００１〕に文章データーが保存されました、編集作業を終える場合は、〔全面画像選択〕画面の「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。

〔メインメニュー〕画面に戻ります。

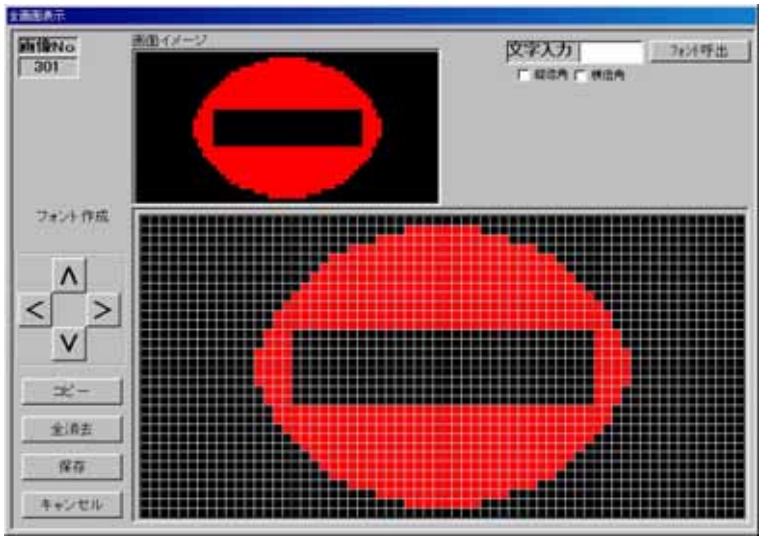
引き続き編集を行なう場合は、〔００２〕番を選択して編集を行ないます。

〔保存完了後の画面例〕

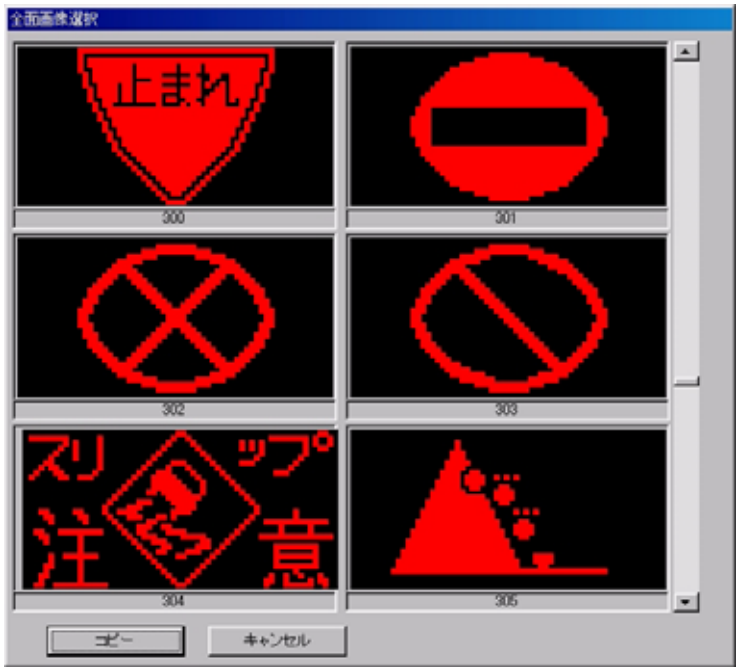


ビット表示で表示画面（文章）の作成

・操作１、２により全画面編集より登録文章番号を選択して文章作成を行います。
・作成方法は、マウスのボタンにカラーパレットより色を選択します。
・マウスを使い「ビットマップ編集画面」に、左右のボタンに登録した色で書き込みながら画像を作成します。
・「十字カーソル」の位置でマウス「**左ボタン**」をクリックすると左ボタン登録色が〔ビットマップ編集〕画面に表示されます、別の位置で「**右ボタン**」をクリックすると同じく登録色が表示されます。
・マウスのボタンをドラッグすると、「十字カーソル」の移動した跡が、軌跡として反転します。
・各選択色に表示されたイメージ画面の表示データーが、ＬＥＤ表示器のＬＥＤが発光する場所になります。



・表示文章（画面）が完成した場合、操作⑤にて登録をします。



上記画面は、ビット登録画面例です。

全面画像文章のコピーについて

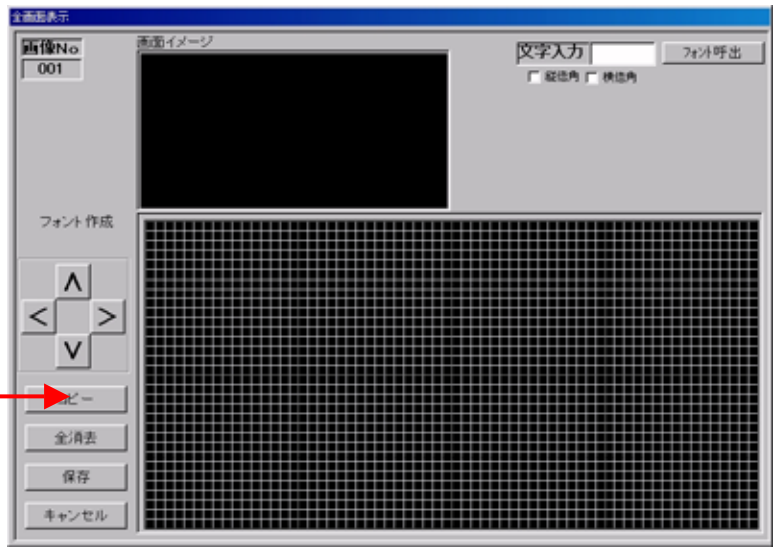
コピーとは、先に作成してある文章を使い、その文章の一部を修正し、新しい文章を作成することが出来ます。

コピー可能なデーターは、編集中の固定文章から選択します。

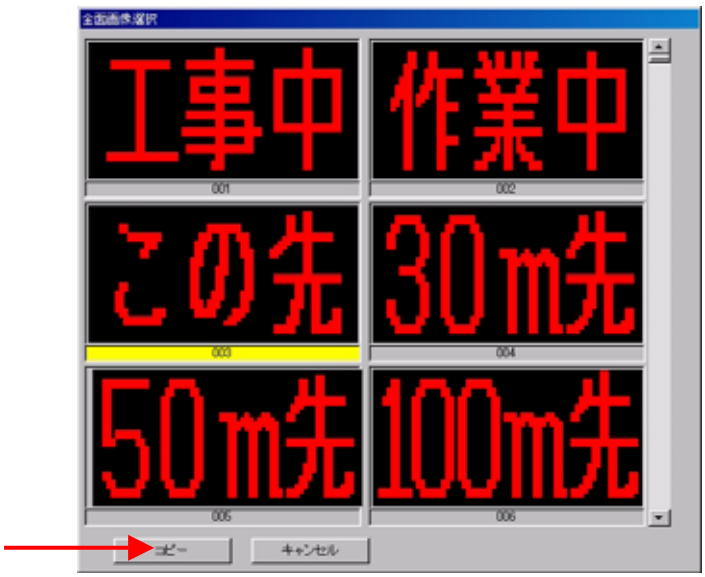
・操作１，２により全画面編集より登録文章番号を選択して文章作成を行います。

注意　編集する画面は、空白もしくは、全消去でデーターを消した画面で行って下さい。データーの表示された状態でコピーをすると上書きされダブリ表示になります。

「コピー」ボタン



「コピー」ボタンをクリックすると、下記の様な「全面画像選択」画面が表示されます。データー番号「００１」から表示されますので、コピーしたい文章は、右側のスクロールバーを下に下げて、希望の番号をクリックして黄色に反転させ「コピー」ボタンをクリックして選択します。



コピーされた画面は確定したデーター表示になりますので、編集はビットマップ画面でマウスにより編集を行います。

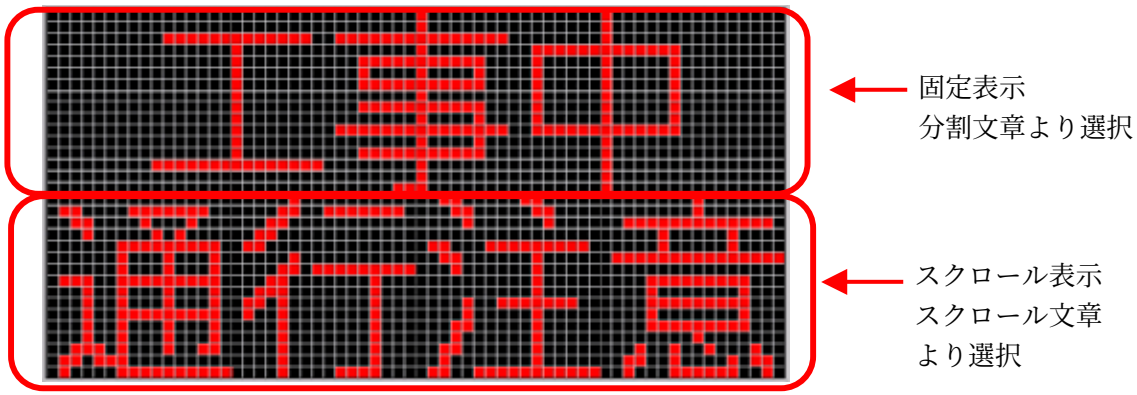
分割文章の編集

●分割文章とは

分割文章は、「分割画像編集」で作成した文章（画像）をＬＥＤ表示器の分割表示で使用します。

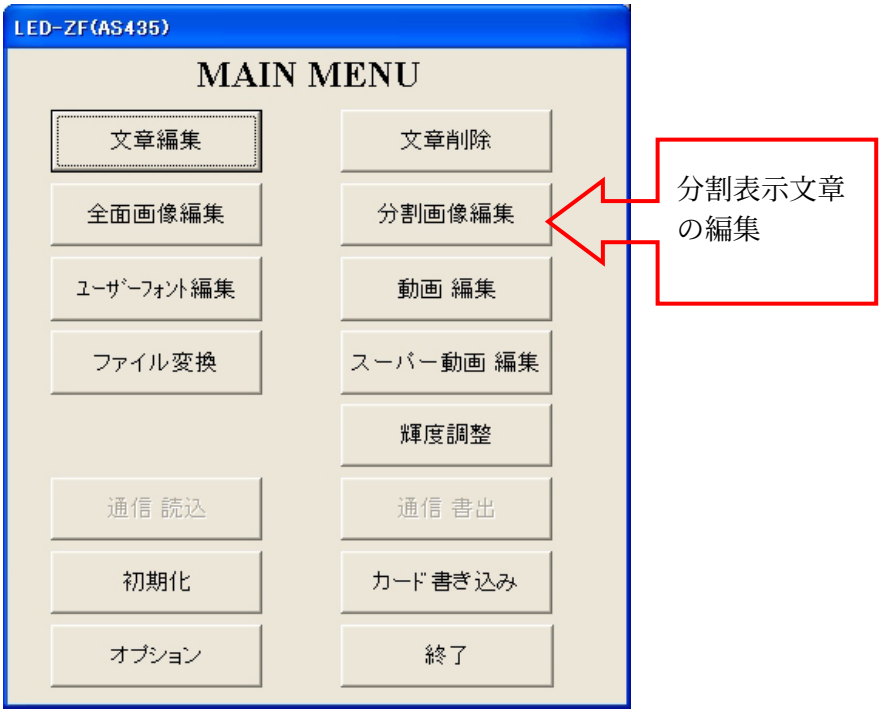
分割表示とは、「ＡＳ４３５」表示器では、上下各４パネルあり、上下どちらかの４パネルを固定文章で表示、残り４パネルをスクロール表示する場合に使います。
分割表示も固定表示と同じく「固定」、「点滅」、「反転点滅」の各表示が可能です。
・表示設定は、ＬＥＤ表示器転送後、リモコンで設定します。

【分割文章の表示　例】



分割画像編集の使い方

分割文章の作成・編集を行うには　[メインメニュー]より「分割画像編集」を選択します。



●　縦文章、横文章の「全面画像選択」画面と「文章編集」画面についての説明

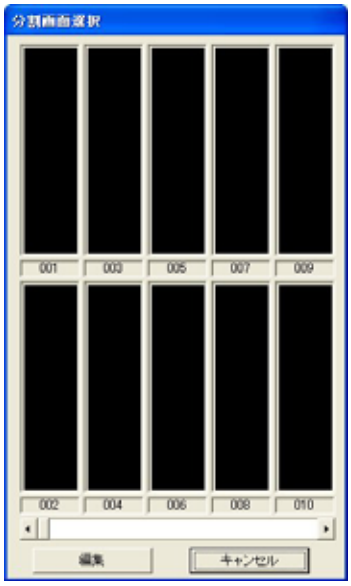
注　記

表示器の設定により「縦表示」と「横表示」があり、編集画面が異なりますが、
本章説明では、横を基本として説明します、操作上縦表示で異なる場合、
縦表示として説明します。

初期設定時のＬＥＤ表示器の方向選択により編集画面が、「縦表示選択＝縦方向表示」「横表示選択＝横方向表示」となります。

〔横表示　分割画像選択画面〕

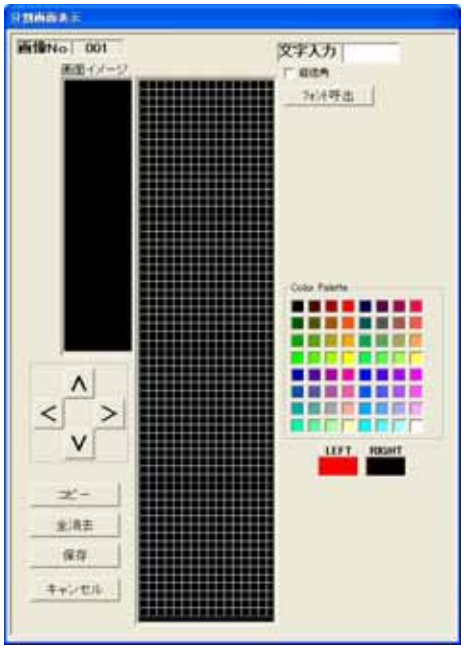
〔縦表示　分割画像選択画面〕



データーの未登録時は、各データーフォルダが黒画面となっていますが登録すると画面イメージが表示されます。

〔横表示　分割画像表示画面〕

〔縦表示　分割画像表示画面〕



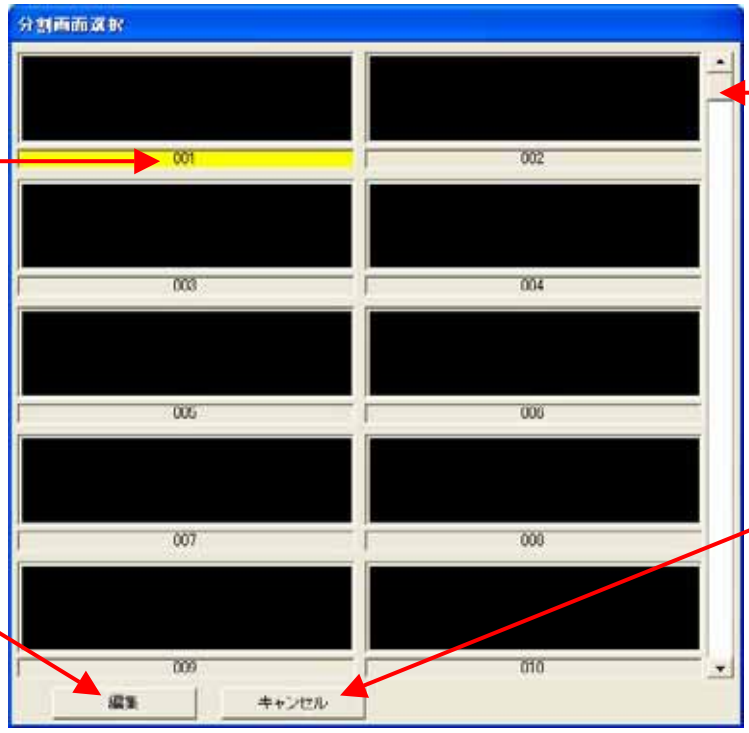
この画面は編集時の画面で、分割画像編集の初期画面になります。横表示では、全角フォントで４文字×１列の表示サイズで、縦表示では、同じく縦４文字×１行の編集が出来ます。

全角フォントでの編集

分割文章を編集には、固定文章と同じく２つの方法があります。
①編集プログラムに登録された文字フォント「全角フォント」を選択して作成
　全角フォントで１段（１列）表示可能、横倍角表示が可能です。
②表示画面にビット表示で文章、絵を作成して登録
　全角フォントを編集画面に表示させた後にビット表示画面で修正が出来ます。

・ビット表示画面でのマウスの使い方
ビット表示編集画面エリア内にマウスの「**矢印カーソル**」を合わせると「**十字カーソル**」に変ります。
この「十字カーソル」位置でマウス「**左ボタン**」をクリックすると赤く反転します。
同じ位置で「**右ボタン**」をクリックすると**黒色**に戻ります。
マウスのボタンをドラッグすると「十字カーソル」の移動した跡が軌跡として反転します。
赤く反転したドットが、ＬＥＤ表示器のＬＥＤが発光する場所になります。

1　〔メインメニュー〕画面の「全面画像編集」をクリックして下さい。
〔全面画像選択〕画面が表示されます。



番号の選択
マウスで
この番号を
クリックして
選択します。

スクロールバー
を下に下げると、
５００番までの画像
が表示されます。

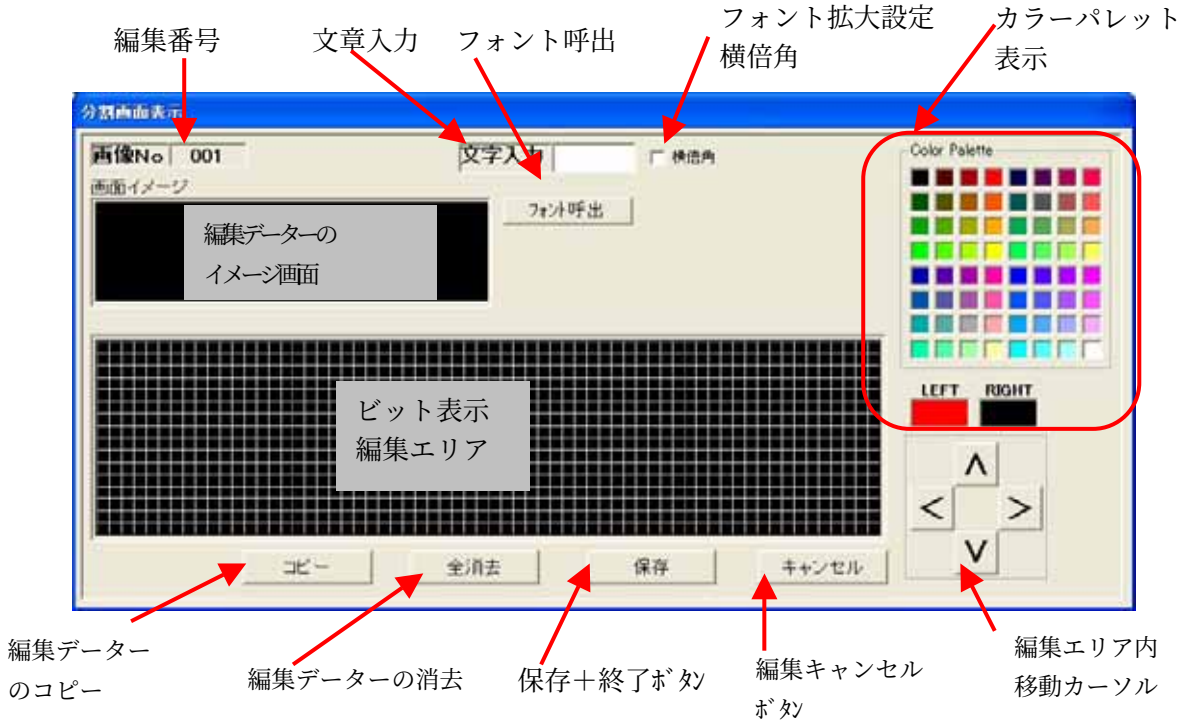
番号を選択後
クリックして
編集を始めます。

編集終了時に
クリックします

全面画像文章は、１～２５０まで　**２５０文章**の登録が出来ます。
選択画面には、１０面分しか表示されませんが、右側スクロールバーを下げる事で２５０番まで選択出来ます。

2　〔分割画像選択〕画面で、編集を行なうデーター番号（００１など）をクリックして番号欄を選択色の黄色に変えて、「編集」ボタンをクリックして下さい。
〔分割画表示〕画面が表示されます。
「画像Ｎｏ．００１」の編集画面が表示されます。

【　編集画面の説明　】



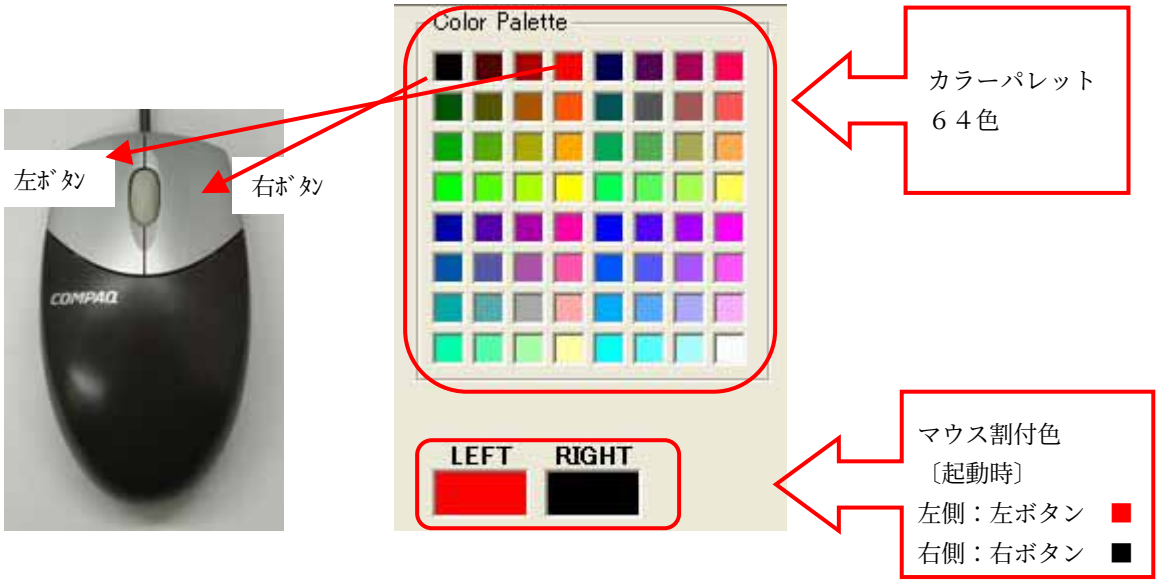
この編集画面の〔ビット表示編集エリア〕はＬＥＤ表示器で表示させる文章・画像を作成・編集を行ないます。イメージ画面が表示器の表示画面により近い画面表示になります。

3　選択フォントの表示色　及び、ビットマップ表示エリアでの編集色を選択
データー作成では、まず先に、マウスの左右ボタンに割り付ける色を決定します。

＊「左」ボタンで選択された色は、漢字フォントの選択時の文字色になります。

起動時は、左ボタン＝赤、右ボタン＝黒の設定となっています。
①マウスのカーソルを〔カラーパレット〕の選択する色の上に合わせます。

②マウスの左ボタンの色を設定する場合は、カラーパレットに合わせたまま
「左」ボタンをクリックします、〔マウス割付〕左ボタンの窓が選択色に変わります。
「右」ボタンも同じく〔マウス割付〕窓の色が編集時に使われる色になります。
一度に選択できる色は、左右ボタンで２色となります。他の色を選択する場合は、再度、選択を行ないます。

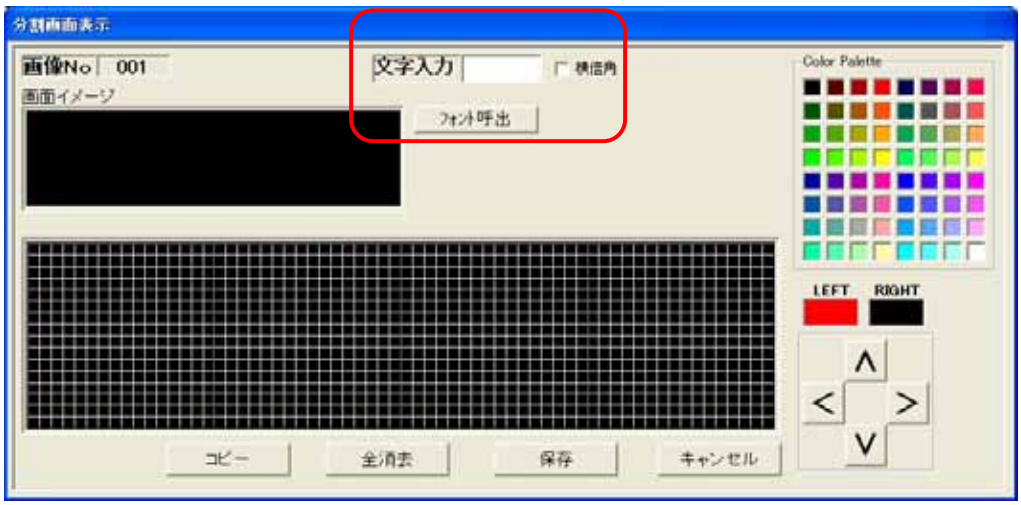


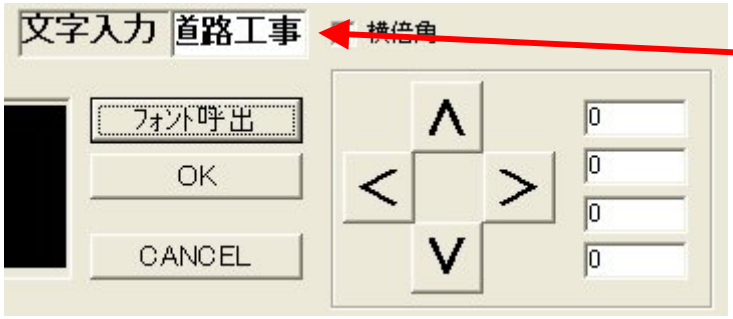
●ビット表示画面でのマウスの使い方

ビット表示編集画面エリア内にマウスの「**矢印カーソル**」を合わせると「**十字カーソル**」に変ります。
この「十字カーソル」の位置でマウス「**左ボタン**」をクリックすると赤く反転します。
同じ位置で「**右ボタン**」をクリックすると**黒色**に戻ります。
マウスのボタンをドラッグすると「十字カーソル」の移動した跡が軌跡として反転します。
赤く反転したドットが、ＬＥＤ表示器の赤色ＬＥＤが発光する場所になります。
マウスのボタンに選択した色を変えて、ビットマップ画面でクリックすれば選択色が表示されます。

4　編集画面中央の「文字入力」欄にマウスでカーソルを移しクリックします。
入力テキスト欄にカーソルがブリンクしていますので、【全角文字】で文章を入力します。

例：「道路工事」と入力し「ＥＮＴＥＲ」で確定し、次に「フォント呼出」ボタンをクリックします。
ビット表示編集エリアに　青色で「道路工事」と表示されます。





文字入力欄に入力後
「フォント呼出」
ボタンをクリックする。

[ビット編集エリア]に全角文字フォントが青色で表示されます。

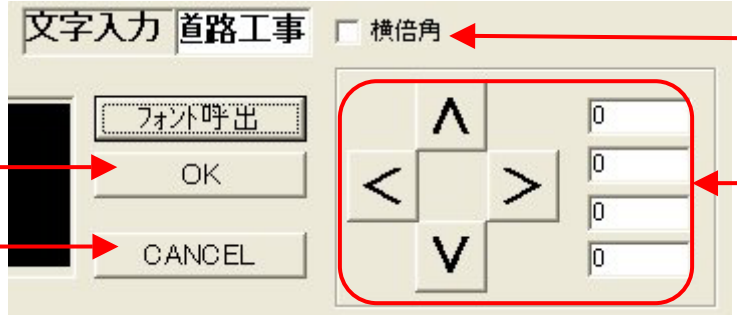
●[ビット編集エリア]表示画面の表示色について

青色：フォントが呼び出された状態で表示文章としてまだ確定していません。
文字フォントが上書きに成った場合、先に登録された文字色との合成色になります。

赤色：マウス左ボタンが赤選択時に確定したフォント色です。

5　全角フォント位置の微調整

操作３にて呼び出したフォントのサイズ、位置を決定して表示文章を確定します。
文字サイズ、表示位置を決めるには、編集画面右上部にあるツールボタンを使います。
【ツールボタンの説明】　表示データーが未確定（青色表示）時に有効表示されます。



横編集時：縦倍角
縦編集時：横倍角

確定時クリック

取消時クリック

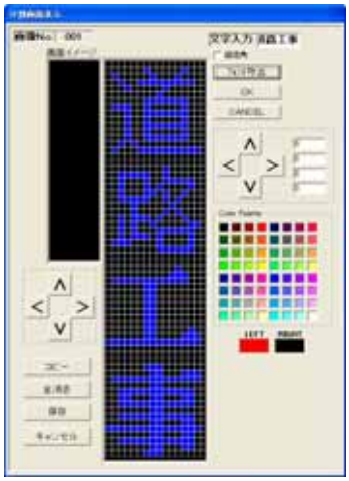
文章の表示位置を調整用カーソルボタン

【縦／横倍角表示の画面】＊縦横編集で異なる。

□縦倍角、□横倍角　の□に レ チェックを入れると次の表示になります。

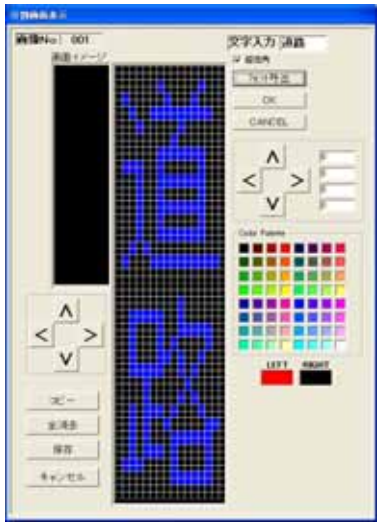
〔横編集－全角入力画面〕

〔縦編集－全角入力画面〕



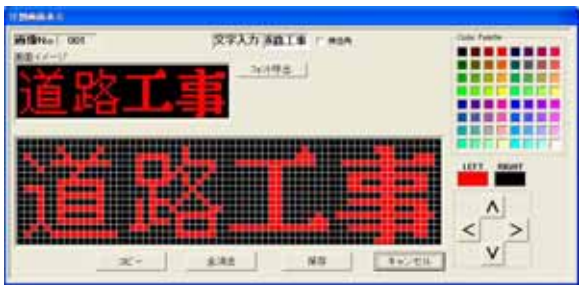
〔横編集－横倍角チェック時　画面〕

〔縦編集－縦倍角チェック時　画面〕

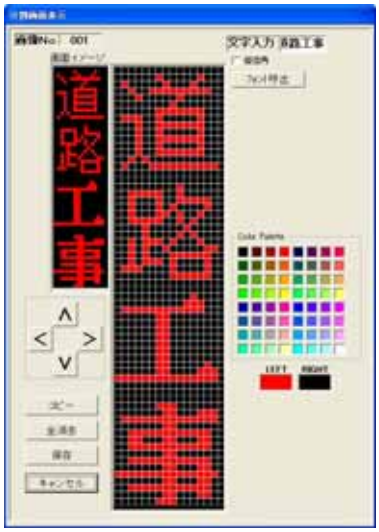


縦横倍角を設定すると、全角フォントが倍表示になりますので、４画面に２文字表示となります。
「工事中」の３文字を横倍角で表示すると「工事」の２文字しか表示出来なくなります。

〔横編集－確定画面〕

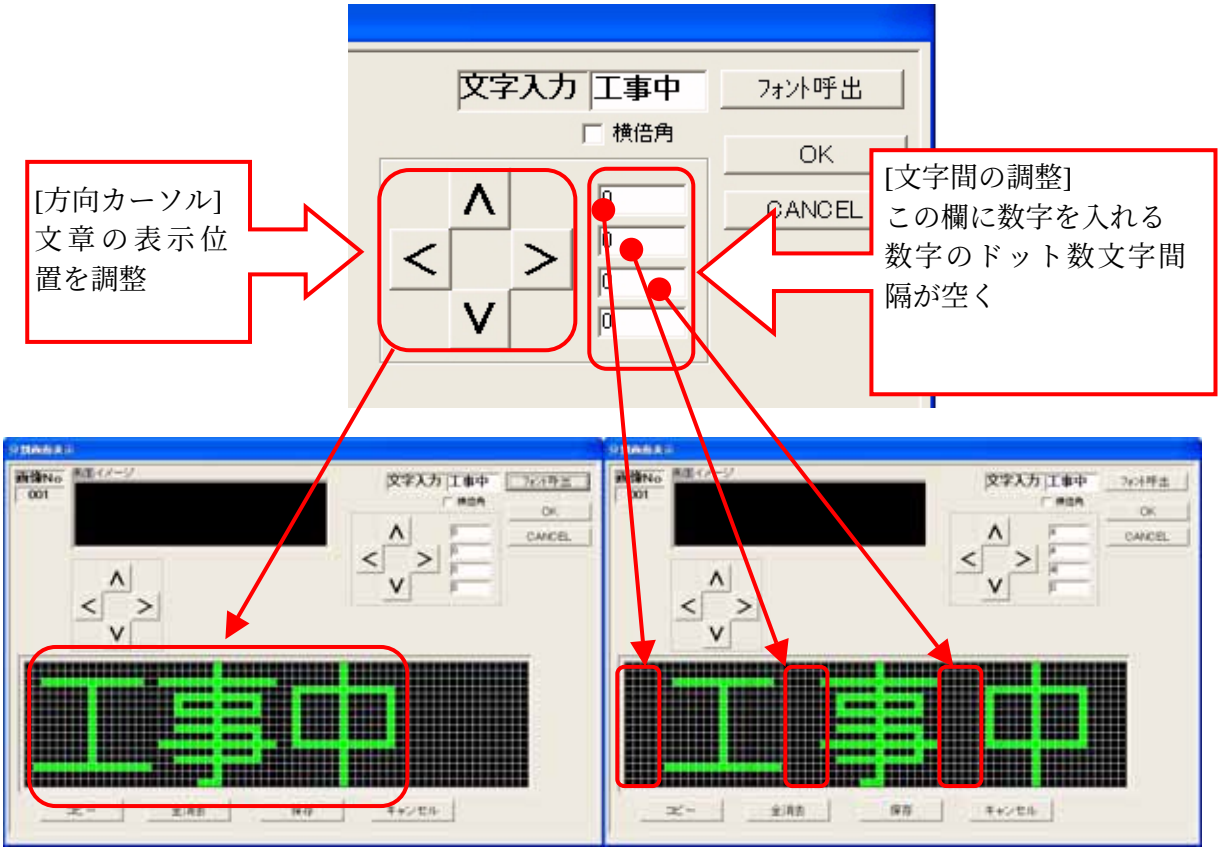


〔縦編集－確定画面〕



●表示位置の調整

【位置調整ツールボタン】　データーが未確定時に有効になり、「ＯＫ」をクリックし確定すると方向カーソル、文字間調整欄は消えます。

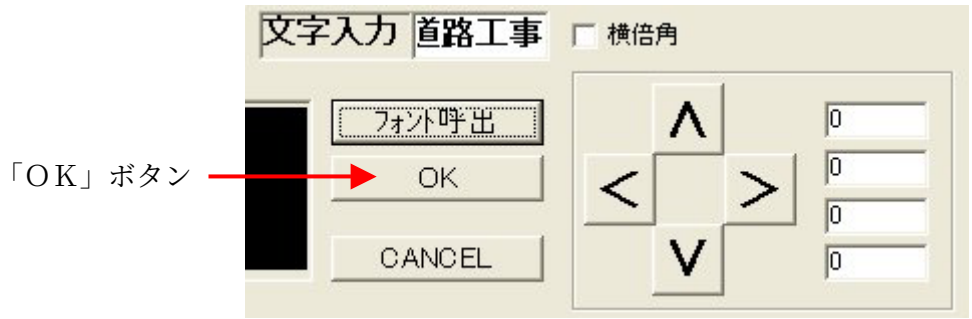


方向カーソルを１回押す度に文字データー（緑色の文章）全体が１ドット毎移動します。

上より　①開始位置－１文字間、②１－２文字間　③２－３文字間、④３－４文字間になります。入力可能数値は、「－」も可能ですが編集エリアより外れた場合は表示されません。

6　文章の確定をします。

上側の文章が確定した場合、「ＯＫ」ボタン（フォント呼出ボタンの下）にて確定します。「ＯＫ」ボタンをクリックすると、データーが赤色に変り「画面イメージ」エリアにＬＥＤ表示時の画面が表示されます。

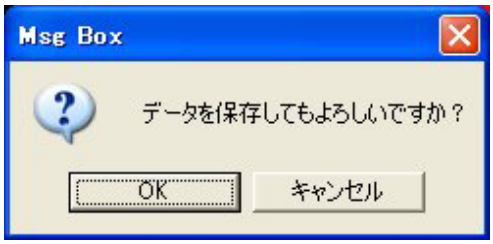


〔確定表示画面〕

表示文字色赤、全角フォントでの確定画面
「キャンセル」ボタンをクリックすると、ビットマップ画面の表示が消去されます。

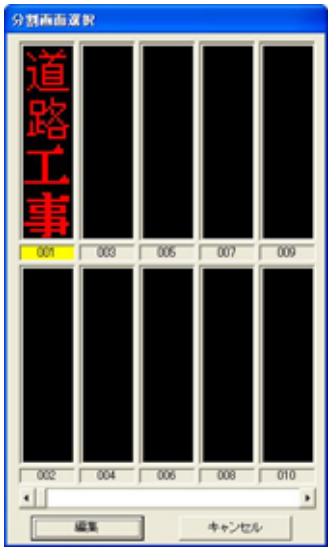
7　文章の保存

確定した文章を保存して終了します。
〔編集画面〕の右下側にある「保存」ボタンをクリックします。
保存問い合わせウィンドウが表示され、次に「ＯＫ」ボタンをクリックします。



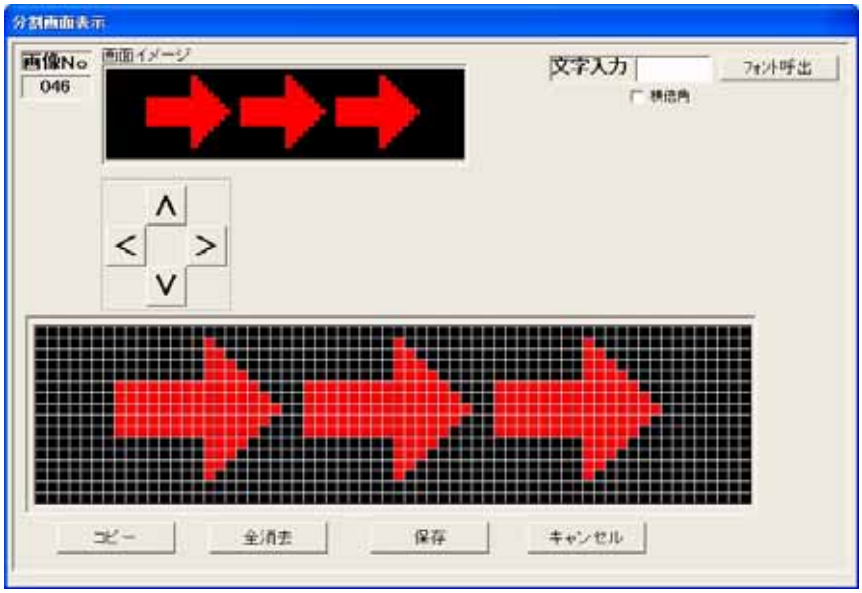
これで編集番号〔００１〕に文章データーが保存されました。
編集作業を終える場合は、〔全面画像選択〕画面の「キャンセル」ボタンをクリックして下さい〔メインメニュー〕画面に戻ります。
引き続き編集を行なう場合は、〔００２〕番を選択して編集を行ないます。

〔保存完了後の画面〕



●　ビット表示で表示画面（文章）の作成

・操作１、２により全画面編集より登録文章番号を選択して文章作成を行います。
・作成方法は、マウスにて「ビットマップ編集画面」に、表示ドットを赤色に
反転させ表示画像を書きます。
・「十字カーソル」の位置でマウス「**左ボタン**」をクリックすると赤く反転します。
同じ位置で「**右ボタン**」を押すと**黒色**に戻ります。
マウスのボタンをドラッグすると「十字カーソル」の移動した跡が軌跡として
反転します。
赤く反転したドットが、ＬＥＤ表示器のＬＥＤが発光する場所になります。



・表示文章（画面）が完成した場合、操作７にて登録をします。

●　分割画面画像文章のコピー

コピーとは、先に作成してある文章を使い、その文章の一部を修正し、新しい文章
を作成することが出来ます。

コピー可能なデーターは、編集中の分割文章から選択します。
・操作１，２により分割文章編集より登録文章番号を選択して文章作成を行います。
注意　編集する画面は、空白もしくは、全消去でデーターを消した画面で行って下さい。
データーの表示された状態でコピーをすると上書きされダブり表示になります。
・「コピー」ボタンをクリックすると、「分割画像選択」画面が表示されます。
データー番号「００１」から表示されますので、コピーしたい文章は、右側のスクロール
バーを下に下げて、希望の番号をクリックして黄色に反転させ「コピー」ボタンを
押して選択します。
コピーされた画面は確定したデーター表示になりますので、編集はビットマップ画面で
マウスにより編集を行います。

動画データーの編集

動画表示は２タイプ、**簡易表示用〔動画〕**と、**詳細表示用〔スーパー動画〕**があります。
表示器の使用用途により選択して編集を行って下さい。

●　動画表示の内容

〔動画〕編集で作成した動画は、社名ロゴ、簡易動画をＬＥＤ表示器で表示します。
＊精細画像表示をする場合は、〔スーパー動画〕を使用して下さい。

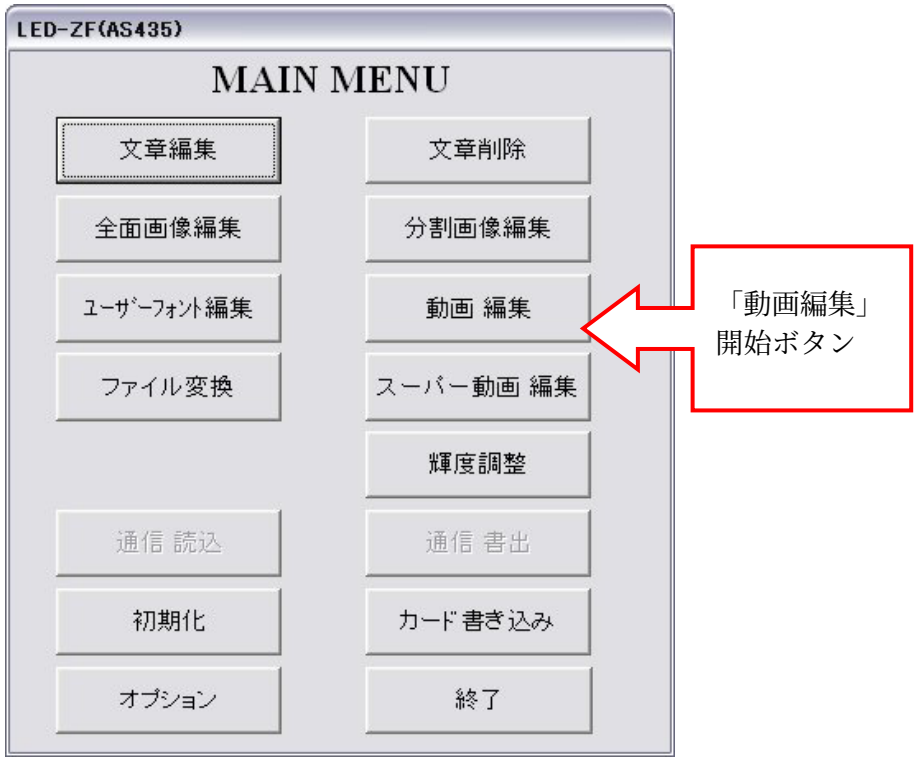
〔動画〕表示とは、ＬＥＤ表示の全パネル画面を１コマ画像として、ビット表示画面で編集し、最低１画面より最大７画面のコマ画像を連続して動画表示出来ます。

動画の条件　①１動画の枚数は、最大で７コマ画像あります。
②編集出来る動画数は、５０動画（リモコン設定番号　２１～７０番）
③表示色はＲＧＢ４階調で６４色より選択します。
④作成した複数枚の画像を順番に表示時間を０．１秒から３秒まで設定してＬＥＤ表示器に動画表示を行ないます。

注　意
表示器の設定により「縦表示」と「横表示」があり、編集画面が異なりますが、
本文説明では、縦を基本として説明します、操作上横表示で異なる場合、
横表示として説明します。

動画編集の使い方

動画の作成・編集をなうには　[メインメニュー]より「動画編集」を選択します。

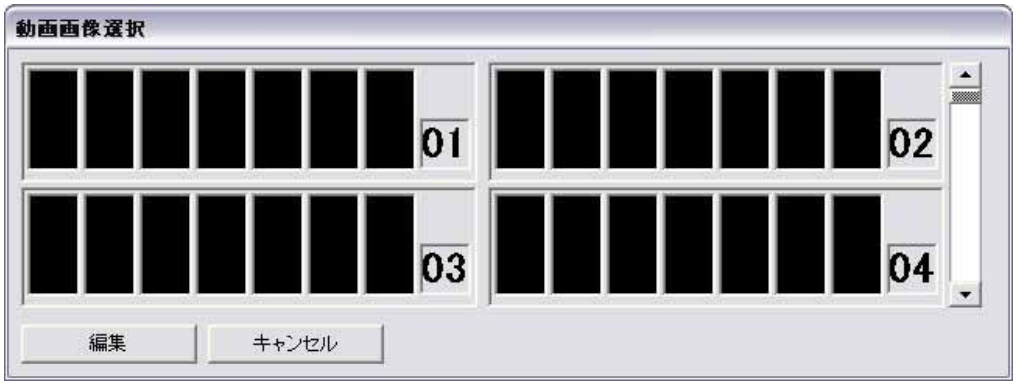


●　動画編集の使い方

動画編集は、**コマ画像の作成**と、各コマ画像に表示時間を設定して動画表示データーを作成します、**動画設定**を行なう必要があります。

【編集の手順】
① 動画編集を起動します。
② 最終コマ画像番号を設定します。
③ コマ画像番号を「００」（初期番号）にします。
コマ画像の作成
④ 編集：編集手段として次の方法を準備していますので複合で行ないます。
〔文字入力〕　〔コピー〕　〔ＢＭＰの読込み〕　〔手書き〕
⑤ ③に戻りコマ画像番号を次に進めて、コマ画像を完成します。
動画設定
⑥ 表示時間の設定：各コマ画像毎に、表示時間を設定します。
⑦ デモボタンにより表示確認をします。
⑧ 保存します。
⑨ 終了　動画画像選択画面で「キャンセル」を選択し終了します。

1 「動画編集」をクリックします・
「動画画像選択」画面が表示されます。



〔動画画像選択－縦表示　画面〕

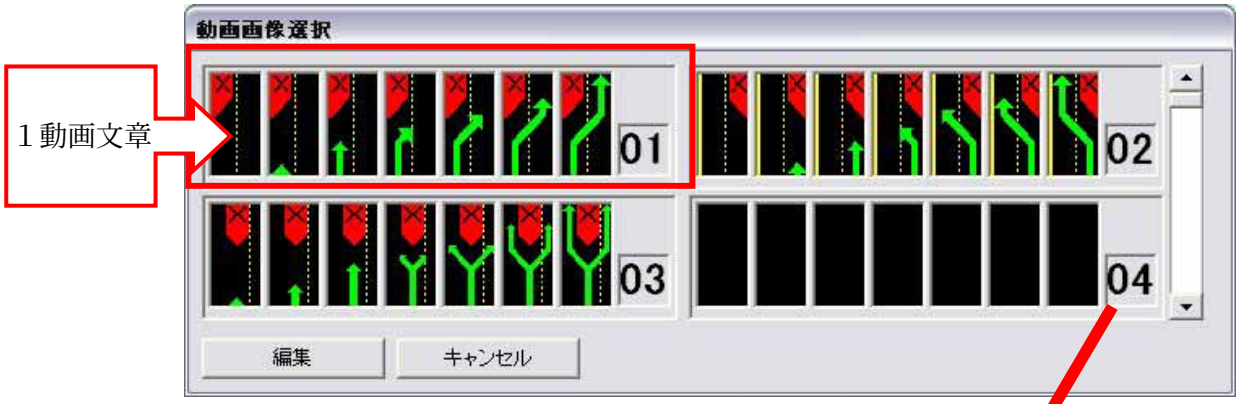
〔動画画像選択－横表示　画面〕

＊初期画面は、動画番号「０１～０４」まで表示されていますが、登録された動画データーは入っていませんので空欄の表が表示されます。

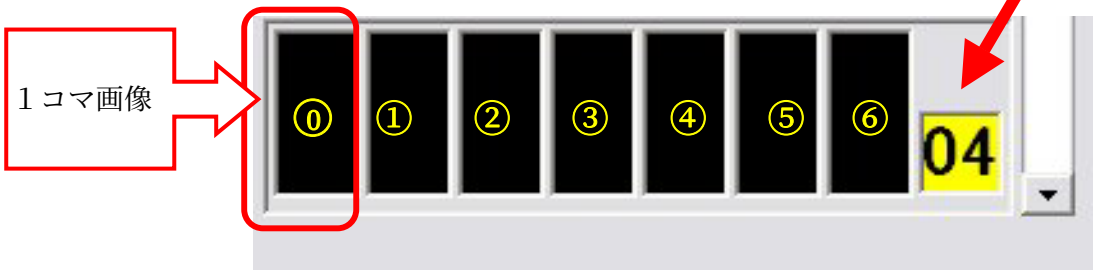
動画が登録されると、下記例の様な登録した No.の欄に登録データーが表示されます。

【　動画登録例　】

〔１動画〕は、最大７枚の〔コマ画像〕で構成しています。

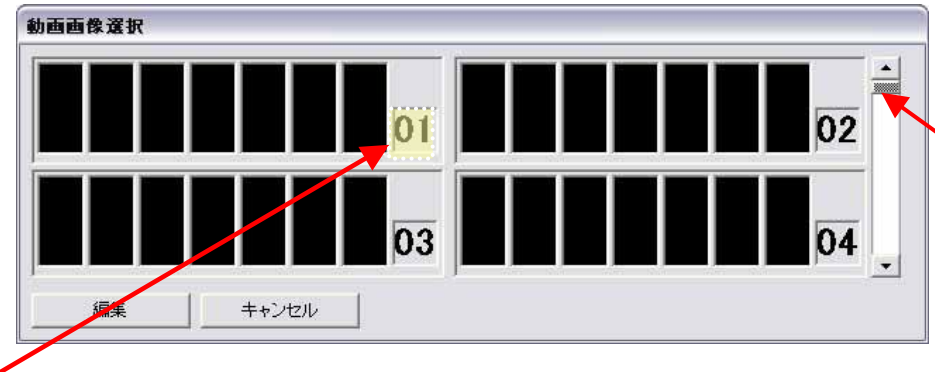


〔１動画〕は、コマ画像〔黄色番号０～６〕により作成し０番より表示します。

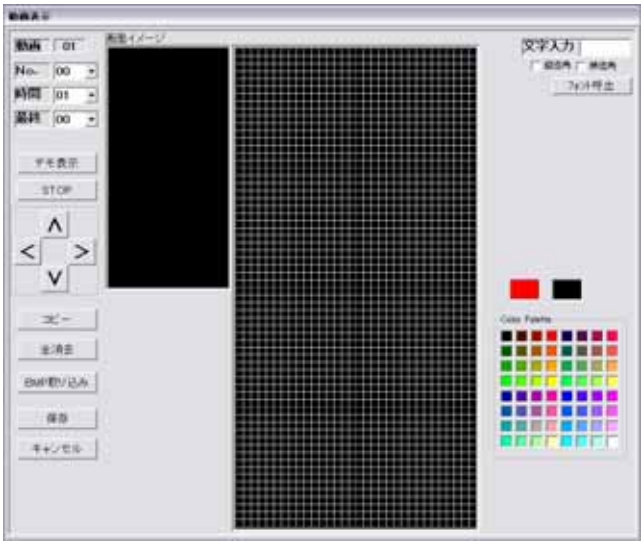


登録動画数は、５０の動画編集が出来ます。初期表示の１～４以外を選択する場合は、画面右横にある「スクロールバー」を下に下げ選択します。

・動画文章をＬＥＤ表示器に転送後、リモコン操作で連結を行えば、連続動画表示も可能ですが、<u>表示色が６４色に制限</u>されています。



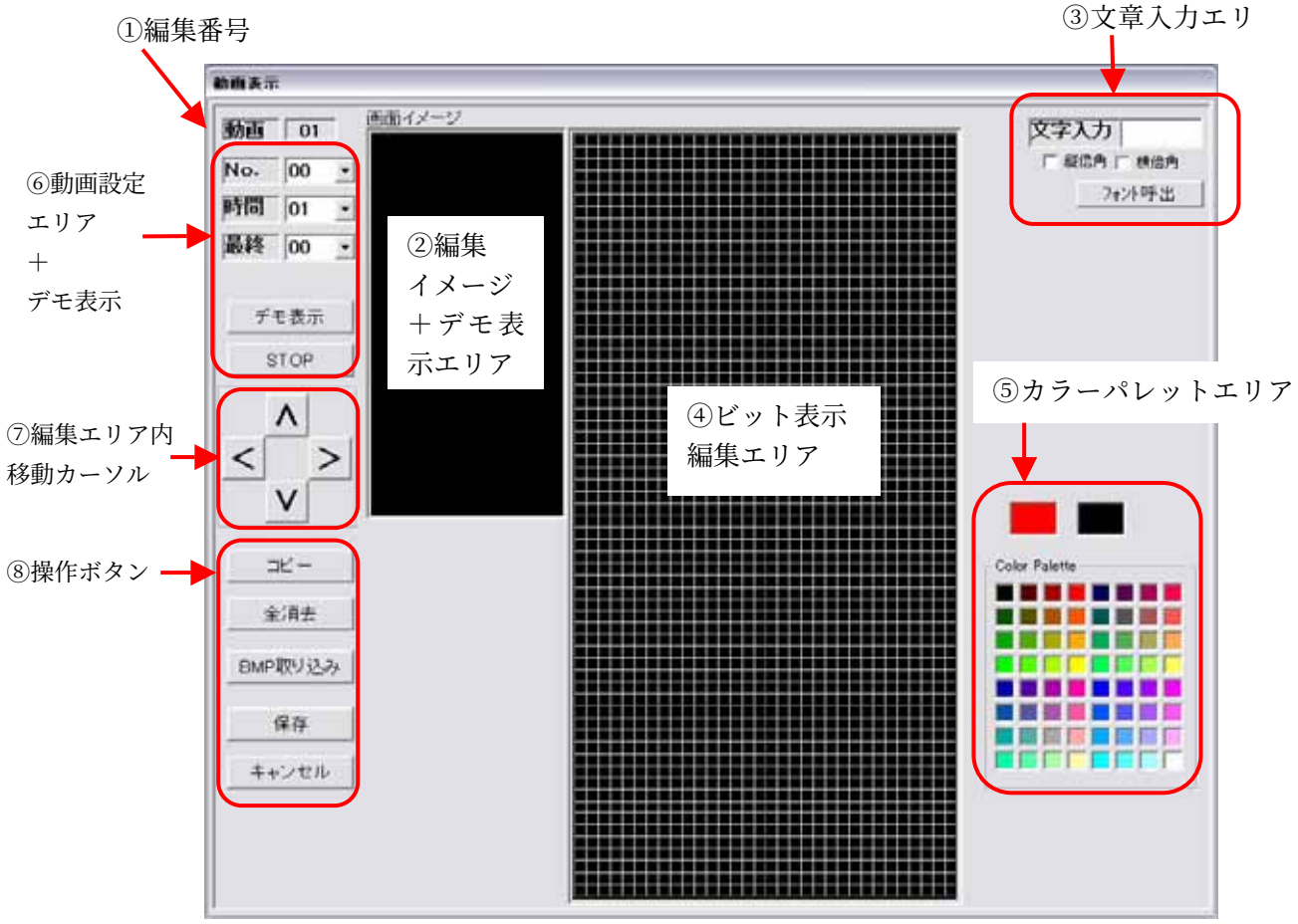
2　動画の０１番の動画編集・登録を行ないます。
マウスにて「０１」番の欄に合わせ、クリックし番号表示欄が**黄色に反転**した状態より画面左下「**選択**」をクリックします。「画像Ｎｏ．０１」の編集画面が表示されます。



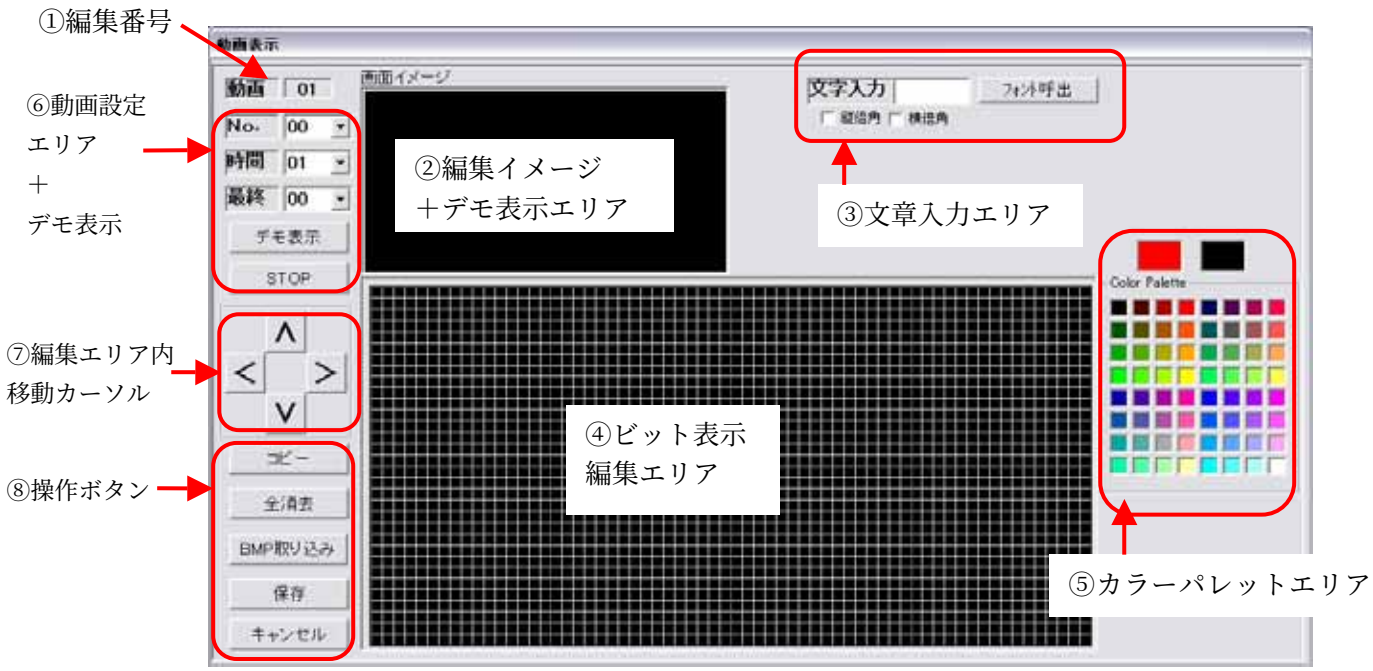
〔動画編集画面－縦表示〕

【　編集画面の説明　】
編集画面は、固定文章とほぼ同じ様な機能と、コマ画像の表示時間を設定し動画表示を設定する機能があります。
また、ＬＥＤ表示器での画像表示が確認出来るデモ表示画面があります。

〔動画編集画面－縦表示〕



〔動画編集画面－横表示〕



①編集番号

動画の編集番号は、ＬＥＤ表示器での選択番号は、編集番号が１の場合２１番になります。（編集番号＋２０になります。）

②編集イメージエリア

この画面では、〔ビット表示エリア〕で作成されている画像を表示器のイメージで表示します、また動画設定エリアで個別に設定した表示時間をデモ表示として確認出来ます。

③文字入力

固定文章作成時と同じで、〔ビット編集エリア〕に漢字フォントを表示する時に、文字入力部に文字を入力して表示させます。

④ビット表示編集エリア

この画面にて編集を行ないます。

⑤カラーパレット

このパレットに準備された６４色の中から編集する色を選び〔ビット編集エリア〕画像・文字の表示色を表現します。

⑥動画設定エリア

動画表示する場合に、各コマ画像の表示時間を設定し、連続表示させた場合に動画表示に見えるように調整を行ない、デモ表示により確認が行なえます。

⑦移動カーソル

移動カーソルは、〔ビット編集エリア〕で編集中の画像をカーソルキーの向きにより全体画面を１ﾄﾞｯﾄ毎移動できます。

⑧操作ボタン

上より〔コピー〕、〔全消去〕、〔ＢＭＰ取り込み〕、〔保存〕、〔キャンセル〕のボタンがあります。

●　コマ画像の作成

3　編集の開始

コマ画像の作成は、〔００〕より順番に最大〔０７〕までの作成をします。
最初のコマ画像編集は、〔００〕より行ない、次の画像編集時には、〔０１〕に繰上げて順次、編集を行ないます。

動画番号

コマ画像の選択
００画像が動画の開始画面になります。
編集のコマ画像を変更するには、「▼」をクリックしプルダウンメニューで番号が表示されますので次の希望の番号を選択して下さい。

最終のコマ画像の番号
プルダウンメニューより番号を設定します。
＊この設定番号以降の画像は表示されません。

4　ビットマップ表示エリアでの編集色を選択

画像の作成では、まず先に、マウスの左右ボタンに割り付ける色を決定します。
起動時は、左ボタン＝赤、右ボタン＝黒の設定となっています。
①マウスのカーソルを〔カラーパレット〕の選択する色の上に合わせます。
②マウスの左ボタンの色を設定する場合は、カラーパレットに合わせたまま「左」ボタンをクリックします。〔マウス割付〕左ボタンの窓が選択色に変わります。
「右」ボタンも同じく〔マウス割付〕窓の色が編集時に使われる色になります。
　一度に選択できる色は、左右ボタンで２色となります。
他の色を選択する場合は、再度、選択し直しを行ないます。

＊「左」ボタンで選択された色は、漢字フォントの選択時の文字色になります。

5　ビットマップ表示エリアでの編集

〔漢字フォント〕の入力　：固定表示文章の登録と同じ　詳細は４章を参照下さい。

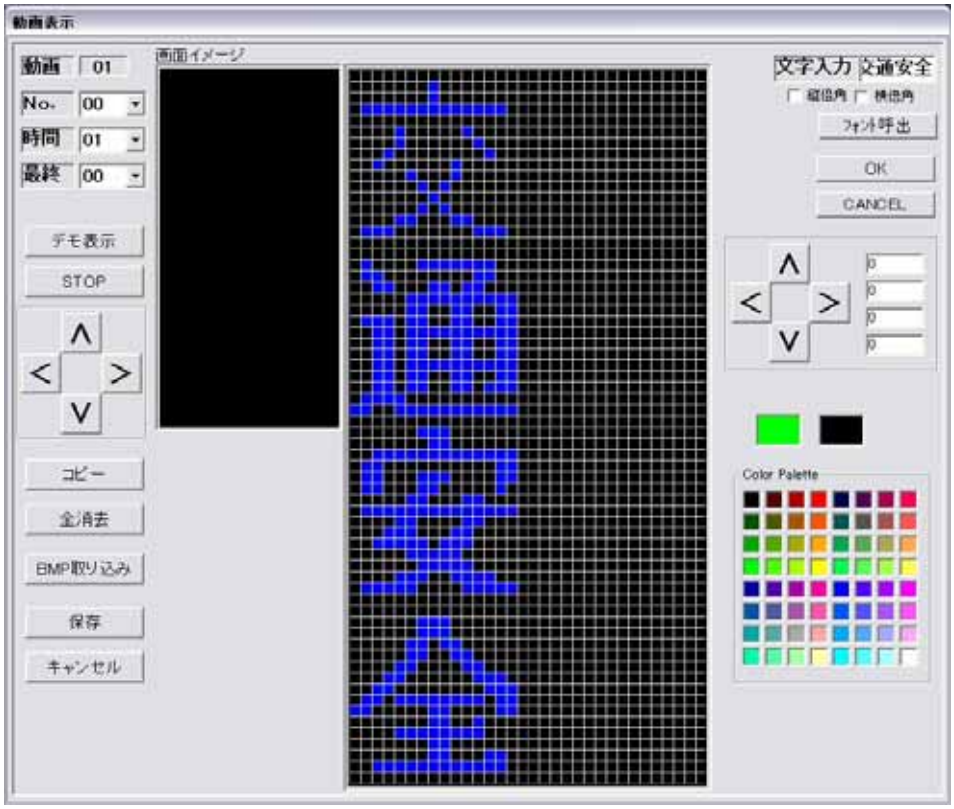
手順①〔文字入力〕欄に全角文字を入力して「フォント呼出」を押し、ビットマップ表示エリアに漢字フォントを表示させます。

②フォントサイズを「縦倍角」、「横倍角」にて選択し、右側の「カーソル」と「スペース」欄により表示位置を確定します。

③位置が確定したので「ＯＫ」ボタンをクリックします。

④確定時の文字色は、〔マウス割付色〕がこの場合は緑のため緑文字になります。

⑤ビットマップ表示エリアに確定した、フォントを修正するには、操作５のビットマップ編集を参照下さい。



6　コマ画像のコピーによる編集

〔画像のコピー〕入力　：先に作成した画像をコピーして編集作業の工数を減らし、画像のズレが少なく編集する場合に使います。

手順①「コピー」ボタンをクリックします。

②〔動画画像選択〕画面が表示されます。

③表示画面より〔コピー〕する画面をクリックします。クリックされた画像は少しだけ〔ポップアップ〕します。次に「コピー」ボタンをクリックします。

④編集画面に、選択画像が読み込まれ、編集を行なっている〔動画表示〕画面に表示されます。

⑤画像の編集は、操作８のビットマップ画面の編集を参照下さい。

画像ファイルの取り込み編集

7　〔ＢＭＰ〕画像ファイルの取り込みによる編集

画像編集ソフト、写真画像などを、読込み編集を行ないます。

＊読込み可能な画像フォーマットは、ビットマップ画像のみです。

・読込み画像サイズ（縦横比）に注意して下さい。ドット比率が合わないと画像は、変換されて読込まれます。

・画像サイズが大きいと読込みデーターが不明瞭になります、小さな画像の読込みに適しています。

・縦表示編集の場合：６４×３２ﾄﾞｯﾄ画面、横表示編集の場合：３２×６４ﾄﾞｯﾄ画面

手順①「ＢＭＰ取り込み」ボタンをクリックします。

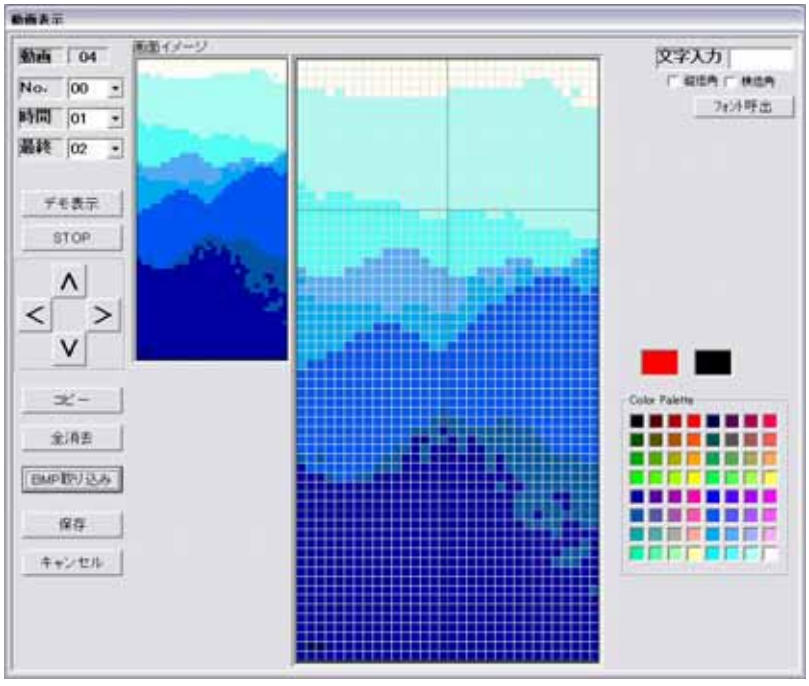
②取り込むフォルダーの選択画面が表示されます。

③フォルダを選択して BMP 画像を選択して「ＯＫ」をクリックします。

④編集画面に、選択画像が読込まれ、〔動画表示〕画面に表示されます。

⑤画像の編集は、操作８のビットマップ画面の編集を参照下さい。

〔読込みＢＭＰ画像　例〕



8　ビットマップ表示エリアでの編集

〔ビットマップ画面の編集〕直接入力

手順①マウスの左右ボタンをクリックしコマ画像の作成を行ないます。

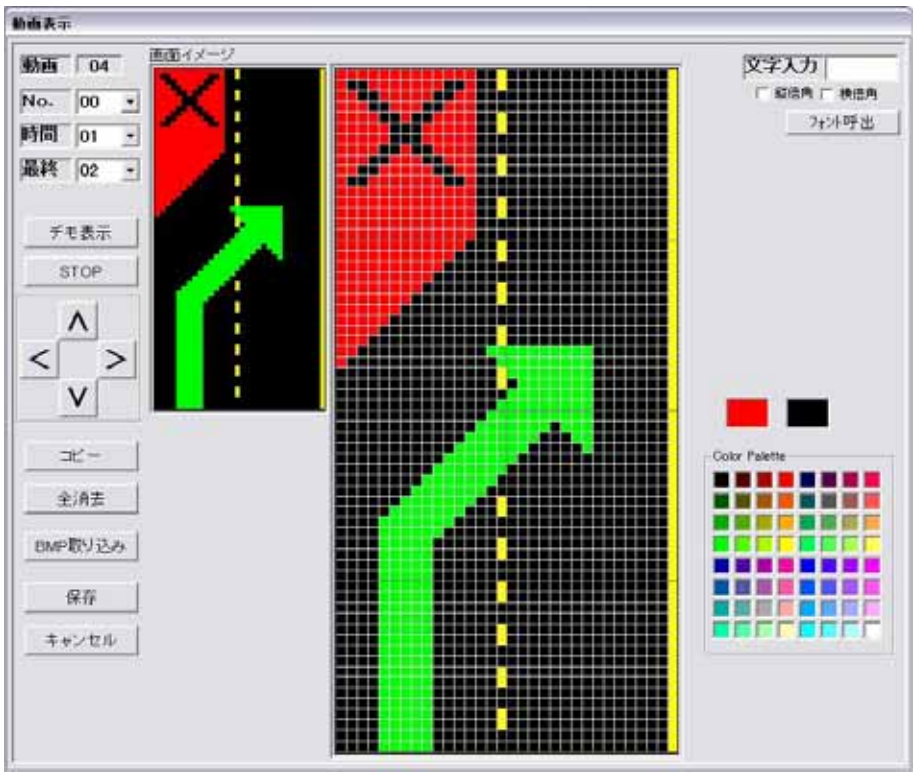
・ビット表示画面でのマウスの使い方

ビット表示編集エリア内にマウスのカーソルを合わせると「**十字カーソル**」に変ります。この「十字カーソル」位置でマウス「**左ボタン**」をクリックすると赤く反転（マウス左ボタンの色選択が赤の場合）します。同じ位置で「**右ボタン**」を押すと**黒色**（マウス左ボタンの色選択が黒の場合）に戻ります。

＊　注記　カラーパレットの選択により表示色は変更出来ます。

マウスのボタンをドラッグすると「十字カーソル」の移動した跡が軌跡として反転します。赤く反転したドットが、表示器で赤のＬＥＤが発光します。

〔編集画像　例〕



9　コマ画像の保存

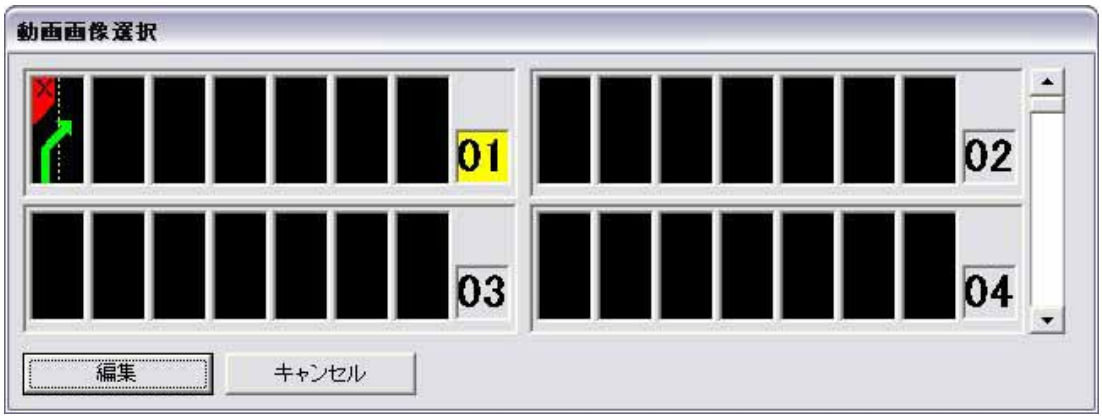
１枚のコマ画像が作成された場合、保存を行って下さい。

「動画表示」編集画面の左下にある「保存」ボタンをクリックします。

保存確認のウィンドウが表示されますので「ＯＫ」をクリックします。

保存されると、「動画画像選択」画面が表示され、登録されたコマ画像が左上に表示されます。

注意　作成するコマ画像を連続で作成してから保存する事も出来ますが、保存を行わない限り、先に作成した画像も保存されませんので「キャンセル」により作業を中止した場合、先のコマ画像も消去されてしまいます。



＊　**保存操作は、必ずコマ画像作成毎に行ってください。**

１０　コマ画像　２枚目以降の作成

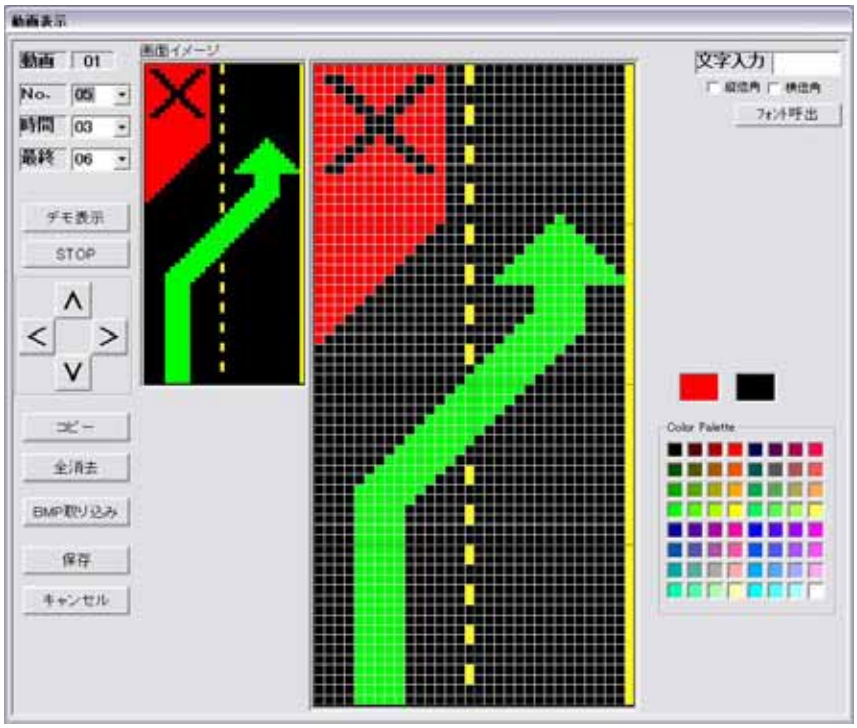
２枚目の編集は、〔動画編集〕画面の左上にある〔ＮＯ．００〕を「０１」に変更します。
コマ画像番号「００」横の「▼」をプルダウンメニューで番号「０１」を選択します。
注意　コマ画像の編集は、００より順番に編集下さい。
途中番号を空けると、動画設定時に空白画面になります。

コマ画像番号を次の番号に設定
「▼」をクリックしプルダウンメニュー
で番号を選択して下さい。

動画表示をするには、画像を少しづつ移動、変更して表示させる必要があります。
編集では、前のコマ画像をコピーして、画像を加工することで作業が楽に出来ます。
コマ画像の番号を設定後、画面左下の「コピー」をクリックします。
動画１の００コマにデーター表示された、「動画画像選択」画面が表示されます。
その登録コマ画像をクリックしてから「コピー」をクリックします。
すると、０１コマ画像の編集画面に００コマと同じ画像がコピーされ表示されます。

１１　コマ画像の修正

マウスの左右ボタンをクリックして、画像を修正し、２枚目のコマ画像を作成し、保存します。



操作３～１１の作業を繰り返して動画の必要なコマ画像を作成して下さい。

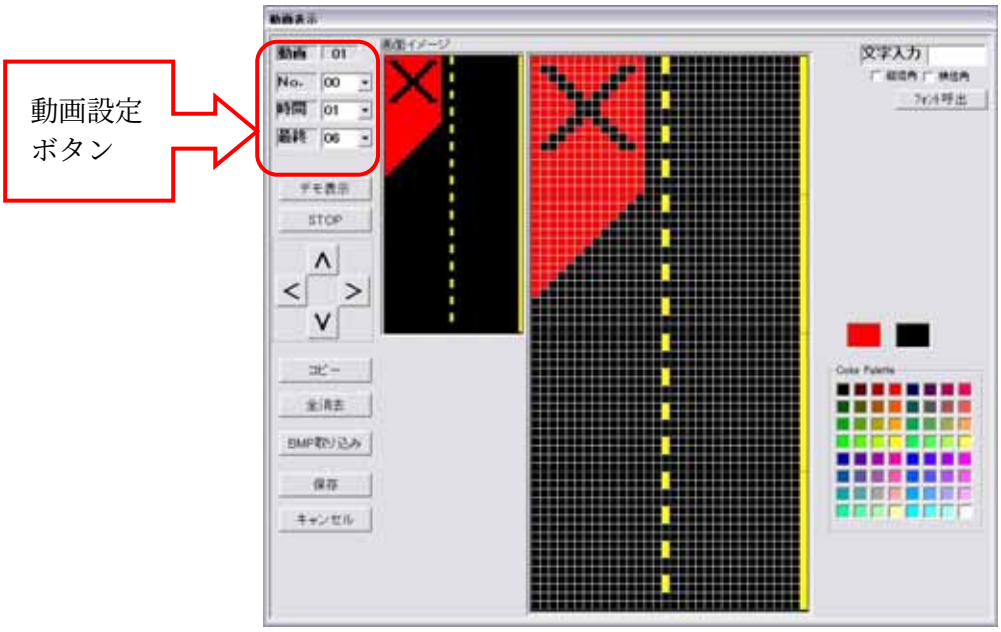
１２　動画の表示設定

上記の編集操作３－１１にて、作成したコマ画像の各コマの表示時間を設定し動画を完成させます。

操作２と同じく編集画面の「動画編集」を選択します。

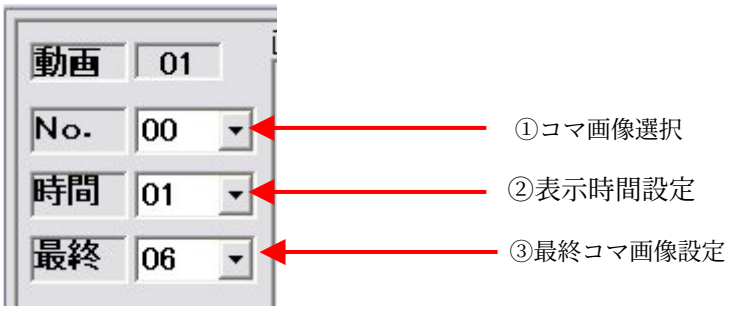
【　動画文章例　】

コマ画像「００」が表示された画面が表示されます。



１３　動画のコマ画像設定

動画表示のための設定は、編集画面の左上にある操作ボタンにより行ないます。



ボタンの説明：①②③ボタンの選択方法は「▼」をクリックして、プルダウンメニューを表示させた選択下さい。

①コマ画像選択　：作成した画像番号を選択します。

②表示時間設定　：各画像の表示時間を設定します。

③最終コマ画像設定　：表示する最終のコマ画像番号を入力します。

動画設定

動画文章を作成するには、作成したコマ画像毎に、表示時間を設定して画像が動いて見える様に、各画像を切り替え表示します。

１）コマ画像「００」を①ボタンにより選択、②ボタンにより「００」画像が表示する時間を選択します。
　選択時間は、プルダウンメニュー「０１～３０」より選択します。
　時間は　**０１＝約０．１秒、３０＝約３秒**になります。

２）①ボタンによりコマ画像を「０１」を選択し、表示時間を選択します。

３）各コマ画像の時間を、最終のコマまで設定します。

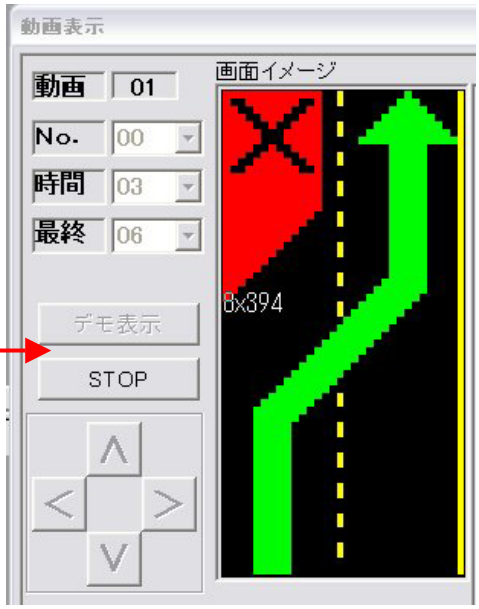
４）③ボタンにより最終の画像番号を設定します。
　（動画例では００から０６までの７コマ）

５）時間設定の完了

１４　動画のデモ表示

デモ表示を確認するには、「デモ表示」をクリックします。

デモ表示
ボタン

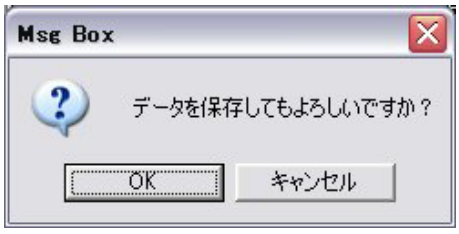


上記デモ表示「動画表示」画面の「デモ表示」ボタンをクリックすると　操作１０にて登録した表示時間で動画表示されます。
デモの中止は、「ＳＴＯＰ」ボタンをクリックします。
デモ画面にて確認し、表示時間の調整を行って下さい。

注意　動画の途中に画像を追加することは、出来ません、追加の必要がある場合は
画像をコピーして追加するコマ画像のスペースを空けて下さい。
再度、表示時間の調整を行なう必要があります。

１５　文章の保存

デモ表示画面を終了した後、「動画表示」の左下にある「保存」ボタンをクリックすると、保存問い合わせウィンドウが表示され、次に「ＯＫ」ボタンをクリックで、確定しデーターを保存します。



これで１動画文章の編集作業が終了となります。

保存完了後の画面例

スーパー動画データーの編集

詳細動画〔スーパー動画〕は、コマ画像数３０枚で４０９６色の表示が可能です。
他に、**簡易動画〔動画〕**があり、簡易動画編集は６章動画編集を参照下さい。

●　スーパー動画の内容

〔スーパー動画〕は、デジタルカメラで取り込んだ連続写真の表示、詳細なアニメ表示を動画データーとしてＬＥＤ表示器で表示。
〔スーパー動画〕表示とは、ＬＥＤ表示の全パネル画面を１コマ画像として、ビット表示画面で編集し、最低１画面より最大３０画面のコマ画像を連続して動画表示可能。
条件　①１動画の枚数は、最大で３０コマ画像です。
②編集出来る動画数は、２０動画（リモコン設定番号　０１～２０番）です。
③表示色はＲＧＢ１６階調で４０９６色より選択できます。
④作成した複数枚の画像を画像毎に表示時間を 0.1 秒から 10.0 秒まで設定して順番にＬＥＤ表示器に表示し、動画表示を行ないます。

注　意
表示器の設定により「縦表示」と「横表示」があり、編集画面が異なりますが、
本文説明では、縦を基本として説明します。操作上縦表示で異なる場合、
横表示編集として説明します。
縦横表示の選択は、メニュー画面の「オプション」で選択

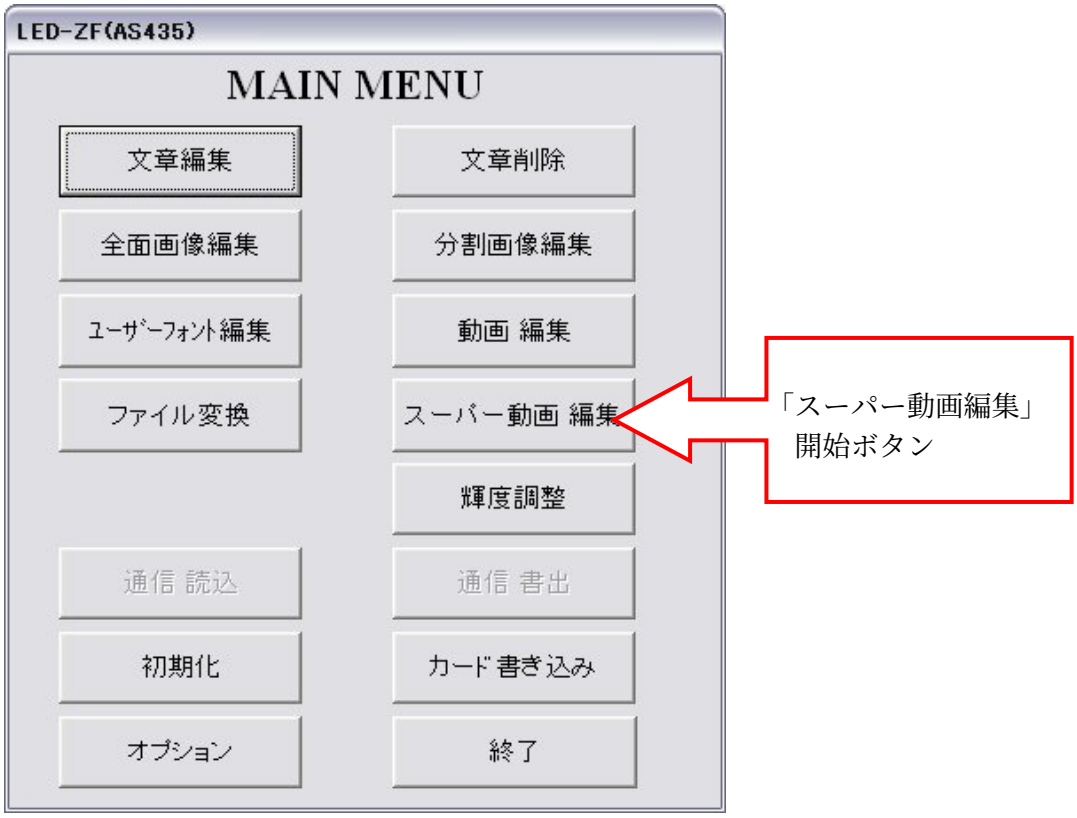
スーパー動画編集の使い方

編集の基本は、連続画像編集ソフト【ＬＥＤ－ＭａｋｅｒＭｕｌｔｉ】で作成した連続画像データーを【ＬＥＤ－ＺＦ】編集ソフトの〔スーパー動画編集〕で取り込み、コマ画像毎に編集を行ないます。
各コマ画像に表示時間を設定し、**動画設定**を行なう必要があります。

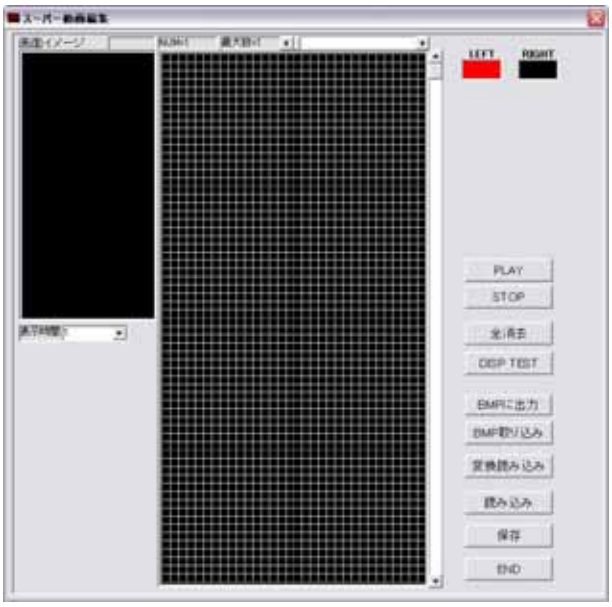
【編集の手順】
データーの準備
①デジカメ等で動画の元データーを準備します。編集を起動します。
②コマ画像を【LED-MakerMulti】にて作成します。
編集
③【LED-ZF】の〔スーパー動画編集〕を起動します。
④「変換読込み」で画像データーを読込みます。
⑤編集コマ画像番号「００」（初期番号）よりビットマップ画面にて修正します。
他のデーター作成方法
⑥編集：編集手段として次の方法を準備していますので複合で行ないます
〔ＢＭＰの読込み〕　〔手書き〕
⑦　⑤に戻りコマ画像番号を次に進めて、コマ画像を完成します。
動画設定
⑥　表示時間の設定：コマ画像毎に、表示時間を設定します。
⑦　デモボタンにより表示確認します。
⑧　保存後、終了　動画画像選択画面で「キャンセル」を選択し終了します。

●　動画編集の選択

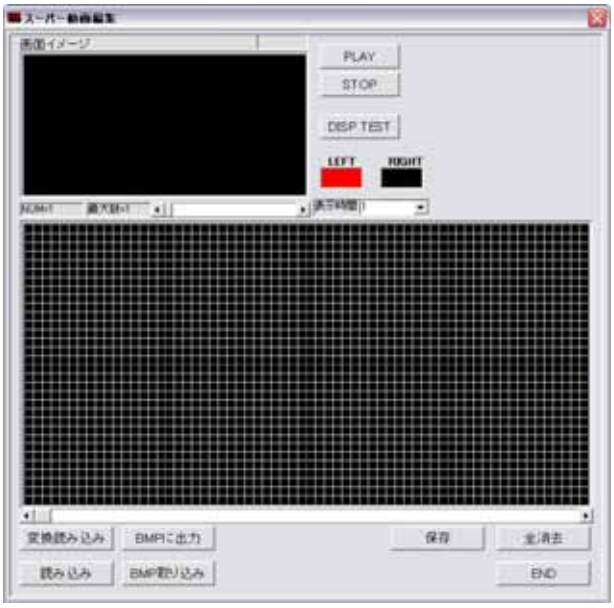
動画の作成・編集を行なうには　[メインメニュー]より「スーパー動画編集」を選択します。



選択後、「スーパー動画編集」画面が、画像選択画面の表示なしに直接表示されます。



〔スーパー動画編集－縦　画面〕



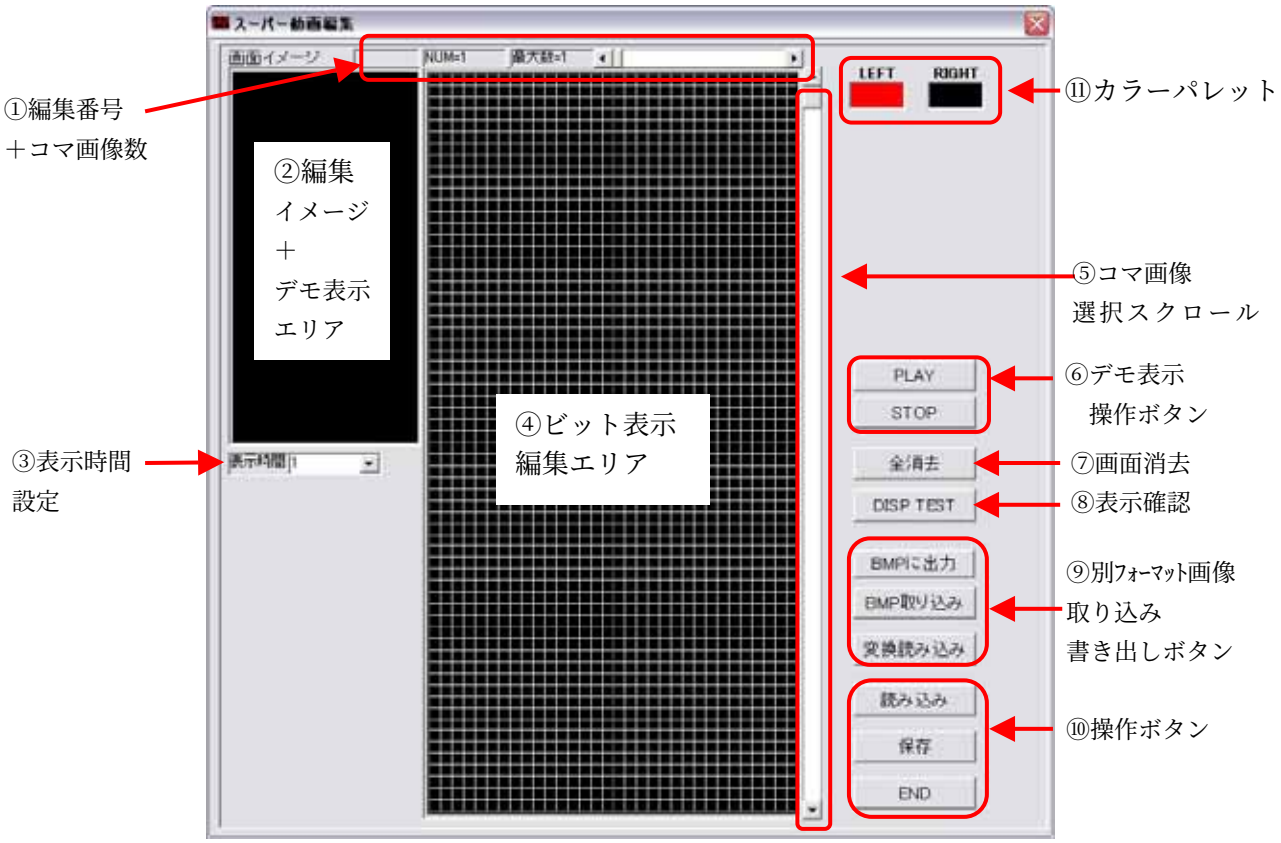
〔スーパー動画編集－横表示　画面〕

カラーパレットは、別ウィンドウが開きますので、編集するパソコンの画面は出来るだけ高解像度の物で編集をして下さい。パレット説明は次項にあります。

【スーパー動画編集画面の説明　】

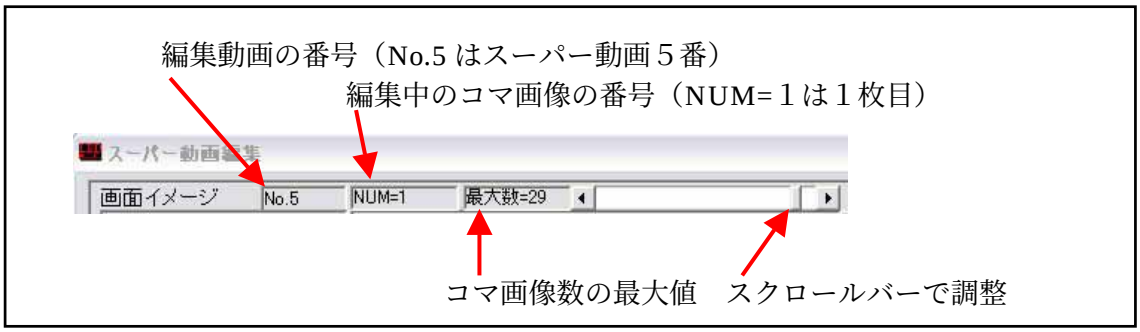
基本編集は、前項の〔動画編集〕とほぼ同じ機能です。

〔スーパー動画編集画面－縦表示〕



①編集番号＋コマ画像数

左側より〔編集中のスーパー動画番号の表示〕、〔コマ画像の編集中の画像番号〕〔この動画の最終画像番号＝最大数〕、〔コマ画像設定用スクロールバー〕が表示されています。



＊変換読込みでデーターを取り込む場合は、コマ画像の設定は不要です。

②編集イメージエリア

この画面では、〔ビット表示エリア〕で作成されている画像を表示器のイメージで表示します、また③の表示時間設定エリアで個別に設定した表示時間をデモ表示として確認します。

③表示時間設定

動画表示する場合に、各コマ画像の表示時間を設定し、連続表示させた場合に動画表示に見えるように調整を行ない、デモ表示により確認が行なえます。

この「▼」をクリックすると、
プルダウンメニューが表示されます。
数字の１は０．１秒になり
１００は１０．０秒になります。

④ビット表示編集エリア

この画面（縦の場合　３２×６４ドット）に画像データーを表示して編集を行ないます。

⑤コマ画像選択スクロールバー

編集エリアに表示するコマ画像の選択に使用します。
スクロールバーの上よりコマ画像１になり、バーを下げる事で、コマ画像が１枚ずつ変わり、一番下がコマ画像の最大設定番号の画像になります。

⑥デモ操作ボタン

「ＰＬＡＹ」ボタンで②のイメージ表示エリアに登録されたコマ画像のデモ画動画が表示、「ＳＴＯＰ」ボタンをクリックすると停止になります。

⑦全消去ボタン

現在編集中のコマ画像の画面を消去します。
他のコマ画像は消去されません。

⑧表示確認

通信ケーブルにてＬＥＤ表示器と接続され、通信が確立されている場合有効です。
〔メインメニュー〕の「通信読出」・「通信書出」ボタンがアクティブ表示になっている場合有効となります。
「ＤＩＳＰ　ＴＥＳＴ」ボタンをクリックすると、ＬＥＤ表示器の画面に編集中のコマ画像が表示されます。

⑨別フォーマット画像の取り込み・書出しボタン

上より「ＢＭＰに出力」、「ＢＭＰ取り込み」、「変換読込み」のボタンがあります。
ＢＭＰに出力：コマ画像が全て００番より連番で、ＢＭＰファイルで出力されます。
ＢＭＰ取り込み：ＢＭＰファイルを読み込む場合に使用します。
編集ソフト〔ＬＥＤＭａｋｅｒＭｕｌｔｉ〕で編集したデーターの読込みに使用

⑩操作ボタン

上より〔読込み〕、〔保存〕、〔ＥＮＤ〕のボタンがあります。
読み込み：編集中の動画呼び出しに使用　１～２０番の番号を入力します。
保存　　：編集中のデーター保存時に、１～２０番の番号で指定します。
　　指定番号に上書きされますので番号の入力に注意下さい。
ＥＮＤ　：編集の終了時にクリックします。

⑪カラーパレット

別ウインドウに準備された、カラーパレット４０９６色の中から編集色を選択〔ビット編集エリア〕で画像の表示色を決定します。

画像の作成では、まず先に、マウスの左右ボタンに割り付ける色を決定します。

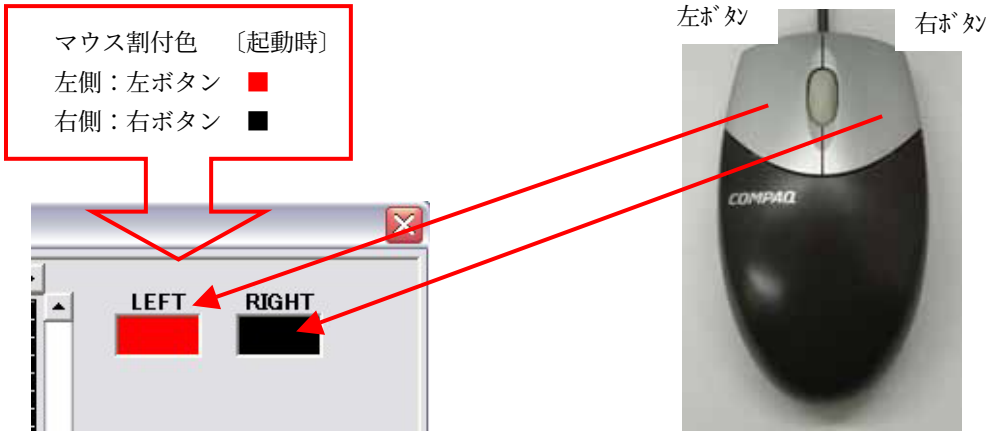
起動時は、**左ボタン＝赤、右ボタン＝黒**の設定となっています。

・マウスのカーソルを〔カラーパレット〕の選択する色の上に合わせます。

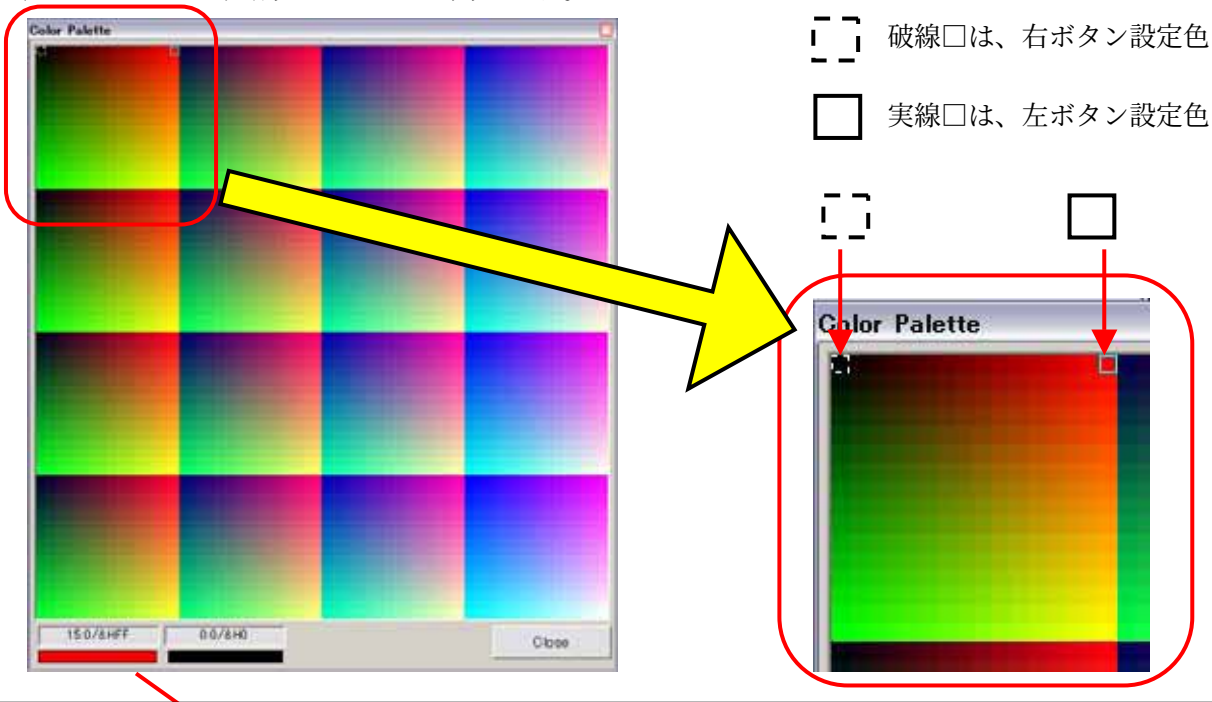
・マウスの左ボタンの色を設定する場合は、カラーパレットに合わせたまま「左」ボタンをクリックします、〔マウス割付色〕左ボタンの窓が選択色に変わります。

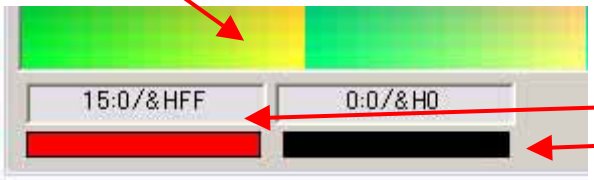
「右」ボタンも同じく〔マウス割付色〕窓の色が編集時に使われる色になります。

一度に選択できる色は、左右ボタンで２色となります、他の色を選択する場合は、再度、選択し直しを行ないます。



〔カラーパレット〕別ウインドウで開きます。





カラーパレットの確認用のデーター表示

パレット位置表示：ｶﾗｰ番号

右ボタン割付色の確認ｴﾘｱ：　15:0　/&HFF

左ボタン割付色の確認ｴﾘｱ：　0:0　/&H0

●　スーパー動画の画総データーファイルの作成

スーパー動画編集を行なうには、連続動画データーの作成が必要です。
下記ソフトで作成して下さい。

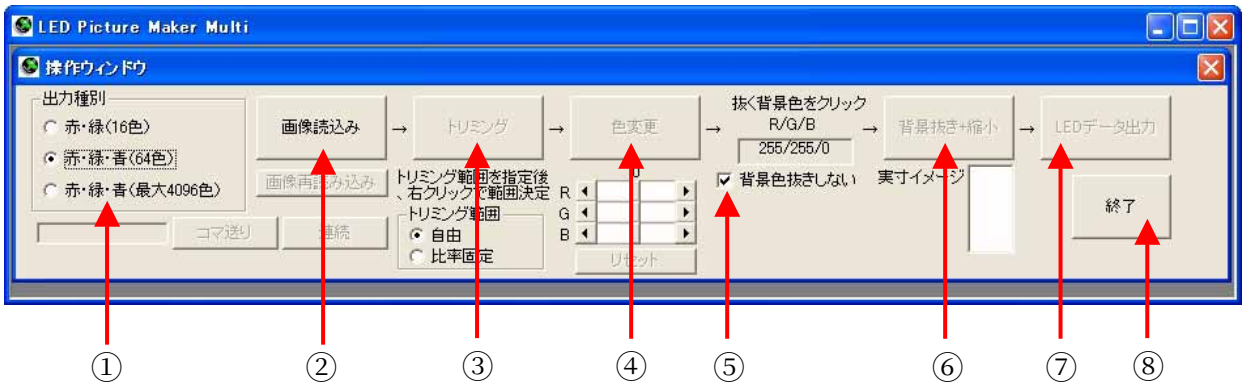
●　ＬＥＤ　Ｐｉｃｔｕｒｅ　Ｍａｋｅｒ　Ｍｕｌｔｉ　の説明

ＬＥＤＰｉｃｔｕｒｅＭａｋｅｒＭｕｌｔｉは、本プログラムとは別に準備されたプログラムで、スーパー動画で表示する画像の元データーを作成する為に使用します。
この章では、簡単な説明を行ないます。
詳しい使い方は、別紙〔LEDMakerMulti の説明書〕を確認して下さい。

●　機能

・デジタルカメラで撮影した連続写真を表示器に表示するデーターに合わせ加工
Ａ．画像のトリミング（サイズ合わせ）　Ｂ．画像色の調整　Ｃ．背景色のカット
Ｄ．編集ソフト（LED-ZF）用に加工したデーターファイルの作成　を行ないます。
・編集可能な、データータイプは、〔ＪＰＧ〕と〔ＢＭＰ〕の２種類です。

〔LEDMakerMulti の起動画面〕



①データー出力色を選択：　＊＊【LED-ZF は最大 4096 色を選択】＊＊

②画像読込み
読込みデーターの条件：ファイル名は、共通のアルファベット３～６文字が付いた数字連番００～N枚（最大３０枚）で、画像形式　＊.ＪＰＧ、＊.BMP
である必要があります。　〔例　SEQ000.JPG～SEQ038.JPG　など〕
＊読込みで「ファイルが見つかりません」と表示された場合は、連番が全部揃っているか？　拡張子が正しいか　確認して下さい。

③トリミング：　画面にて表示器に映し出す画面サイズを、元画像を確認しながら指定します。指定範囲が表示器用データーファイルに変換されます。
＊あまり細かい画像の場合、表示ドット数が３２×６４しかないので、表示内容が不明瞭になる場合がありますので注意下さい。

④色変更：　色変更を行なう事が出来ます。

⑤背景抜きの選択：　このチェック外すと次項で背景抜きが行なわれます。
抜き取る背景をマウスでクリックします。

⑥背景抜き＋縮小：　画像の単色の背景を抜き取る場合に使います。
抜き取ると表示器では黒色になります。

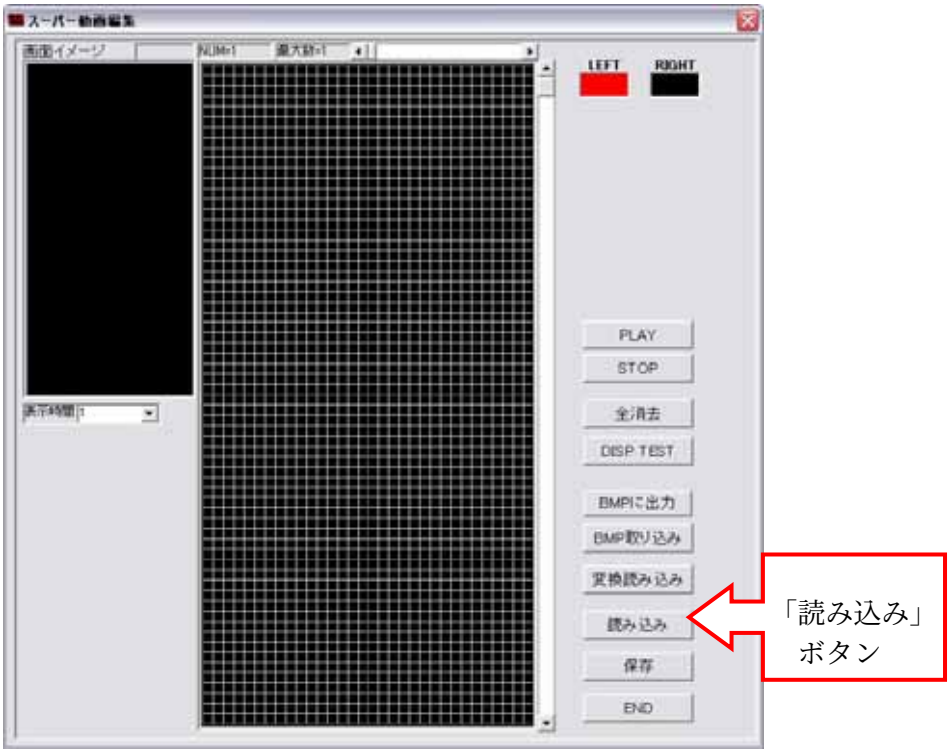
⑦ＬＥＤデーター出力：　編集ソフト用のデーターファイルが作成されます。
ファイル名：ＳＣＲ＿Ｒ００．ＤＡＴ～ＳＣＲ＿Ｒ＊＊．ＤＡＴまで

⑧終了：　スーパー動画用にデーターファイルが作成されました。

1　スーパー動画の編集をスタート

[メインメニュー]より「スーパー動画編集」を選択します。

スーパー動画編集画面が表示されます。



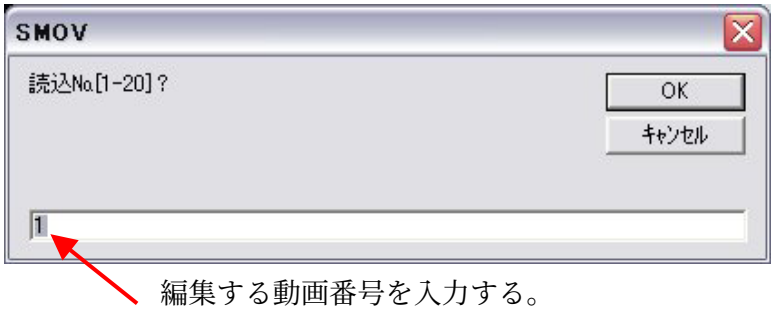
2　動画データーの読込み

7-5 ページの〔LEDMakerMulti〕にて編集した画像データーの読込みを開始します。

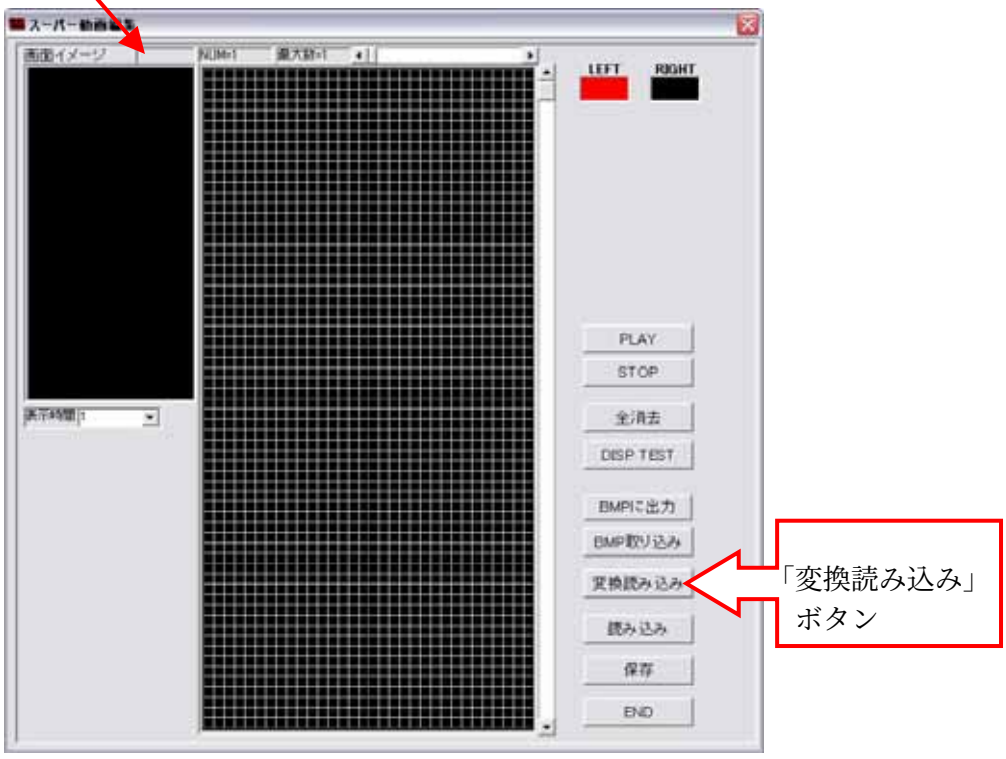
「読み込み」ボタンをクリックし、編集動画番号を決めます。

〔編集動画番号の入力画面　ＳＭＯＶ〕が表示されます。
読込み no.[１－２０]？と表示されます、編集する動画の番号を入力します。
入力できる番号は、半角数字で、１～２０迄です。
「番号の入力」、「ＯＫ」をクリックします。

注意　先に編集を行なっていた番号を選択すると、登録済みの動画が表示されます。
そのままで「読み込み」ボタンをクリックすると上書きされますので注意して下さい。

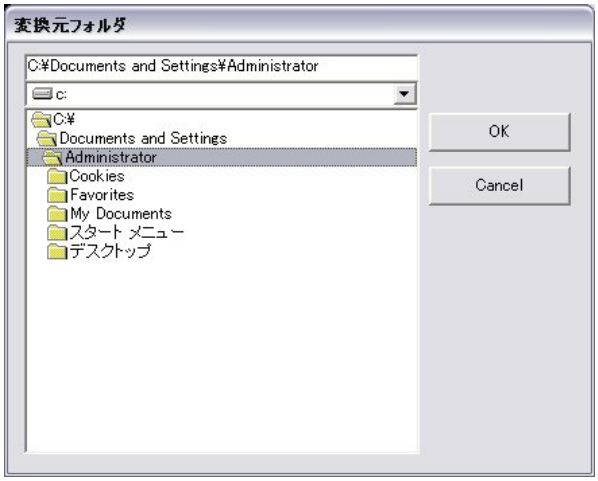


〔スーパー動画編集〕画面に戻ります。
〔編集番号＋コマ画像数〕の表示で　動画番号が、　〔　ＮＯ．１　〕となっています。
「１」を入力し「ＯＫ」をクリックすると、この欄にＮＯ．１が表示されます。

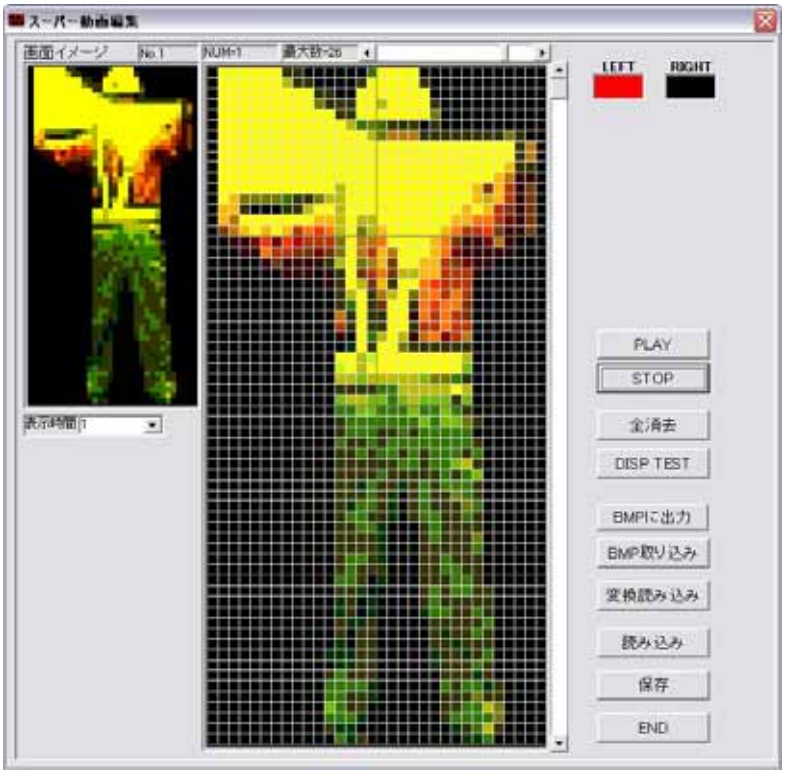


画像データーの読み込み
「変換読み込み」ボタンをクリックします。〔変換元フォルダー〕画面が表示されます。
マウスを使い〔LEDMakerMulti〕にて編集したデーターが入っているフォルダ
を選択して「ＯＫ」をクリックします。

〔変換元フォルダ〕画面の表示、マウスにてデーターのフォルダを指定下さい。



読み込みが正常な場合は、コマ画像の１番が読込まれた編集画面が表示されます。
〔例：正常な読み込み画面〕



読みみフォルダが正しくない場合の表示

フォルダの指定が間違っています。
再度フォルダの指定をやり直して下さい。

読み込まれたデーターが、１５枚の場合、下記の表示になります。

・コマ画像の編集作業

3　編集の開始

各コマ画像を、カラーパレットの色を選びながらドットを変更して画像を完成させます。

①編集するコマ画像を、編集エリア右側のスクロールバー使い選択します。

＊横タイプでの編集時は、スクロールバーは下に表示されます。

②マウスの左右ボタンにカラーパレットより選択した色を登録します。

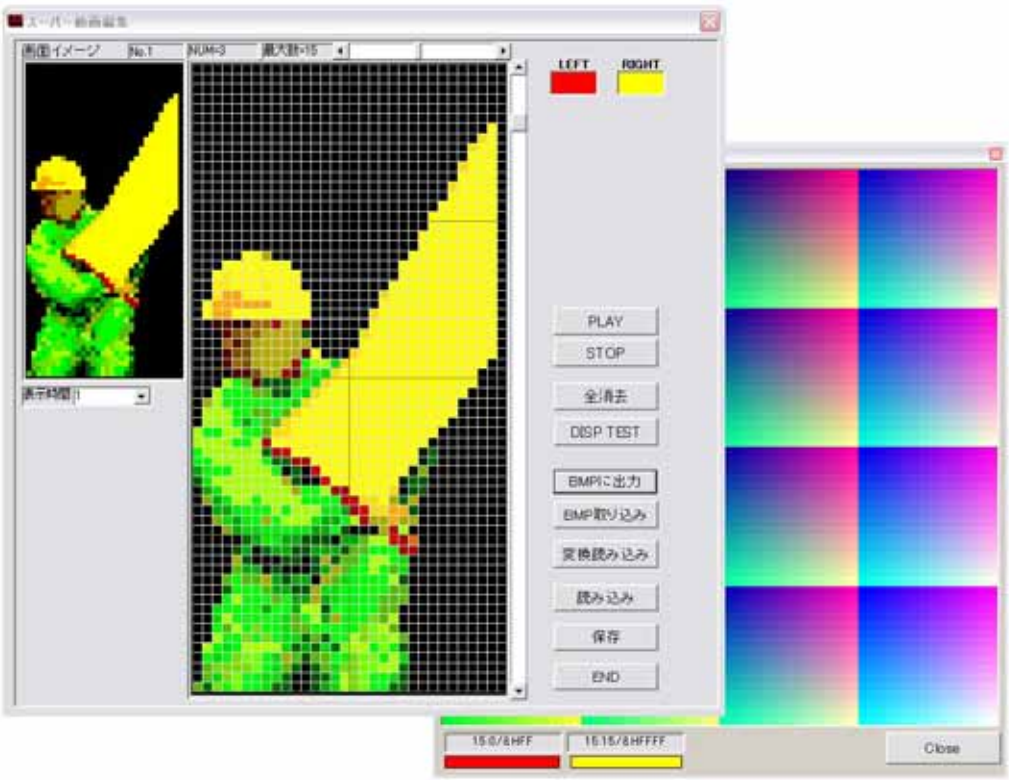
登録方法は、P7-05 ページを参照の事

③編集エリアにマウスを移動し、十字カーソルの部分でマウスの左右ボタンをクリックすると、登録した色が表示されます。繰り返しマウスで作業します。

④コマ編集が終わったら、保存を行いスクロールバーで次の画像を選択して最終画像まで編集します。

まとめて最後に保存する事は出来ますが可能な限り個々に保存します。

〔編集中の画面例〕



4　動画データーの保存

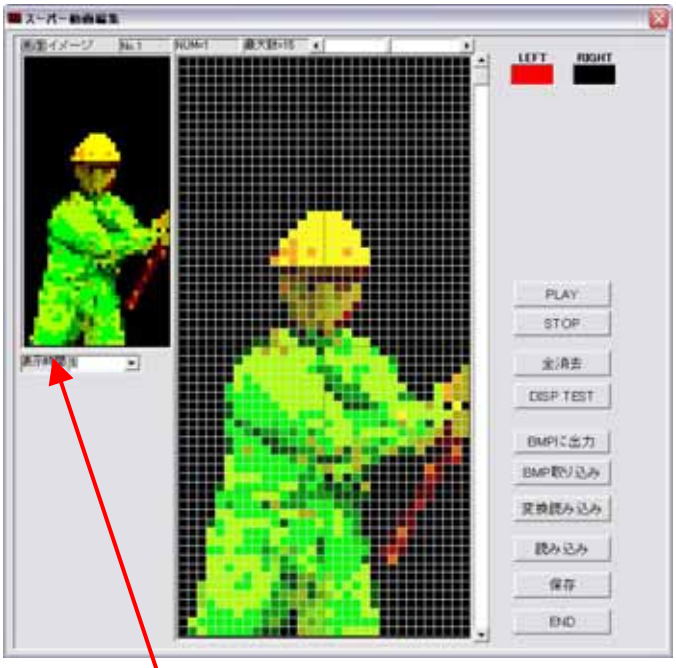
〔スーパー動画編集〕画面の操作ボタンより「保存」ボタンをクリックします。
書込み no.[１－２０]？と表示されます。
編集開始時に選択した番号で良い場合、番号入力欄には、読込み時に選択
した番号が表示されていますので、そのまま「ＯＫ」ボタンをクリックします。
もし、別の番号で保存する時、変更する動画の番号を入力します。
入力できる番号は、半角数字で、１～２０迄です。
「番号の入力」、「ＯＫ」をクリックします。
保存が完了すれば、「ＥＮＤ」ボタンで終了できます。

注意　番号を変更した場合上書きにならないように注意下さい。

保存する動画番号を変更する場合に変更番号を入力する。

5　スーパー動画のコマ画像設定

コマ動画毎に表示時間を登録し動画として完成させます。
画像により早い時間で次の画像に変わる物、長時間表示する画像等は、時間設定で変更自由です。
スーパー動画表示のための設定は、編集イメージ画面の上にある「表示時間設定」欄の設定で行ないます。



表示時間設定ウィンドウ

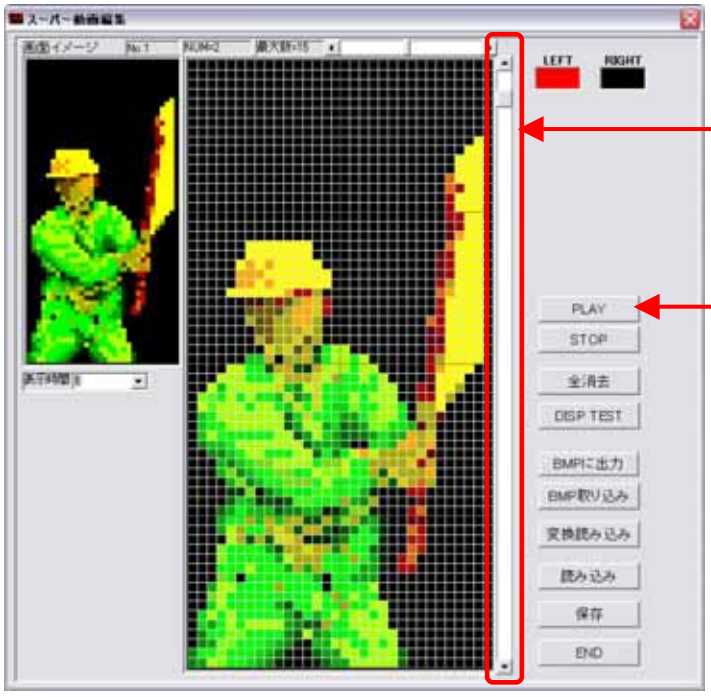
・表示時間設定の操作方法

「表示時間設定」欄はプルダウンメニューとなっていますので右側にある
〔▼〕ボタンをクリックして表示時間メニューを表示させます。

〔表示時間表示　１~８　→スクロールバーを下げると　９３~１００まで表示〕

・表示時間設定の方法

①コマ画像「NO.1」を、編集エリア右側のスクロールバーにより表示選択します。
＊横タイプでの編集時は、スクロールバーは下に表示されます。
②「表示時間設定」欄に表示時間をプルダウンメニューより選択します。
表示時間は、プルダウンメニュー「０１～１００」より選択、
時間表示の　**０１＝約０．１秒、１００＝約１０秒**になります。
③ 次に、編集エリア右側のスクロールバーを一つ下げて〔画像を NO.02〕に変更します。
④ ②と同じに表示時間を設定し、コマ画像の時間を、最終のコマまで設定します。
⑤ デモ表示にて登録した表示時間を確認します。
⑥ 変更を行なうには「スクロールバー」で画像を選択して表示された画像を確認して
時間を変更します。
⑦　デモ表示での調整が完了すれば、時間設定の完了となります。
保存して終了下さい。



画像選択
スクロールバー

「ＰＬＡＹ」ボタン
デモ表示確認

画像ファイルの取り込み編集

6　〔ＢＭＰ〕画像ファイルの取り込みによる編集

〔ＢＭＰ取り込み〕編集ソフト作成画像、写真画像などを、読込み編集を行ないます。

＊読込み可能な画像フォーマットは、ビットマップ画像（＊．ＢＭＰ）のみです。

・読込み画像サイズ（縦横比）に注意して下さい。ドット比率が合わないと画像は、変換されて読み込まれます。

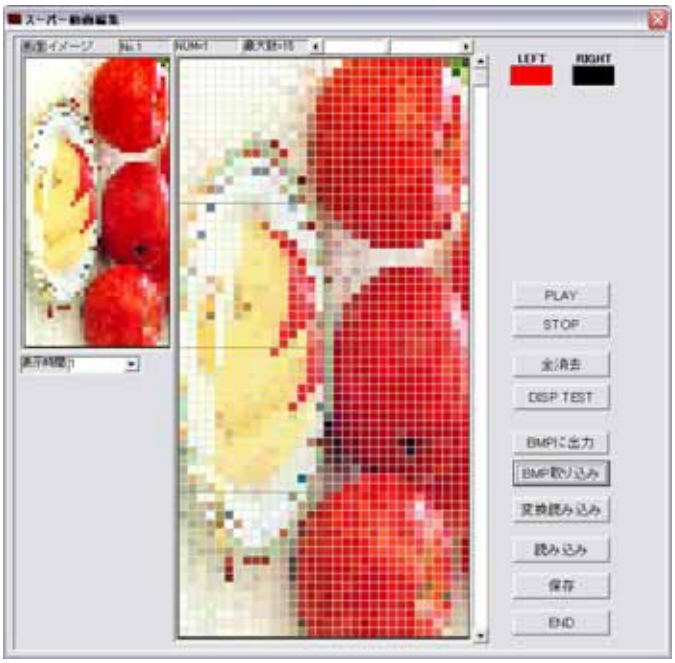
・画像のサイズは、大きいと読み込みデーターが不明瞭になりますので、小さな画像の読込みに適しています。

・ＢＭＰ画像ファイルの取り込みは、１枚毎に、取り込む必要があります。

縦表示編集の場合：６４×３２ﾄﾞｯﾄ画面／横表示編集の場合：３２×６４ﾄﾞｯﾄ画面

〔取り込み参考例〕

〔マスター画像〕



〔取り込み後の編集画面〕

手順　先に、編集するスーパー動画の番号を決めておきます。

①「ＢＭＰ取り込み」ボタンを押します。

②取り込むフォルダの選択画面が表示されます。

③フォルダを選択して BMP 画像を選択して「ＯＫ」をクリックします。
④編集画面に、選択画像が読み込まれ、〔動画表示〕画面に表示されます。
⑤画像の編集は、操作８のビットマップ画面の編集を参照して下さい。

7　〔ＢＭＰ〕画像ファイルの出力

〔ＢＭＰ取り込み〕編集ソフト作成画像、写真画像などを、読込み編集を行ないます。
＊読込み可能な画像フォーマットは、ビットマップ画像（＊．ＢＭＰ）のみです。
・読込み画像サイズ（縦横比）に注意して下さい。ドット比率が合わないと画像は、変換されて読み込まれます。
・画像のサイズは、大きいと読み込みデーターが不明瞭になりますので、小さな画像の読込みに適しています。
・ＢＭＰ画像ファイルの取り込みは、１枚毎に、取り込む必要があります。
縦表示編集の場合：６４×３２ﾄﾞｯﾄ画面
横表示編集の場合：３２×６４ﾄﾞｯﾄ画面

編集中の画像を各コマ画像別にＢＭＰフォーマットの画像で
出力します。
ファイル名は、ＯＵＴが標準です。
変更も可能です。
出力されたファイルは、プログラムのあるフォルダに出力されています。

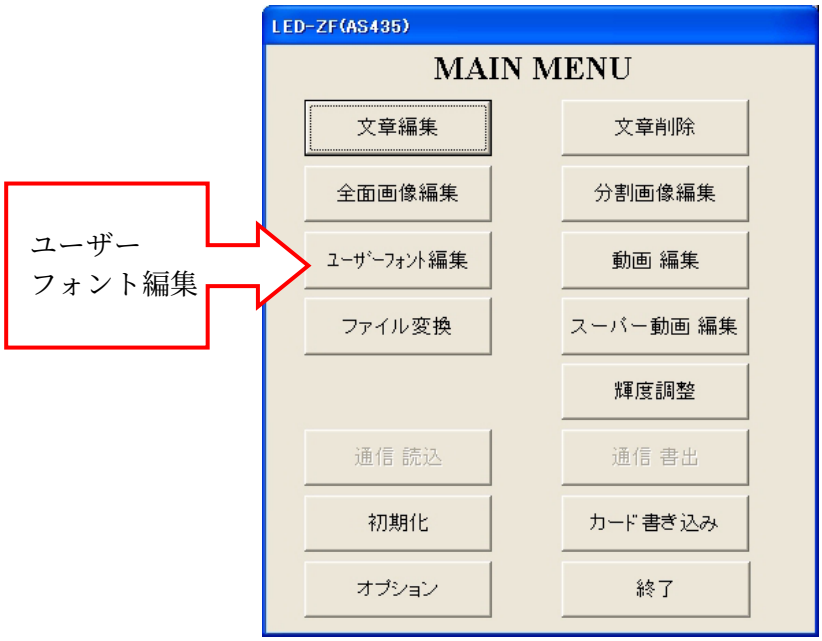
ユーザーフォントの編集

● **ユーザーフォントについて**

スクロール文章で、標準フォントに登録が無いマーク・会社ロゴ・特殊記号などを、１６×１６のビットマップで作成します。
作成したフォントは、スクロール文章の編集時に文章中に組み込みＬＥＤ表示器に表示します。

● **ユーザーフォント編集の選択**

〔ユーザーフォント〕の編集を行うには　[メインメニュー]より「ユーザーフォント編集」を選択します。



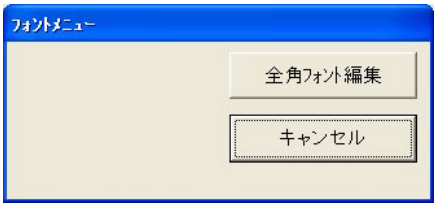
【　ユーザーフォント例　】

・作成可能フォント数は、２５５番迄作成出来ます。
・ユーザーフォントを２面連続で使い１６×３２ドットのフォント（ロゴ）などを作成し、スクロール文章で連続して設定することが可能です。

・ユーザーフォント編集の使い方

ユーザーフォント編集は、ビットマップ画面での編集です。マウスの左右ボタンでビット表示編集エリア内の１６×１６マスにマウスのカーソルを合わせ作業します。
マウス「左ボタン」をクリックすると黒く反転し、同じ位置で「右ボタン」をクリックすると白色に戻ります。
マウスのボタンをドラッグすると「カーソル」の移動した跡が軌跡として反転します。
黒く反転したドットが、ユーザーフォントとして作成されます。

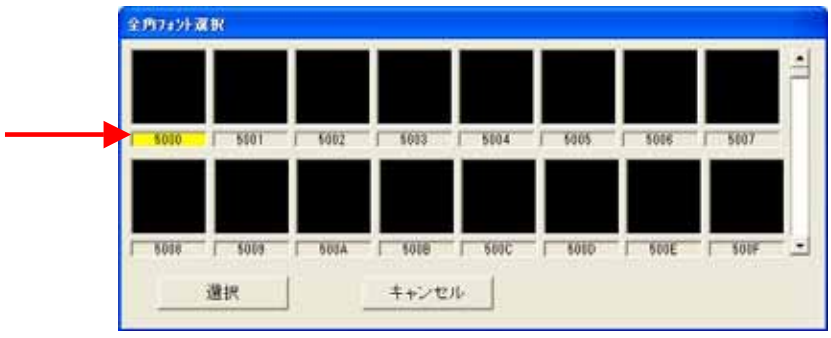
1　「ユーザーフォント編集」をクリックします。
「フォントメニュー」画面が表示されます。



2　「全角フォント編集」をクリックします・
「全角フォント選択」画面が表示されます。

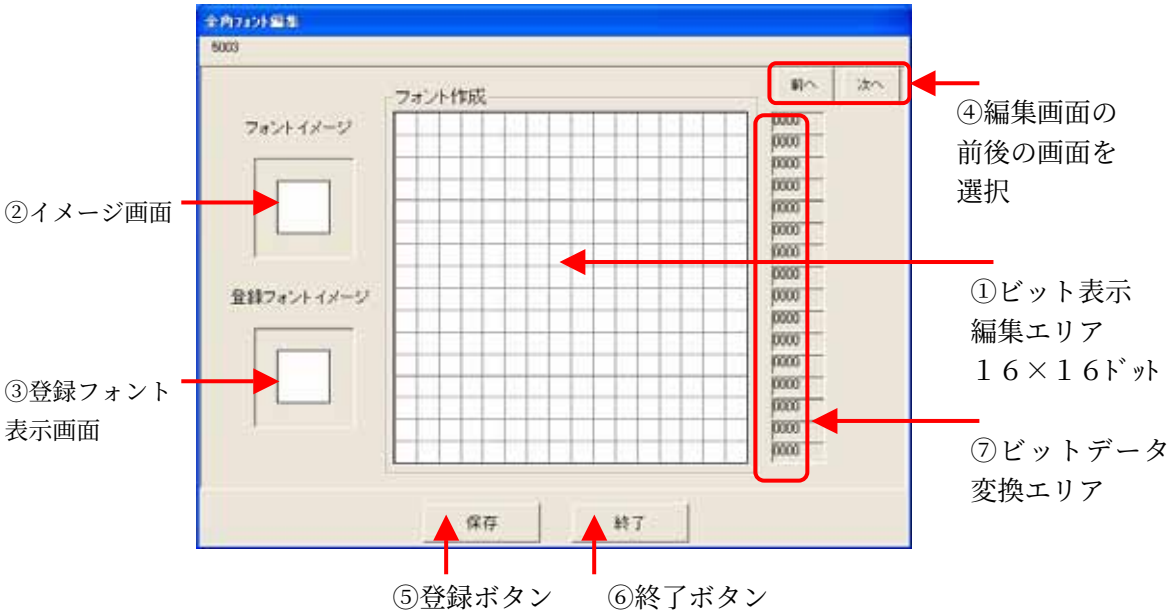
・初期画面には、登録された文章データは入っていませんので空欄の表が表示されます。
フォントが登録されると、登録した No.の欄に登録フォントが表示されます。
・ユーザーフォントは、２５６フォント(5000～50FF 迄)の登録が出来ます。
・選択画面には１６画像のみ表示され、右側スクロールバーを下げる事で１６番以降の番号が選択出来ます。

3　ユーザーフォントを５０００番に登録します。
マウスにて「５０００」番の欄に合わせ、クリックし番号表示欄が**黄色に反転した状態**にして下側の左にある**「選択」をクリック**します。５０００」の編集画面が表示されます。



・全角フォント編集画面の説明

下記編集画面で、１６Ｘ１６ドットのフォントを作成します。
編集は、１フォント毎に保存して下さい。

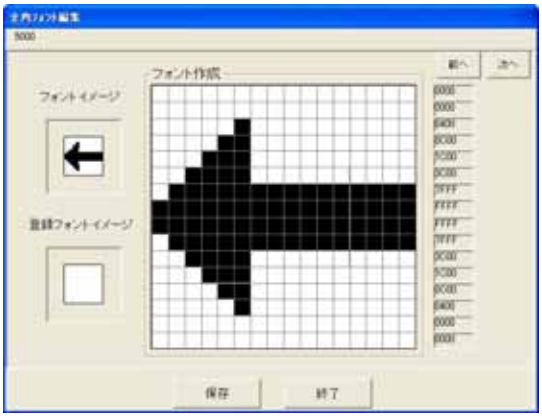


【　編集画面の説明　】

①ビットマップ画面は、１６×１６ドットの編集エリアで、このエリアにマウスで
　ドットを反転（黒色＝ＬＥＤ点灯、白色＝ＬＥＤ消灯）させてフォントを作成します。
②フォントイメージ：①のビットマップエリアでドットを反転させた状態を表示します。
③登録フォントイメージ：編集番号エリアにフォントが登録されている場合に表示します。
④前後移動ボタン：編集中の画面番号の前画面及び、後ろ画面に移動します。
　但し、保存ボタンをクリックして保存をしてから画面変更をして下さい。
　保存していない状態で移動するとビットマップ画面で編集していても
消えてしまいます。
⑤登録ボタン：データーの登録時にクリックします。
⑥終了ボタン：フォント編集の終了時にクリックし選択画面に戻します。
⑦ビットデーター変換エリア：ビットマップ編集エリアのドットを反転させると、
　列の横の数値が[0000－FFFF]の範囲で変わります。
　この数値が作成フォントのデーターとなりますが、作業上関係ありません。

4　編集の開始

編集は、ビットマップ画面にマウスにてフォントを作成します。



マウスの「左ボタン」をクリックすると黒く反転します。同じ位置で「右ボタン」をクリックすると白色に戻ります。
マウスのボタンをドラッグすると「カーソル」の移動した跡が軌跡として反転します。
黒く反転したドットが、表示器のＬＥＤが発光します。
②イメージエリアに作成したフォントのイメージが表示されますので確認しながら編集を行って下さい。

4　コマ画像の保存

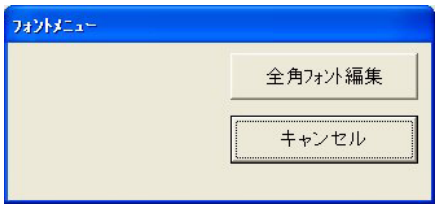
フォント編集が完了した場合、保存を行って下さい。
編集画面の下にある⑤「保存」ボタンをクリックします。
これで編集中のデーターが保存されました。

しかし、この状態では、③「登録フォントエリア」には保存データーは表示されません。
表示させる場合は、④の「前後画面表示」ボタンにより移動するか、⑥の「終了」ボタンをクリックして　再度、編集した番号を表示させる必要があります。

5　作業終了

終了には、保存作業を行った後、⑥「終了」ボタンを押し、「全角フォント選択」画面を表示し、登録フォントを確認します。

上記確認後、「キャンセル」ボタンをクリックし「フォントメニュー」画面で「キャンセル」ボタンをクリックして終了となります。



〔ユーザーフォントの編集終了〕

ファイル変換機能

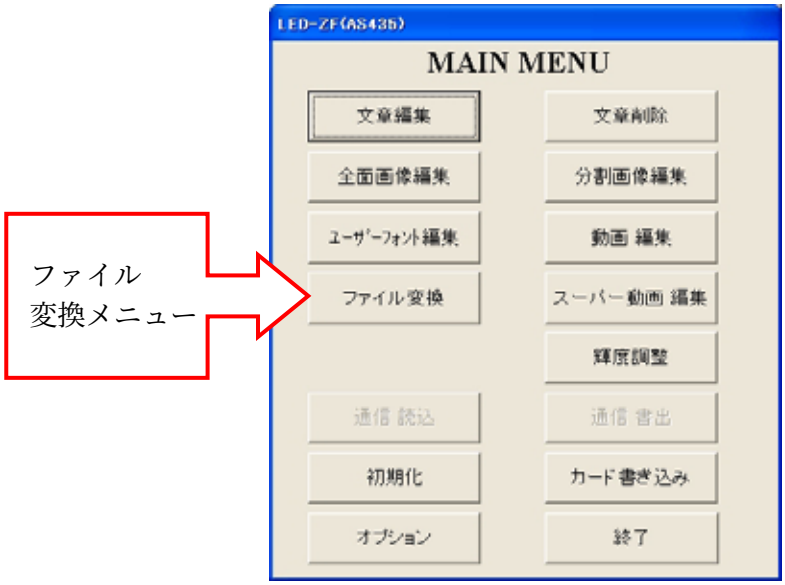
この機能は、ＬＥＤ－ＸＦ編集プログラムで編集した文章データーをＬＥＤ－ＺＦ編集プログラムで使用出来るようにファイル変換を行なう機能です。
・【ＡＳ４３４】ＬＥＤ表示器のデーターを変換します。

● ファイル変換の使用方法

①前準備
・編集中のデーターがある場合、編集中のデーターを別フォルダー等に保管して下さい。（そのまま、ファイル変換すると、上書されます。）

②「ＬＥＤ－ＺＦ」プログラムを起動します。
データーの表示方向を「メインメニュー」の「オプション」にて設定して下さい。

③「メインメニュー」より「ファイル変換」を選択します。



④「変換元のファイルダ」選択画面が表示されます。
〔ＬＥＤ－ＸＦ〕で編集したデーターフォルダ〔DAT8ChorDAT8CV〕を選択して「ＯＫ」をクリックします。
・選択したフォルダにＬＥＤ－ＸＦデーターが入っていれば、約１分で「変換先のフォルダ」選択画面が表示されます。
そのまま、「ＯＫ」ボタンをクリックすると、元データーに上書きされます。
もし、フォルダを変更したい場合マウスにて保管フォルダを指定してから「ＯＫ」をクリックして保存して下さい。
・データーが無い場合、フォルダが間違っている場合は、〔エラー表示〕が出ますので確認をして下さい。

⑤変換したデーターは、④にて指定したフォルダに保存されていますので、編集データーフォルダに移動して編集を行って下さい。

この章は、編集プログラムで作成したデーターをＬＥＤ表示器で表示する為のデーターの登録方法を説明いたします。

●　編集データーの書込み

・**カード書込みについて：**編集したデーターをＬＥＤ表示器に登録します。
ＬＥＤ表示器には、ＣＦメモリーカード専用のコネクターがあり、編集ソフトで作成した文章データーを、ＣＦメモリーカードを使ってＬＥＤ表示器コントローラー基板のメモリーに転送して表示します。

準備する物

①ＣＦカード　：コンパクトフラシュメモリーカード

１６MB～２５６MB
メーカー指定　「サンディスク（ＳａｎＤｉｓｋ）製」

〔写真　１　ＣＦメモリーカード〕

②カードアダプター：パソコンからＣＦカードにデーターを書込み用アダプター
カードアダプターは、パソコン販売店で購入下さい。

・**ノートパソコン**では、ＰＣＭＣＩＡカード用のアダプター、ＵＳＢポート接続のアダプターが使用できます。

〔写真　２　ＰＣＭＣＩＡタイプ　ＣＦメモリーカードアダプター〕

・**デスクトップ**では、ＵＳＢのアダプターが使用出来ます。

〔写真　３　ＵＳＢポート用カードアダプター　ＣＦメモリーカード〕

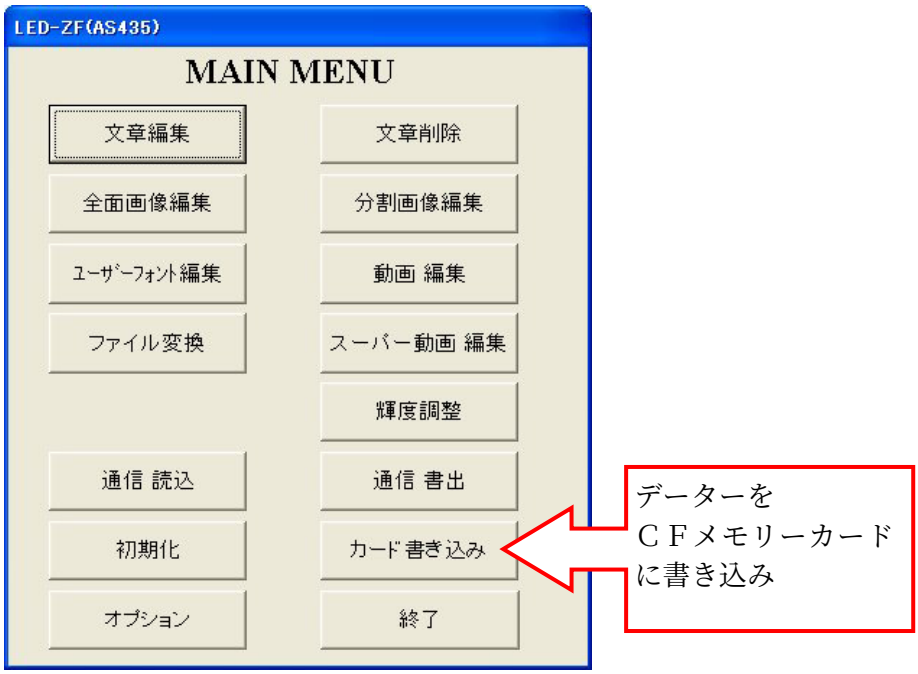
＊〔アダプターを購入する場合は、**ＣＦメモリーカード**が使えるタイプを選択してください。〕

1　ＣＦメモリーカードのセット

ＣＦカード用アダプターをパソコンに接続して必要なドライバープログラムのインストールを行ってセットアップを完了して下さい。
・インストール方法は、アダプターの説明書にて行って下さい。
・次に、ＣＦメモリーカードをアダプターにセットして下さい
ＣＦカードが、パソコンのどのドライブ番号に割り付けられているか確認下さい。

2　カード書込み方法

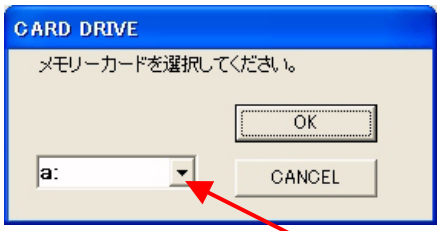
編集プログラムを起動して、〔メインメニュー〕画面の「カード書込み」をクリックして下さい。



〔図４メインメニュー〕

3　ＣＦカードのドライブ選択

〔カードドライブ〕選択画面が表示さらますので、ドライブ番号をプルダウンメニューよりＣＦメモリーカードが接続されたドライブを選択します。



〔図５　ドライブ選択画面〕

・ドライブを選択するには、「ａ：」表示の横「▼」をクリックしプルダウンメニューより寄り選択します。
ドライブ番号表示について：プルダウンメニューで表示されるドライブ番号は、一般的に、「Ａ：ＦＤＤ　ドライブ」、「Ｃ：メインＨＤＤ　ドライブ」、になります。
通常割付られたドライブ番号は、「Ｅ：」以降のカードドライブになります。

4　ドライブを選択して「ＯＫ」を押して下さい、カード確認が行われます。
カードが正常に接続されていない場合は、エラー表示〔図５〕が表示されます。

〔図５　エラー画面〕

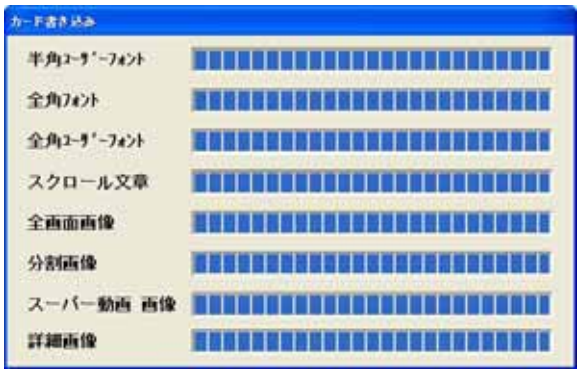
この表示が出た場合は、メモリーカードが正しく選択したドライブに接続されているか確認をして下さい。
もしくは、カードにデーターが書き込まれた状態で空きスペースがない場合も同じアラーが表示されます。
確認後「ＯＫ」を押して下さい、問題が解決された場合は、データーの書き出し画面が表示されます。

注意　書き込まれるデーターは、同じファイル名が有っても上書きされますので、前回のデーターは無くなってしまいます、もし、前回のデーターを残す場合は、前もっと別の場所にコピーをして保存ください。

5　データーの書き出し時には図６画面が表示されます。

〔図６　データー読み込み時の画面〕

書込み時間は、約１分で終了します。



〔図７，８　書込み完了時の画面〕

これで、データーをＣＦカードに書込みが完了しました、カードをパソコンより取り出して下さい、取り出し方は、カードアダプターの取り説をご確認下さい。

＊ＣＦカードデーターのＬＥＤ表示器への転送は、操作マニアルを参照下さい！

●シリアル通信機能

編集ソフトには、パソコンとＬＥＤ表示器をシリアル通信ケーブルにて接続して通信出来る機能があります。
機能は、４種類あります。

① データー転送
　編集データーをパソコンからＬＥＤ表示器に転送します。
② データー取り込み
　ＬＥＤ表示器のデーターをパソコンに取り込みます。
③ パネル検査
　ＬＥＤ表示器のＬＥＤを点灯確認する検査機能があります。
④ 画像確認モード
　スーパー動画編集中の画面をＬＥＤ表示器に表示して色合い等を確認する機能があります。

・ＬＥＤ表示器との通信準備

①通信ケーブルの準備
　専用のＲＳ２３２Ｃシリアル通信ケーブルを準備します。

ケーブル配線　パソコン側〔Ｄサブ９ピンメス〕　　ＬＥＤ表示機コントロール側〔モレック社製　51004-0300〕

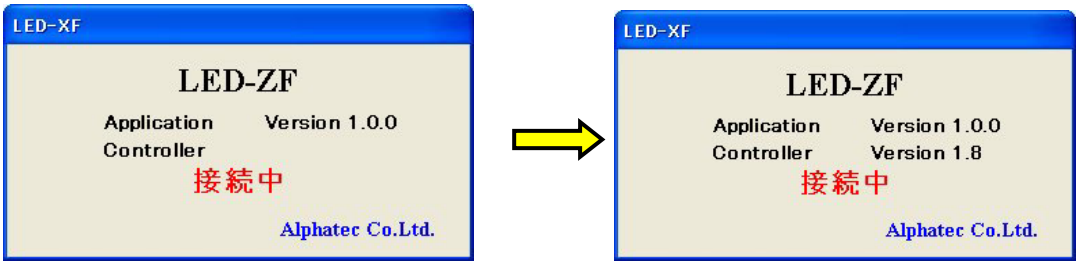
１、９　Ｎ．Ｃ		
２	―――――――――――――――――――――	１
３	―――――――――――――――――――――	２
４－６		
５	―――――――――――――――――――――	３
７－８		

②ケーブルの接続
・ＲＳ２３２Ｃコネクターをパソコンの ＣＯＭポートに接続します。
・モレックス社製ナイロンコネクターを、ＬＥＤ表示器のＣＮ１に接続します。

＊ケーブルのＬＥＤ表示器への接続は、操作マニアルを参照下さい！

・シリアル通信の確認

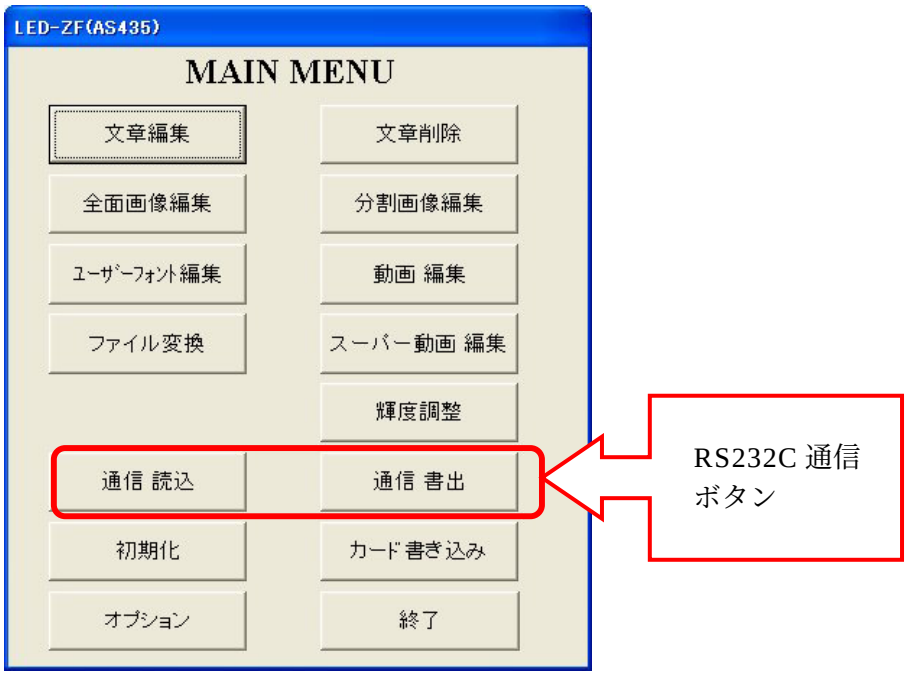
1　ＬＥＤ表示器、パソコンを起動し、編集ソフトを起動します。



〔図９　起動画面　〕

起動画面の表示中に右側の画面になればＲＳ２３２Ｃ通信で接続された状態です。
接続画面が表示されない場合は、付属資料　＊＊　を参照下さい。

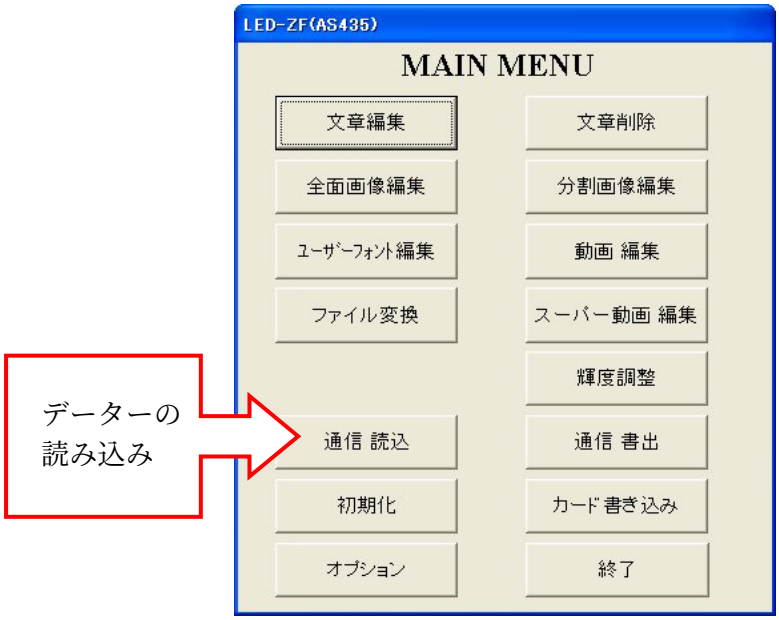
2　〔メインメニュー〕画面の表示で、〔通信読込〕、〔通信書込み〕ボタンがアクティブボタンで表示されています。



〔図１０メインメニュー〕

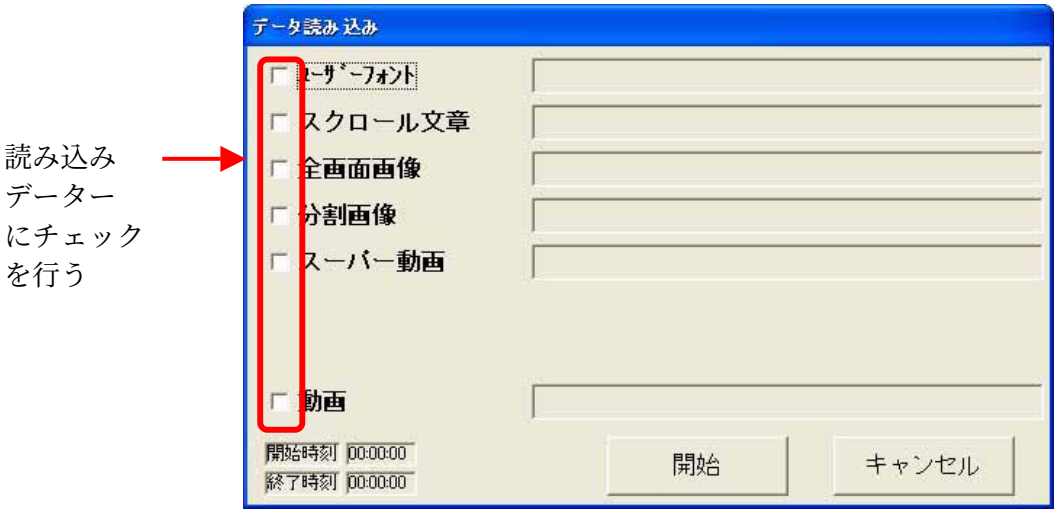
- **通信読込の説明**　：ＬＥＤ表示器から文章データーを、シリアルケーブルでパソコンに転送する方法を説明いたします。

3　通信読込を行ないます。
通信読込とは、ＬＥＤ表示器に登録されたデーターをパソコンに取り込む機能です。
・パソコンとＬＥＤ表示器との通信が正常に行われる場合は、「メインメニュー」〔図１０〕にて「通信読込」ボタン、「通信読込」ボタンがハイライト表示されます。
[メインメニュー]より「通信読込」をクリックします。



〔図１１メインメニュー　通信読込選択〕

4　「データー読み込み」選択画面が表示されますので、読み込みデーターを選択します。データー名にある「□」にマウスで「レ」チェックを入れて読み込みするデーターを選択します。

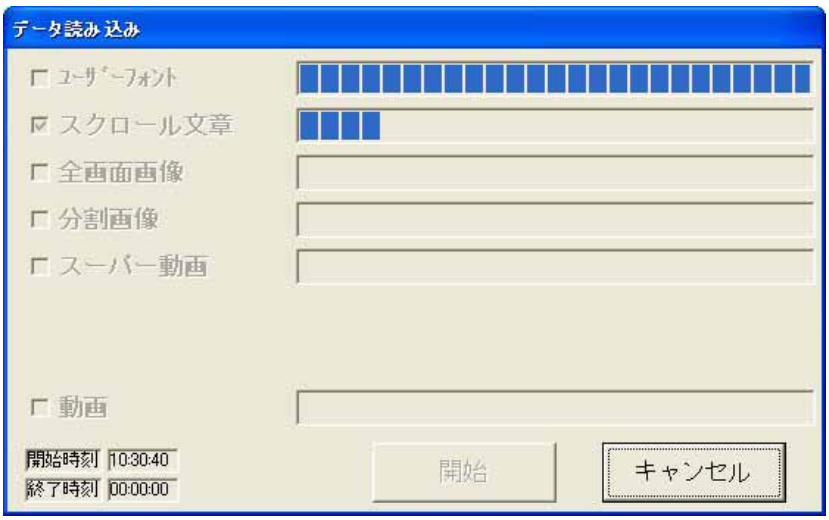


〔図１２　データー読み込み画面〕

5　「データー読み込み」画面にて希望のデーター名にチェックを入れた後、「開始」をクリックします。

・選択したデーターの読み込みが開始されます。

＊　全てのデーターの読み込みには、１時間程度必要となりますので必要なデーターのみ読み込みを行って下さい。



〔図１３　データー読み込み画面〕

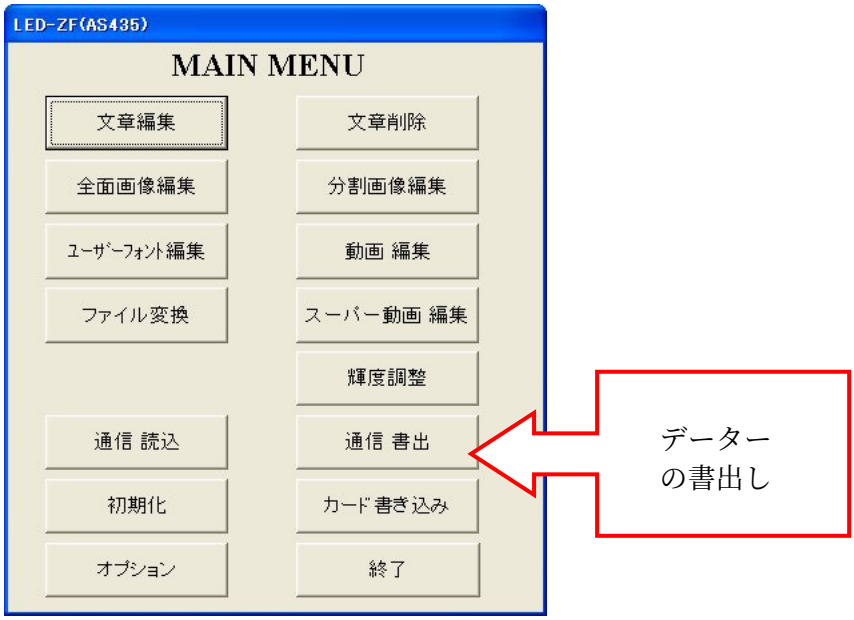
画面左下に読み込み開始時間と読み込み完了時間の表示が出ますので参考にして下さい。

6 読み込み完了
読み込みが完了した場合は、完了表示がでますので「ＯＫ」をクリックして
終了下さい。

〔図１４　読み込み完了表示〕

- **通信書出しの説明**　：文章データーを、シリアルケーブルでパソコンから
ＬＥＤ表示器に転送する方法を説明いたします。

7 通信書出しを行ないます。
通信書出しとは、パソコンで編集した**データーをＬＥＤ表示器に転送する機能**です。
・パソコンとＬＥＤ表示器との通信が正常に行われる場合は、「メインメニュー」
〔図１０〕にて「通信読込」ボタン、「通信読込」ボタンがハイライト表示されます。
[メインメニュー]より「通信書出」をクリックします。



〔図１５メインメニュー　通信読込選択〕

8 「データー書出し」画面が表示されますので、書出しデーターを選択します。
データー名にある「□」にマウスで「レ」チェックを入れて書出しするデーターを
選択します。

書出し
データー
にチェック
を行う

〔図１６　データー書出し画面〕

9　「データー書出し」画面にて希望のデーター名にチェックを入れた後、「開始」をクリックします。
・選択したデーターの書出しが開始されます。

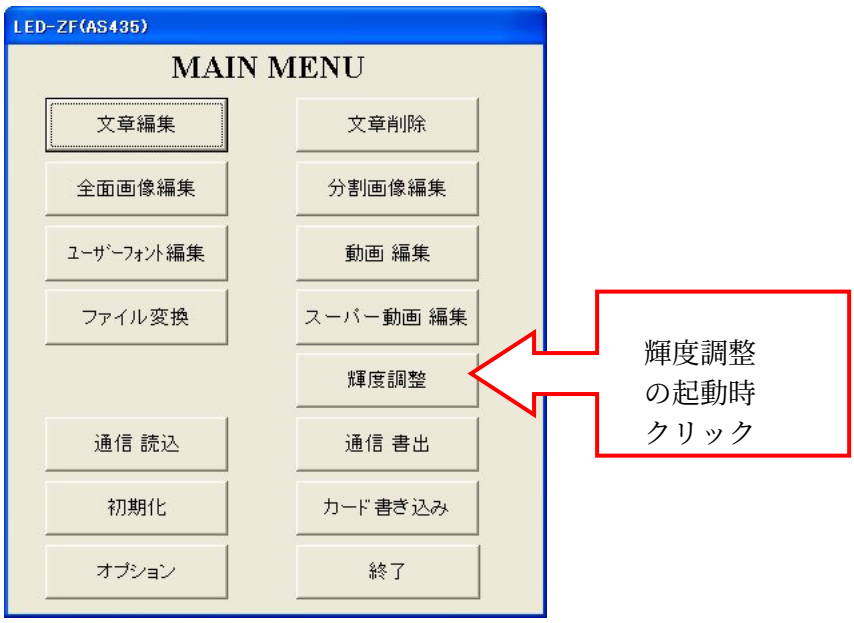
＊　全てのデーターの書出しには、１時間程度必要となりますので必要なデーターのみ読み込みを行って下さい。

・画面左下に書出し開始時間と書出し完了時間の表示が出ますので参考にして下さい。
・データー書出し終了
書出し終了時には、画面中央に「転送　終了」ボタンが表示されますので
「ＯＫ」を押すと書出し作業が終了しデーターの転送が完了します。

● 輝度調整

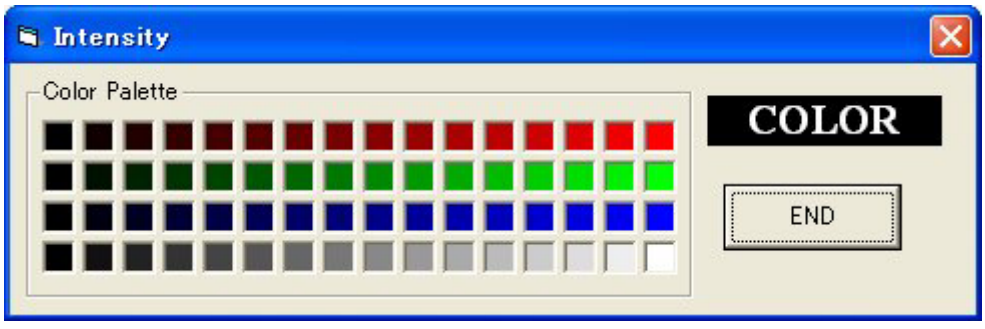
輝度調整は、ＬＥＤ表示器のＬＥＤを点灯する機能です。
ＲＳ２３２Ｃ通信ケーブルで、パソコンとＬＥＤ表示器が接続されている事を確認して下さい。

・輝度調整の起動
[メインメニュー]より「輝度調整」をクリックします。



〔図１７メインメニュー　輝度調整選択〕

・輝度調整の使い方
マウスでカラーパレットの各窓をクリックして下さい、クリックした窓に対応した【カラー色と明るさ】がＬＥＤ表示器に点灯します。



〔図１８　輝度調整画面〕

・輝度調整の終了
終了するには、「ＥＮＤ」ボタンをクリックして下さい。「メインメニュー」に戻ります。